

鶴岡市地域公共交通計画

【資料編】

[目次]

1. 地域概況及び交通概況	3
1-1 上位・関連計画の把握	3
1-2 地域特性の整理	24
1-3 公共交通の現状・利用実態	56
2. 市民・高校生アンケート調査結果	71
2-1 市民アンケート	71
2-2 高校生アンケート.....	112

1.地域概況及び交通概況

1-1 上位・関連計画の把握

1-1-1 まちの目指す将来像

地域公共交通が果たすべき役割を明確化するため、上位・関連計画を整理し、鶴岡市が目指すまちづくりの将来像を抽出した。

上位・関連計画等一覧

項目	上位・関連計画等	策定年度
上位計画	第2次鶴岡市総合計画（後期基本計画）	平成31年3月
関連計画	鶴岡市都市再興基本計画	平成29年4月
	鶴岡市国土利用計画（第二次）	令和4年3月
	新市建設計画	平成16年12月 (令和3年3月変更)
	各地域振興計画（藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海地域）	令和6年3月
	第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画	令和3年3月
	鶴岡市過疎地域持続的発展計画	令和3年9月 (令和7年9月改定)
	鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略	令和6年3月
	鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	令和6年3月
参考	鶴岡市中期観光戦略プラン	令和6年3月
	山形県地域公共交通計画	令和8年3月
	庄南南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）	令和5年3月 (令和7年3月改定)

(1) 第2次鶴岡市総合計画（後期基本計画）

本市の最上位計画である「第2次鶴岡市総合計画」は、本市の目指すまちの姿や施策の基本的な方向性を示した総合的かつ基本的な指針として策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

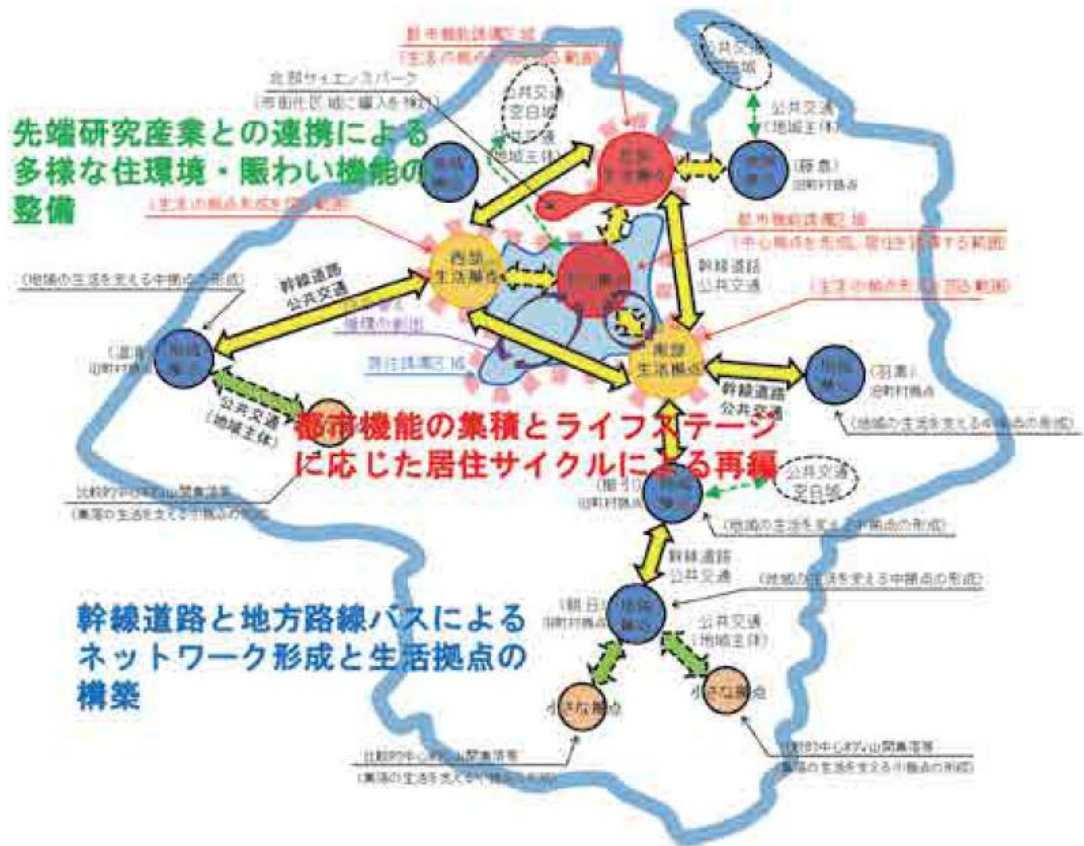
項目	内容
計画名	第2次鶴岡市総合計画
策定年度	平成31年3月
計画期間	基本構想：平成31年度～令和10年度 前期基本計画：平成31年度～令和5年度 後期基本計画：令和6年度～令和10年度
めざす都市像	ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡
まちづくりの基本方針	○創造と伝統の力で、地域の個性を磨き、資源を活かして、まちの魅力を高めます。 ○市民・企業、行政が力を合わせて、人口減少社会に向き合い、みんなの命が輝くまちを築きます。 ○資源の循環と人や文化の交流を促進し、持続的で多様性のあるまちを創ります。
キャッチフレーズ	『毎日、おいしい。ここで、暮らしたい。』
公共交通に関する内容	<p>第3 施策の大綱 6 社会の基盤 (2) 交流・連携の推進と基盤の整備 カ 公共交通ネットワークの形成</p> <p>■施策の方向 日常の移動手段として重要な役割を担う路線バスなどの公共交通について、市民ニーズや地域の実情にあわせた見直しを行い、福祉、教育、観光、まちづくり、交通安全、過疎対策などの施策と連携しながら、利便性の向上を図ります。また、市民、事業者などとの協働により、市民が安心して暮らせる地域づくりやまちの賑わい創出を支える、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図ります。</p> <p>■主な施策 ①地域の生活基盤である生活交通バス路線の維持、確保、改善に努めるとともに、路線の効率化、利便性の向上に取り組みます。 ②中心市街地と周辺地域、小集落間を結ぶ多様な交通システムの導入や、ICTの活用、まちづくりとの連携により、公共交通ネットワークの再構築を図ります。 ③地域、交通事業者、行政が一体となって、公共交通の利用促進、利便性の向上に繋がる取組を進め、地域公共交通の活性化を図ります。 ④条件不利地域の定住対策として、高校生の通学支援の拡充を図ります。</p>

(2) 鶴岡市都市再興基本計画

「鶴岡市都市再興基本計画」は、都市計画法に位置づきまちづくりの基本方針を示す「都市計画マスタープラン」と都市再生特別措置法に将来の人口減少社会に備えたまちづくりの方針として定める「立地適正化計画」を合せて策定したものである。

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	鶴岡市都市再興基本計画
策定年度	平成29年4月
計画期間	平成29年度～平成38年度（令和8年度）
まちづくりの基本理念	『先端研究産業や中核産業で新しいまちを磨き 住環境の循環によりまちを再編するコンパクトシティ 鶴岡』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の集積とライフステージに応じた居住サイクルによる再編 ・先端研究産業との連携による多様な住環境・賑わい機能の整備 ・幹線道路と地方路線バスによるネットワーク形成と生活拠点の構築
目指す都市像	<ul style="list-style-type: none"> ①土地利用：自然と都市が調和した持続可能な活力あるまちづくり ②交通体系：広域的な交流及び連携が図られた安全・便利で暮らしやすいまちづくり ③水と緑：恵まれた自然を活かし自然と共に生きるまちづくり ④景観：歴史文化の薫り高い住む人訪れる人が安らぎを感じるまちづくり ⑤住環境整備：持続可能な住環境を実現するまちづくり ⑥防災：未来を守り安心して暮らせるまちづくり ⑦医療・福祉：誰もが健やかにいきいきと暮らせるやさしいまちづくり ⑧産業：地域資源を活用した伝統型産業、誘致企業による中核産業、新分野のバイオ産業を振興し、住民の暮らしを支える多様な活力あるまちづくり
公共交通に関する内容	<p>分野別構想 第4章 分野別の方向性</p> <p>1. 土地利用 《施策方針2》(1)にぎわいのある市街地の形成 ・歴史的・文化的資源や地域の観光資源、社会資本等の有効活用やまちなか居住の推進など、まちなかに人を呼びこむハード・ソフト事業を両輪とし活性化を進めます。</p> <p>2. 交通体系 《施策方針2》(1)バス等公共交通網の整備推進 ・高齢者をはじめとする自動車等の移動手段を持たない住民にとって公共交通は日常生活を送る上で重要な役割を担っていることから、本市の地域特性、交通現況、ニーズに見合った、効率的で持続可能な公共交通網の再構築を進めます。</p> <p>(施策概要) ①交流活性化プロジェクトの推進 ②市民協働プロジェクトの推進 ③環境改善・利用促進プロジェクトの推進</p>



将来都市構造図

出典：鶴岡市都市再興基本計画



交通体系構想図

出典：鶴岡市都市再興基本計画

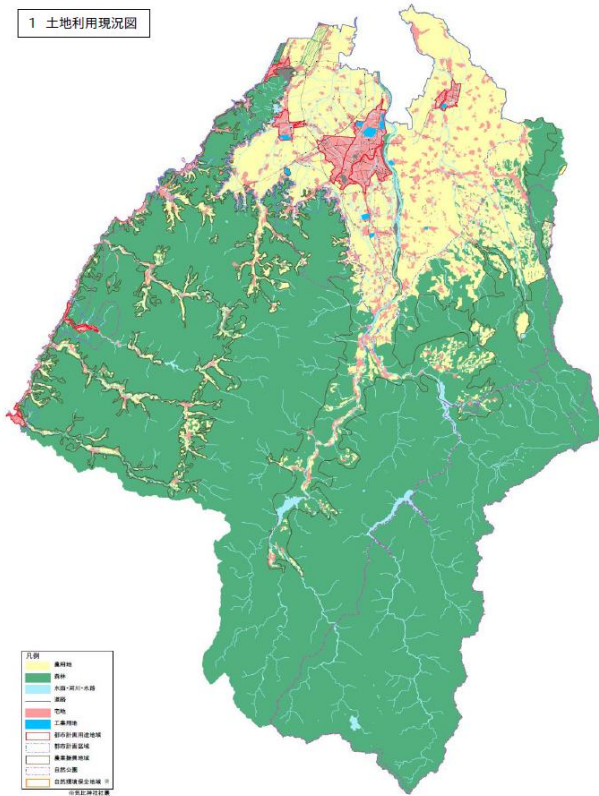
(3) 鶴岡市国土利用計画（第二次）

「鶴岡市国土利用計画（第二次）」は、国土利用計画法第8条の規定に基づき、鶴岡市の区域における国土の利用に関し必要な事項を定めるものであり、第五次山形県国土利用計画（令和3年3月）を基本とし、本市の目指す都市像の実現のため、市土の総合的かつ計画的な土地利用を進める上での指針として策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

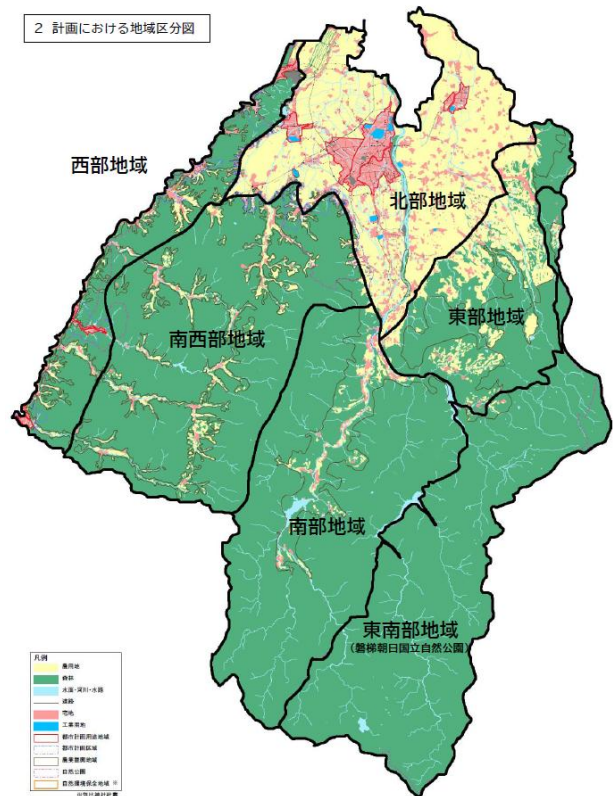
項目	内容
計画名	鶴岡市国土利用計画（第二次）
策定年度	令和4年3月
計画期間	令和4年度～令和13年度
市土利用の基本方針	1. 市土の適切な利用と管理 2. 市土における景観と自然環境の保全 3. 市土の安全性の確保と利便性の向上 4. 多様な主体の連携・協働による市土の運営
計画を実現するために必要な措置	1-1 既存ストックを活かした市土の利用 1-2 土地利用転換の適正化 1-3 市土の有効利用の促進 1-4 国土利用計画法等の適切な運用 2-1 美しい景観の保全・形成 2-2 自然と共生する市土の形成 3-1 安全で安心な市土の整備 4-1 いきいきした市土の創造

1 土地利用現況図



土地利用現況図

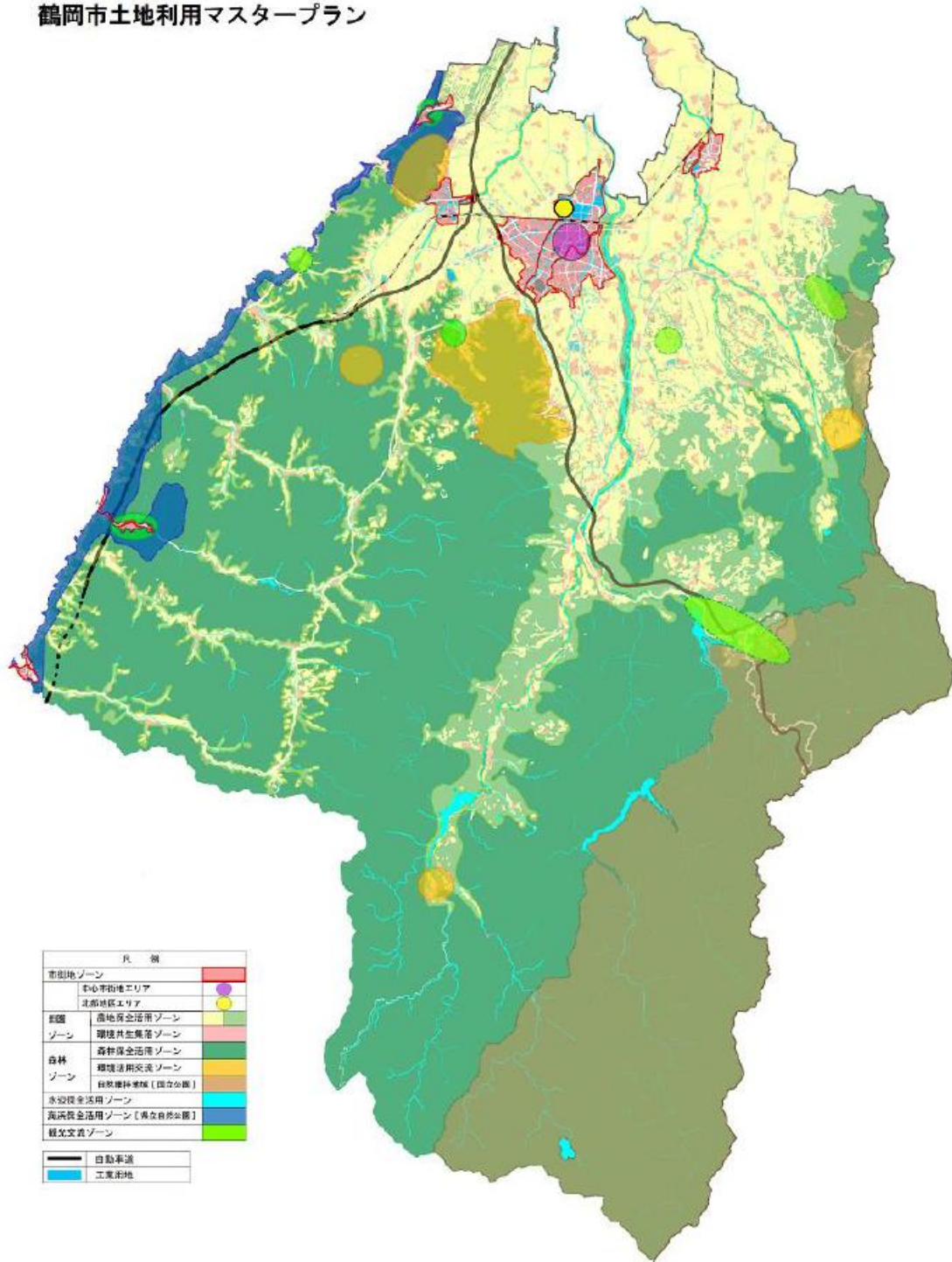
2 計画における地域区分図



計画における地域区分図

出典：鶴岡市国土利用計画（第二次）

鶴岡市土地利用マスタープラン



鶴岡市土地利用マスタープラン

出典：鶴岡市国土利用計画（第二次）

(4) 新市建設計画

「新市建設計画」は、新市のまちづくり、住民のニーズに応える行政サービスを供給することについて、新市全体として、さらには市内における個々の地域レベルで取り組む必要がある方策の基本方針、基本構想、課題を明らかにするために策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	新市建設計画
策定年度	平成16年12月（令和3年3月変更）
計画期間	平成17年度～令和7年度
基本理念	出羽庄内に多様性が生き 新しい時代のいのち輝く 希望のまち
将来像	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習社会先進都市の形成 2. 文化と自然の創造交流都市の形成 3. 先端研究産業都市の形成 4. 豊かな食の農林水産都市の形成 5. 健康づくり先進都市の形成 6. 日本海国土軸交流拠点都市の形成
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美しく快適な南庄内らしい基盤整備 2. 教育と研究の知的基盤整備による新市の核づくり 3. 誇れる文化の継承・発展と交流の拡大 4. 地域資源を高度に生かした新しい産業の創出 5. お互いが温かく支えあうコミュニティの再構築 6. 安心して暮らせる健康と福祉、子育ての環境づくり 7. 安全な地域づくりと資源循環型社会の実現 8. 学習とスポーツで生きがいのある地域社会づくり
公共交通に関する内容	<p>V 新市の施策</p> <p>1-2 交通ネットワークの整備</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄内空港の運行拡充及び施設の整備促進 ○日本海沿岸東北自動車道及び東北横断自動車道酒田線の整備促進 ○羽越本線の高速化の促進 ○国道・県道の整備促進 ○都市計画街路の整備 ○市道の整備（道路改良、舗装新設、橋梁整備等） ○路線バスの維持など生活交通の確保 等 <p>4-3 観光の振興</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域観光ルートの整備（二次交通バス、テーマバス等の運行） ○体験型観光、グリーンツーリズムの推進 等

(5) 各地域振興計画（藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海地域）

「各地域振興計画（藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海地域）」は、各地域における前計画の取り組みを継承しつつ、上位計画である「第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（2024-2028）」に基づき各地域の資源や特性を生かした地域振興を更に推進していくため、各地域のめざす方向と重点的に推進する取組について具体的に示すものとして策定されたものである。

各地域振興計画の策定年度と計画期間

項目	内容
策定年度	令和6年3月
計画期間	令和6年度～令和10年度

(5) - 1 藤島地域振興計画

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	藤島地域振興計画
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興 2 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 3 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築
公共交通に関する内容	<p>5 主な施策</p> <p>3-3 交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確保 藤島地域内の既存の地域公共交通網を活かしながら、住民の利便性向上と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確立をめざします。あわせて、交通ネットワークの充実や商工業振興につながる社会基盤の整備促進を図ります。</p> <p>【具体的な展開方策】</p> <p>①地域公共交通の維持・発展 地域が主体となる既存のデマンド交通を支援し、利用者ニーズの把握に努め、ブラッシュアップを図るとともに、藤島地域全域の公共交通再編にも取り組めます。</p>

(5) - 2 羽黒地域振興計画

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	羽黒地域振興計画
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 人を惹きつけ魅力あふれる観光 2 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 3 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進
公共交通に関する内容	<p>5 施策の基本方針、主な施策及び具体的な展開方策</p> <p>1-（4）観光施設の連携による周遊・滞在型観光誘客の充実</p> <p>②歴史文化と観光資源をつなぐモデルコースづくりと二次交通の検討 二つの日本遺産それぞれの有料観光施設の共通入場券を導入するなどにより観光客を手向と松ヶ岡の双方に誘導する仕組みを検討します。このルートを軸として他の観光施設も周遊する魅力あるモデルコースづくりを推進し、地域内を刊行する滞在時間の増加を目指します。また、これらをつなぐ二次交通について検討します。</p> <p>3-（4）交通弱者の交通手段の確保と運行の充実</p> <p>①より利用しやすい市営路線バスの充実 高齢者の通院や買い物等で外出する手段を確保するため、利用実態調査を行い、利用者のニーズに沿った運行体制の見直しに取り組みます。</p>

(5) - 3 櫛引地域振興計画

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	櫛引地域振興計画
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上 2 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 3 コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進
公共交通に関する内容	<p>5 施策の基本方針と主な施策</p> <p>1-（4）地域資源を活用した観光振興の強化</p> <p>①南部（櫛引・朝日・黄金）広域観光の推進 ○交通網の整備促進 各方面からのアクセスをより充実させ、快適で円滑な観光ルートを形成するため、県道たらのき代鶴岡線バイパス（外内島～我老林）の延伸整備や農免道路（黒川2期地区）の整備促進を山形県に対して要望していきます。</p> <p>3-（3）高齢者等の交通環境の支援</p> <p>①スクールバス住民混乗利用の継続 スクールバスの住民利用混乗利用を継続していくと共に、利用実態の調査分析や、今後の需要、要望を踏まえたうえで、適切なサービス提供のあり方について検討します。</p> <p>②デマンド交通の推進 実証実験運行を実施しているデマンド交通は、令和6年11月の本格運行に向けて、地域住民組織、関係団体との緊密な連携の基に運行内容の検証・改善を重ね、交通弱者の生活支援としての新たな公共交通制度を確立します。</p>

(5) - 4 朝日地域振興計画

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	朝日地域振興計画
基本方針	1 中山間地域における定住環境の支援 2 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 3 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興
公共交通に関する内容	5 施策の基本方針、主な施策及び具体的な展開方策 1-（3）地域の実情や需要に応じた地域内交通の確保 ①地域内生活交通の確保と調査・研究への支援 住民が参画する朝日地域市営バス利用拡大協議会が主体となり、地域住民や利用者への調査など地域内交通の在り方について調査・研究を行う取組を支援し、地域の実情や需要に応じた市営バスの運行を含め、利用者の視点に立った地域公共交通対策を推進します。 ②高校生通学費への支援 遠距離通学者への定住支援として、高校生等に対する支援とその手続きのデジタルワンストップ化により保護者の負担軽減を図ります。

(5) - 5 温海地域振興計画

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	温海地域振興計画
基本方針	1 あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 2 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 3 地域特性を生かした農林水産業の振興 4 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備
公共交通に関する内容	5 施策の基本方針と具体的な展開方策 4-（3）地域に適した公共交通網の形成と通学環境整備 【具体的な施策】 ①乗合タクシーの運行支援 温海地域公共交通運営協議会が運営する乗合タクシーの運行を支援し、高齢者や障害者等の通院や買い物等の外出支援など、住民の福祉向上に取り組みます。 ②遠距離通学となっている高校生がいる世帯への支援 遠距離通学者の定住支援として、高校生の通学費等を支援するとともに、スマートフォンなどからの電子申請により保護者の負担軽減を図ります。

(6) 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画

「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画」は、令和2年度末をもって終了した「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を検証するとともに、現状と課題を分析・整理して、引き続き地域コミュニティの活性化を計画的に推進していくために策定されたものである。

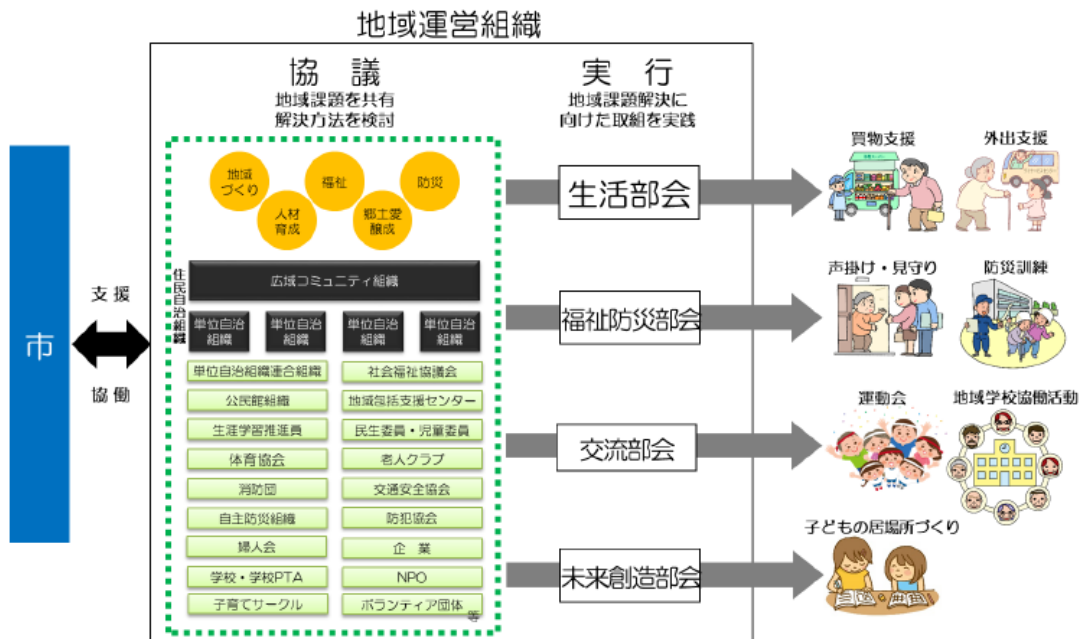
計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画
策定年度	令和3年3月
計画期間	令和3年度～令和7年度
目指す5年後の方向性	地域特性を生かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く
市の地域コミュニティ施策	<ul style="list-style-type: none"> ①住民主体による地域課題解決を多面的に支援 ②コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進 ③広域コミュニティ機能の強化 ④小規模な単位自治組織への支援 ⑤安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり ⑥生涯学習活動を通じた地域づくりの推進 ⑦住民自治組織と行政の連携強化
公共交通に関する内容	<p>5 市の地域コミュニティ施策</p> <p>③広域コミュニティ機能の強化</p> <p>【具体的取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題の解決を目指す地域運営組織の運営強化に向け、先進事例等の情報提供等により支援します。 ○広域コミュニティ組織と単位自治組織が地域内連携を図り、住民理解を深めながら機能補完や役割分担の検討を行えるように、事例紹介や研修会の開催など必要な支援を行います。 ⑤安全安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり <p>【具体的取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や障害者等が地域で安心して暮らせるように、住民自治組織等の多様な実施主体による生活ニーズに応じたサービスを提供できる体制整備を支援します。 ○日常の移動手段として重要な役割を担う路線バスなどの公共交通について、地域の実情に応じた最適な交通手段の導入を共に検討し、導入して完了ではなく、その後も『乗って育てる公共交通』を目指し、関係者が一体となって利用促進、利便性の向上につながる取組を進めます。

取組に向けた連携イメージ

《目指す5年後の方向性（令和7年度）》

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、
住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、
さらに心豊かな暮らしを築く



※このイメージ図は、地域コミュニティの中核を担う住民自治組織と、地域の各種関係団体や企業、個人等が連携・協力しながら、また、市は各種支援と情報提供等により支えながら、地域が一体となって地域課題の解決等の地域づくりに取り組み、目指す5年後の姿に向かうことを表したものです。

取組に向けた連携イメージ

出典：第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画

(7) 鶴岡市過疎地域持続的発展計画

「鶴岡市過疎地域持続的発展計画」は、人口の著しい減少等に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域と比較して不十分であることから、総合的かつ計画的な対策を実施することで、地域の持続的発展を目指すものとして策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	鶴岡市過疎地域持続的発展計画
策定年度	令和3年9月（令和7年9月改定）
計画期間	令和3年度～令和7年度
地域の持続的発展の基本方針	1-1 住民の暮らしと安全安心の確保 1-2 地域資源を活用した魅力の創造 1-3 集落の維持・活性化と広域化による対応 2-1 人の流れの創出と新たな担い手の育成 2-2 デジタル技術の活用 3-1 地方版総合戦略との関連
公共交通に関する内容	5 交通施設の整備、交通手段の確保 (3) 交通 【施策の方向性】 2. 生活交通 バス路線については、利用者数が減少しバス事業者独自での路線維持が困難になっていることから、バス運行経費やバス車両の減価償却費の補助などにより路線の維持を図り、生活交通の確保を図る。また、運転免許返納者を含む高齢者等の生活交通面での金銭的負担を緩和するため、バス交通利用者への助成を行う。併せて、通学の不便さから家族の送迎を必要とするなど、遠隔地に居住し特に負担が大きい高校生の通学に対し支援を行い、負担の標準化や公共交通機関利用の確保につなげる。

(8) 鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略

「鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略」は、令和5年度に策定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」における考え方を踏まえ、本市における地方創生の取組を第2次鶴岡市総合計画後期基本計画と一体的に進めていくものとして策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

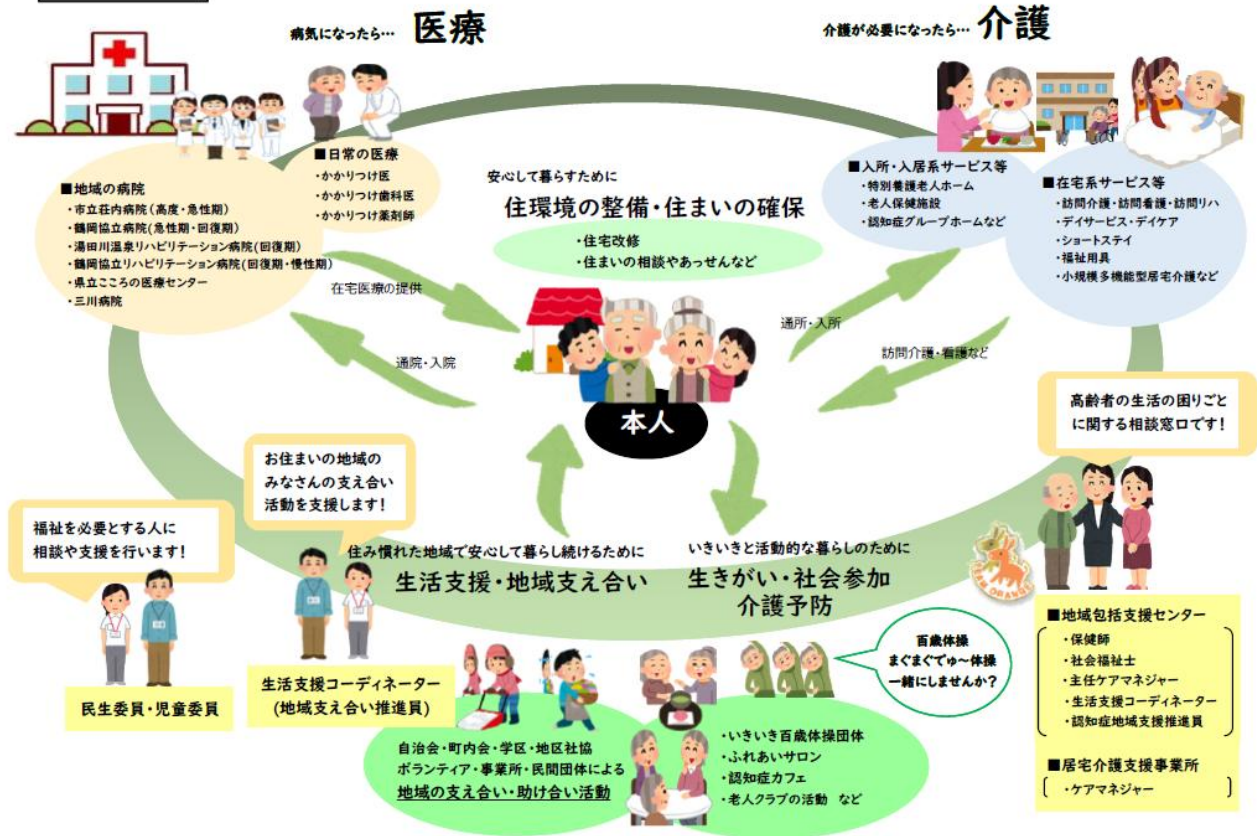
項目	内容
計画名	鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略
策定年度	令和6年3月
計画期間	令和6年度～令和10年度
鶴岡市総合戦略における地方創生	若者の地元回帰と定着・女性活躍の推進
4つの基本目標とデジタル技術の活用	<p>(1) 目標設定</p> <p>基本目標1 安心して働いていくためのしごとをつくり、担い手を育てる</p> <p>基本目標2 ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす</p> <p>基本目標3 結婚・出産の希望を持つひと、子育てするひとを全力で応援する</p> <p>基本目標4 地域の支え合いを通じて、まちの安全を守り、活気を生み出す</p> <p>(2) デジタルの活用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルワンストップ 2. 電子市民・関係人口の拡大 3. こども・教育 4. 健康・医療・介護 5. 防災 6. 産業 7. 人材育成
公共交通に関する内容	<p>基本目標4</p> <p>【具体的な施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちの賑わい創出と支え合うコミュニティの形成 <ol style="list-style-type: none"> (1) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出 <ol style="list-style-type: none"> 1 中心市街地における多様な商業・サービス機能の立地促進 2 地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり (2) 快適な都市環境の形成 <ol style="list-style-type: none"> 1 コンパクトな市街地形成と地域拠点とのネットワークの構築 2 賑わいのある中心市街地の形成 (3) 公共交通の再編や整備による利便性の向上 <ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通ネットワークの形成 (4) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進 <ol style="list-style-type: none"> 1 住民主体の地域づくりの推進 (5) 過疎地域の活性化 <ol style="list-style-type: none"> 1 集落対策の推進

(9) 鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

「鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」は、国の基本指針と本市の高齢者の状況を踏まえて、基本理念と、それに基づく基本目標を定め、計画の目標実現のため地域の実情に合った施策の取組を推進することを目的として策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画
策定年度	令和6年3月
計画期間	令和6年度～令和8年度
基本理念	ずっとここで暮らしたい 支え合う地域共生社会の実現 ～地域包括ケアシステムの更なる充実～
計画の基本目標	I 地域にあたたかなつながりを広げるために II いきいきと活動的な暮らしのために III 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために IV 認知症でも自分らしく暮らせるために V 介護保険を知り、適切にサービスを利用するために
施策体系	I-1 暮らしを支える支援体制の構築 I-2 地域包括支援センターの機能強化 I-3 在宅医療・介護連携の推進 I-4 地域課題を解決するための社会基盤の整備 II-1 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施の推進 II-2 社会参加と生きがいづくりの促進 II-3 自立支援と重度化防止の推進 III-1 地域生活を支え合う仕組みづくりの推進 III-2 住環境の整備と住まいの確保 III-3 在宅での生活と介護者に対する支援の充実 III-4 災害と感染症に備えた体制づくり IV-1 認知症施策の推進 IV-2 本人及び家族の思いを伝える場づくりの推進 IV-3 高齢者の尊厳保持と権利擁護の支援 V-1 持続可能な介護保険サービス提供体制の構築 V-2 持続可能な介護保険制度の運営 V-3 介護人材の確保と業務改善の推進 V-4 介護保険制度の周知啓発の推進
公共交通に関する内容	基本施策Ⅰ 地域生活を支え合う仕組みづくりの推進 (4) 移動・移送を支援する体制の整備 ①公共交通ネットワーク等の形成による外出支援の推進 ・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域住民や交通事業者との話し合いなどにより地域の実情や需要に応じた、交通空白地帯が生じない公共交通ネットワークを形成し、安心して外出できる環境づくりに取り組みます。 ②地域主体による移動・移送を支援する活動の促進 ・既存の公共交通や交通事業者と連携しながら、生活課題である買い物や通院、通いの場への移動などについて、移動・外出支援を含めた有償ボランティア立ち上げの研修会を開催するなど、地域の実情に応じた住民主体による移動手段の創出を支援します。



鶴岡市の高齢者版地域包括ケアシステム (イメージ図)

出典：鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

(10) 鶴岡市中期観光戦略プラン

「鶴岡市中期観光戦略プラン」は、上位計画である総合計画後期基本計画の7つの大綱の1つ「商工と観光」並びに同計画の5つの加速化アクションの1つ「交流人口の創出と拡大」を推進するための基本的な方向性を定め、地域の資源と人材を活かし、国内旅行者の回復に取り組みながら、インバウンドを重点に官民で向かうべき大きな方向性を定めるものとして策定されたものである。

計画の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	鶴岡市中期観光戦略プラン
策定年度	令和6年3月
計画期間	令和6年度～令和10年度
将来ビジョン	全ての道は出羽（Dewa）へ通ずる ～The Route to the Land of Dewa～ 江戸末期に流行した「西の伊勢参り、東の奥参り」 そのルートを現代版に刷新し、現代の「東の奥参り」を創造し、 発信することで目的地として選ばれる観光都市を目指します。
3つの基本戦略	戦略1：域内ネットワーク 官民協働で鶴岡らしいコンテンツの創出と受入環境整備を進めます 戦略2：広域ネットワーク 広域連携のもと東北を代表するグランドルートを構築します 戦略3：ITネットワーク 情報発信と顧客関係管理の基盤を整備します
公共交通に関する内容	戦略2：広域ネットワーク ・将来ビジョンに掲げた「全ての道は出羽（Dewa）へ通ずる。～The Route to the Land of Dewa～」は、歴史ある「東の奥参り」の参詣道を、現代版にアレンジし、東北地方を巡る新たな広域観光ルートを作ることを意味します。ルート上の立ち寄先は、古来の参詣道という精神文化を重視しつつ、グルメアクティビティといった娯楽的な要素が高い観光地を織り交ぜるなど、旅行者目線で「行ってみたい」と思えるグランドルートを開発します。 〈想定される設定ルートとターゲット〉 2. 旅行者の移動距離と時間を考慮したルート 飛行機の発着時間や二次交通の時間に配慮したルート

(11) 山形県地域公共交通計画

「山形県地域公共交通計画」は、県の最上位計画である「第4次山形県総合発展計画」や交通に関する事業の展望を示す「山形県総合交通ビジョン」に即し、まちづくり、観光、医療、福祉、教育などに関する県の各種計画との整合を図りながら、県民、交通事業者、行政などの関係者が連携・協働し、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現を図るべく取り組む施策の基本的な考え方を取りまとめるものとして策定されたものである。

構想の概要（一部抜粋）

項目	内容
構想名	山形県地域公共交通計画
策定年度	令和8年
計画期間	令和8年度～令和12年度
基本的な方針	安心と活力を支える交通を共に創り育て、県民の幸せを実現する
目指す将来像	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべての人にやさしい公共交通が、安心して移動できる社会を築いている 2. 公共交通が“選ばれる移動手段”として定着し、地域の活力を生み出している 3. 多様な分野との共創によって、地域に根差した持続可能な交通が実現している
施策体系	<ol style="list-style-type: none"> (1) -① 幹線バスネットワークの維持・強化 -② 鉄道ネットワークの確保・充実 -③ 交通拠点等における利用環境の整備・改善 -④ 鉄道駅・空港からの二次交通の連携 (2) -① 市町村の圏域を越えたシームレスな交通環境の構築 (3) -① 地域の実情に即した地域内交通サービスのプロデュース (4) -① 多様な主体・サービスと連携した公共交通の利用機会の拡大 -② 住民意見の的確な反映による交通サービスの充実 -③ 「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト」の推進 (5) -① 運転手等の確保及び離職防止対策 -② 市町村における専門人材の育成 (6) -① 地域公共交通に対する住民意識の醸成・関心の向上 -② 日常利用の増加に向けた利用促進 (7) -① 新たなモビリティサービスの積極的な導入 -② データの効果的な利活用 -③ デジタル技術の活用(自動運転、AI配車システム、キャッシュレス決済等) -④ ユニバーサルデザインに対応した交通環境の整備 (8) -① デジタル技術やデータの利活用による業務の効率化 -② 国庫補助金の有効活用による経営・財政基盤の確保 -③ 多様な財源確保による経営・財政基盤の強化

(12) 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）

「庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）」は、生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している本市と三川町、庄内町において、圏域や地方全体の現況も踏まえつつ、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていくために必要な取組や具体的な事業を示すものとして策定されたものである。

構想の概要（一部抜粋）

項目	内容
計画名	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）
策定年度	令和5年3月
計画期間	令和5年度～令和9年度
圏域の将来像	<p>本市は、三川町、庄内町とともに、平成25年3月に「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として、都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を活かした地域づくりと、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、圏域全体として定住環境の整備にこれからも努めていく。</p> <p>今後とも、市民、地域、行政が互いに協働し、さらに3市町の連携・協力による総合的な力の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限に活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。</p>
本市の役割	<p>定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。</p>
公共交通に関する内容	<p>5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組</p> <p>(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野</p> <p>①地域公共交通</p> <p>【取組の内容】</p> <p>圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。</p> <p>(鶴岡市の役割)</p> <p>鶴岡市地域公共交通総合連携計画（現：鶴岡市地域公共交通網形成計画）との整合を図りながら、三川町、庄内町及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。</p> <p>【具体的な連携事業】</p> <p>(事業名) 圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築</p> <p>(事業内容)</p> <p>既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、特に、高齢者等の通院や買物、高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりと、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。</p>

1-1-2 上位・関連計画にみる公共交通に求められる役割

本市が目指す将来像の実現には、公共交通施策だけではなく、まちづくり全体の視点から俯瞰して捉えることが重要であり、関連する分野と連携・整合を図りながら取り組みを進めることが必要である。

前項までに整理した上位・関連計画における事業等の位置づけや、公共交通に求められる役割について整理した。

また、それぞれの計画に記載されている公共交通に関する施策も併せて示す。

公共交通に求められる役割

項目	上位・関連計画	求められる役割	関連する施策
上位計画	第2次鶴岡市総合計画 (後期基本計画)	○持続可能な公共交通ネットワークを形成し、市民が安心して暮らせる地域づくりやまちの賑わい創出を支える役割	○生活交通バス路線の維持、確保 ○交通システムの導入、ICTの活用、公共交通ネットワークの再構築 ○公共交通の利用促進、利便性の向上 ○高校生の通学支援の拡充
関連計画	鶴岡市都市再興基本計画	○効率性と持続性を兼ね備えた公共交通網を再構築し、日常生活の移動を支える役割	○公共交通網の整備推進
	鶴岡市国土利用計画 (第二次)	○にぎわいのある市街地の形成に寄与する公共交通ネットワークの形成する役割	—
	新市建設計画	—	○生活交通の確保 ○広域観光ルートの整備
	各地域振興計画	○日常生活の移動を支える生活交通の確保する役割	○地域公共交通の維持・発展 ○市営路線バスの充実 ○高齢者等の交通環境の支援 ○高校生通学費への支援 ○乗合タクシーの運行支援
	第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画	○持続可能な公共交通体制を確立により地域の実情に即した住民の移動利便性の向上を図る役割	○地域の実情に応じた最適な交通手段の導入
	鶴岡市過疎地域持続的発展計画	○地域の実情に即した公共交通体制の確立により高齢者や障害者が地域で安心して暮らせる環境を支える役割	○公共交通利用者への助成、支援
	鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略	○日常生活の移動を支える役割	○公共交通の再編や整備による利便性の向上
	鶴岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	○効率性と持続性を兼ね備えた公共交通網を再構築し、日常生活の移動を支える役割	○移動・移送を支援する体制の整備
鶴岡市中期観光戦略プラン	○地域の実情に即した住民の移動利便性向上に寄与する公共交通体系を構築する役割	○飛行機の発着時間や二次交通の時間に配慮したルート	

項目	上位・関連計画	求められる役割	関連する施策
参考	山形県地域公共交通計画	○観光二次交通の確保する役割	○市町村の圏域を越えたシームレスな交通環境の構築 ○運転手等の確保及び離職防止対策
	庄内南部定住自立圏共生ビジョン	○持続可能な公共交通ネットワークを形成し、市民が安心して暮らせる地域づくりやまちの賑わい創出を支える役割	○安心して分かりやすく利用できるシステムの構築

1-2 地域特性の整理

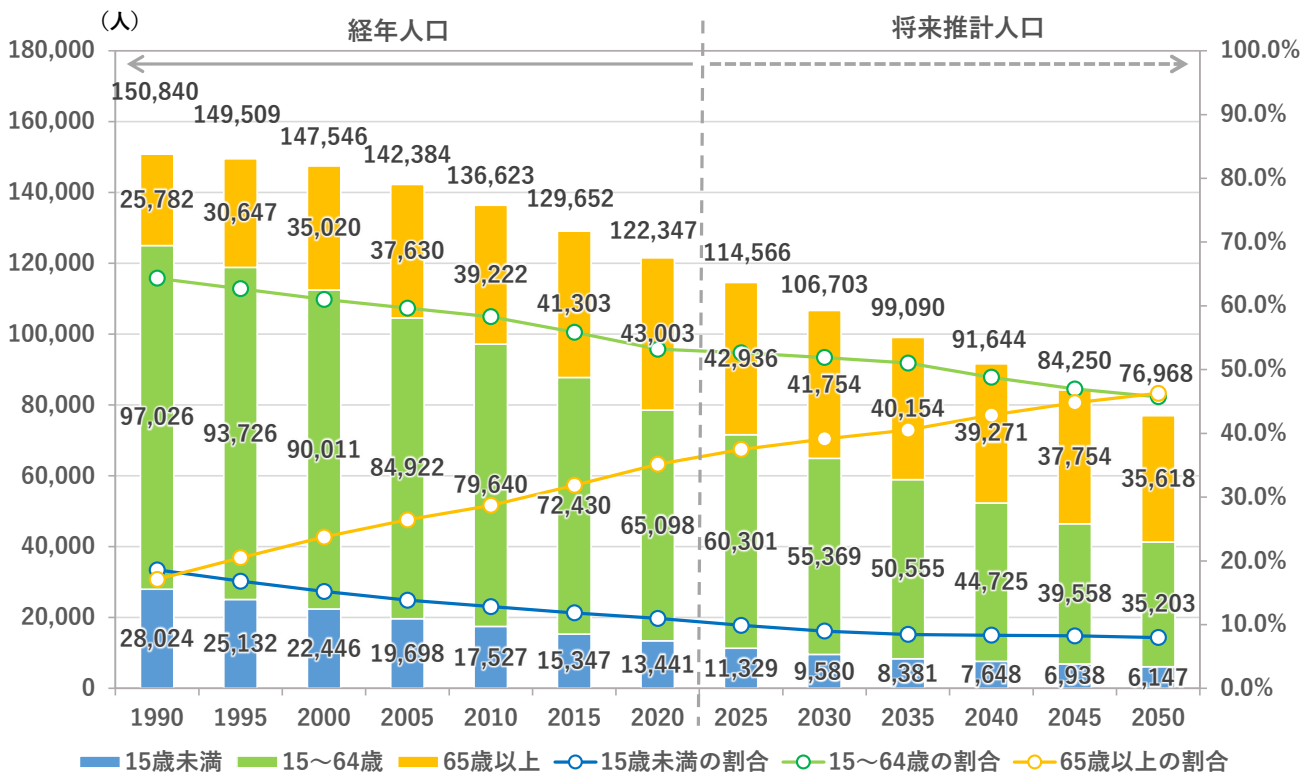
1-2-1 人口動態

(1) 総人口・将来人口の推移

本市の総人口は減少を続けている。2020年には122,347人となっており、10年前の2010年と比較すると約9割、30年前の1990年と比較すると約8割まで減少している。

年齢階層別の人口割合は、2020年には年少人口（15歳未満）が13,441人（11.0%）、生産年齢人口（15～64歳）が65,098人（53.2%）、老年人口が43,003人（35.1%）となっている。老年人口の割合は増加傾向にあり、高齢化の進行が顕著にみられる。

将来人口推計では人口減少は継続する見込みであり、現在からおよそ10年後の2035年には99,090人と10万人を下回ることが予想されている。また、2050年以降には老年人口の割合が生産年齢人口の割合を上回る推計となっている。



年齢階層別の総人口・将来人口の推移

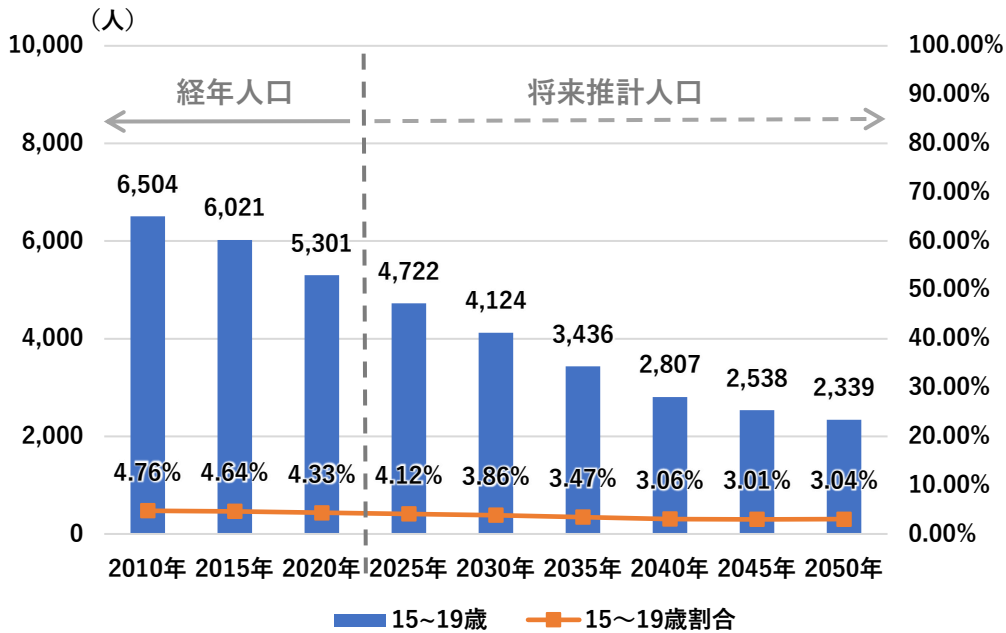
※総人口は年齢不詳を含む

※2000年以前は1市4町1村の人口の合計

出典：実績値/国勢調査（1990～2020）、将来推計値/国立社会保障・人口問題研究所

(2) 15～19歳人口と総人口に対する割合の推移

15～19歳人口は大幅な減少傾向となっている。2010年から2020年で約8割になっており、2010年から2050年では4割以下にまで減少することが見込まれる。



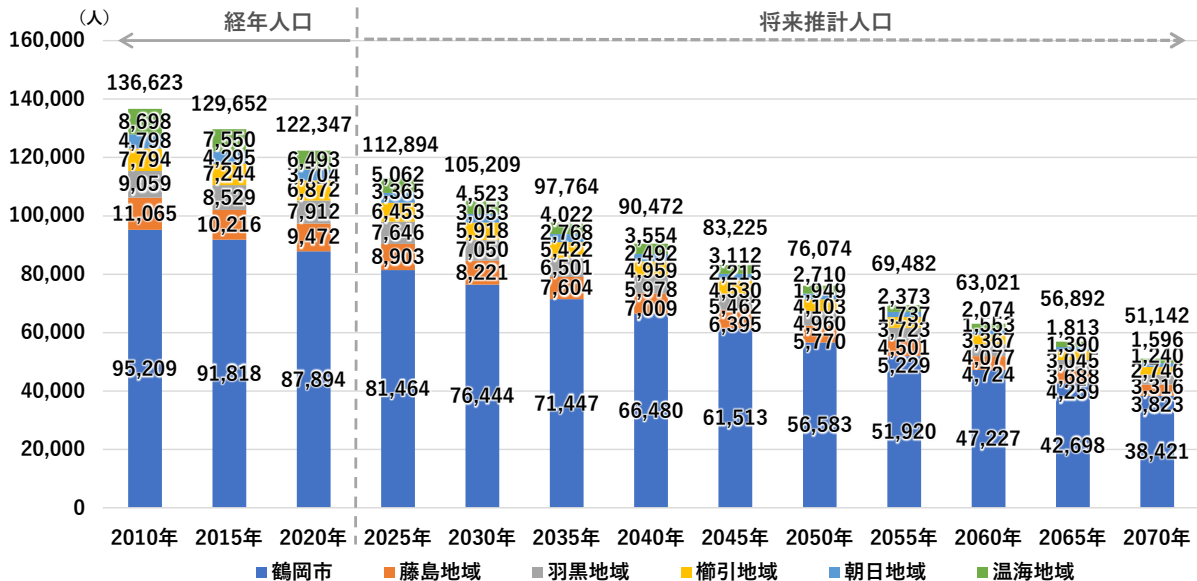
15～19歳人口と総人口に対する割合の推移

※総人口は年齢不詳を含む

出典：実績値/国勢調査（2010～2020）、将来推計値/国立社会保障・人口問題研究所

(3) 地区別人口の推移

地区別の人口はすべての地区で減少傾向となっている。特に温海地域では減少が顕著にみられ、2025年には5,062人となっており、15年前の2010年と比較すると約6割まで減少している。

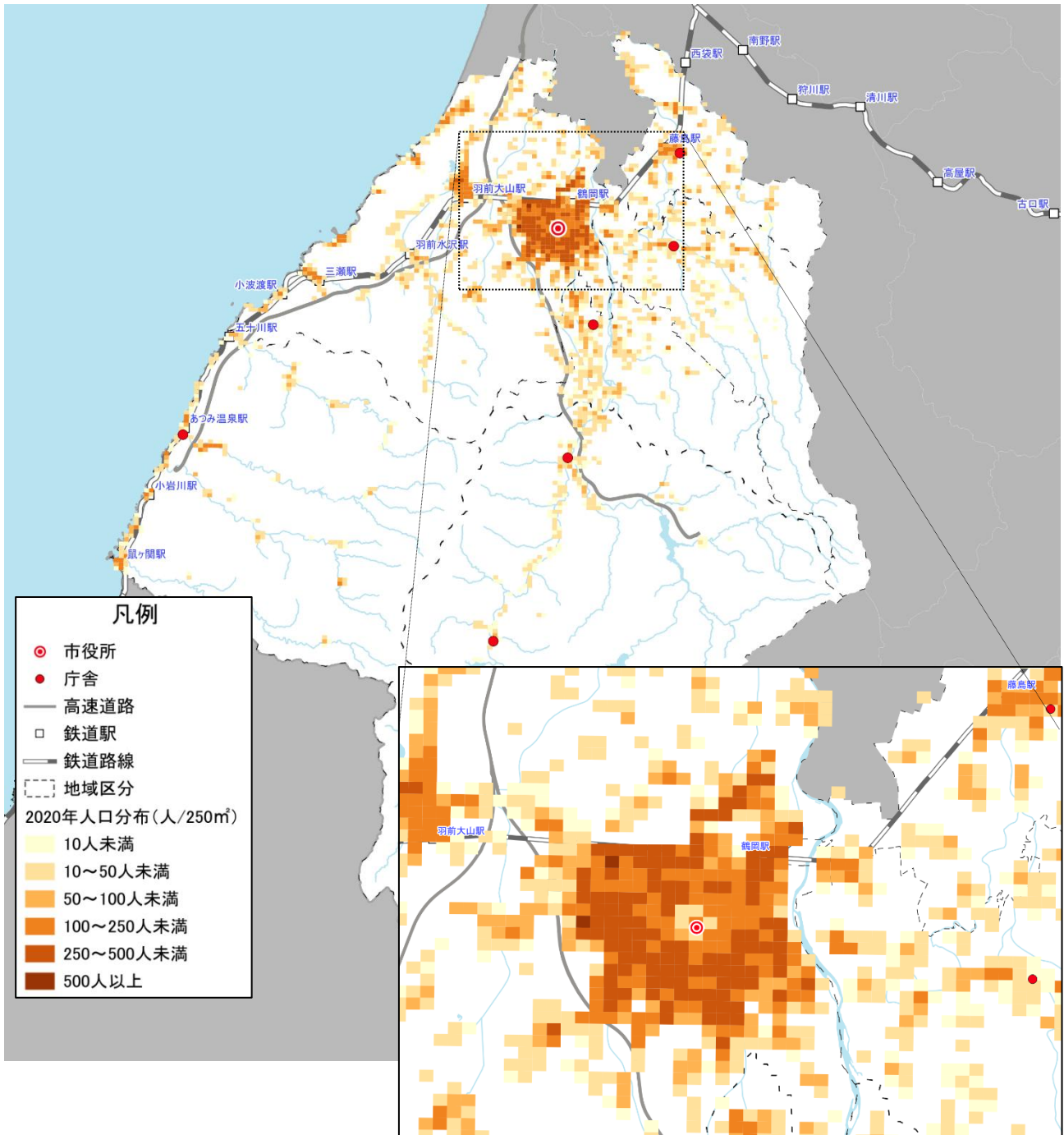


地域別人口の推移

出典：国土数値情報 「500mメッシュ別将来推計人口データ」より算出

(4) 人口分布

人口の分布状況は、市の中心部である市役所の周辺や各庁舎の周辺に人口が集中しているほか、羽越本線の鉄道駅である藤島駅、鶴岡駅、羽前大山駅等の周辺に集中する傾向がみられる。



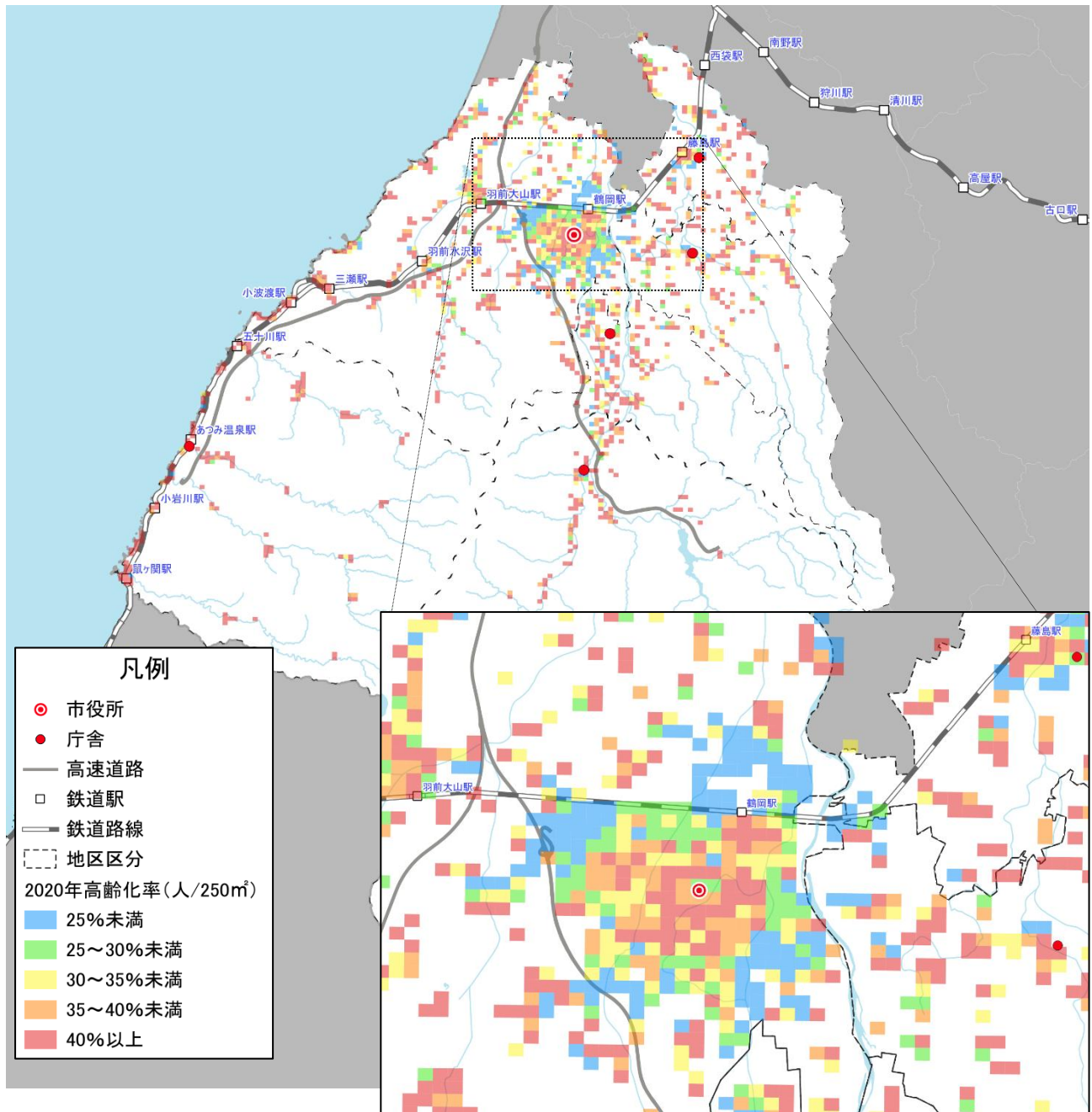
人口分布

出典：国勢調査（2020）

(5) 高齢化率

高齢者（65歳以上）が占める割合をみると、総人口分布にて居住者が少ないエリアに高齢化率40%以上のエリアが多くみられる。

また、中心部では市役所周辺から外側に行くにつれて高齢化率が下がっており、鶴岡駅北部と中心部左側には高齢化率25%未満のエリアが多くみられる。



高齢化率

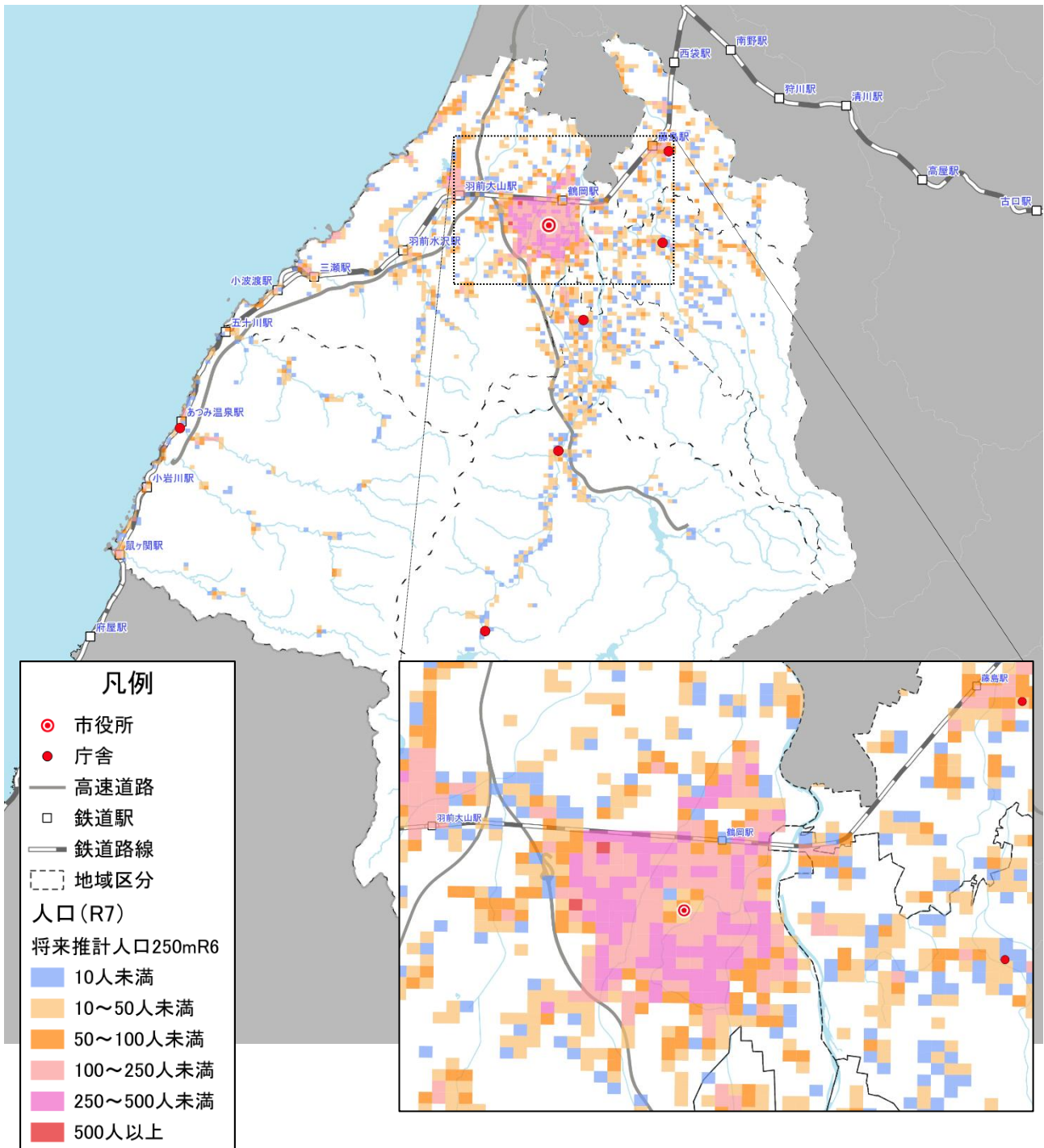
出典：国勢調査（2020）

※高齢化率はメッシュ内人口に対する65歳以上人口が占める割合として算出

(6) 将来人口分布

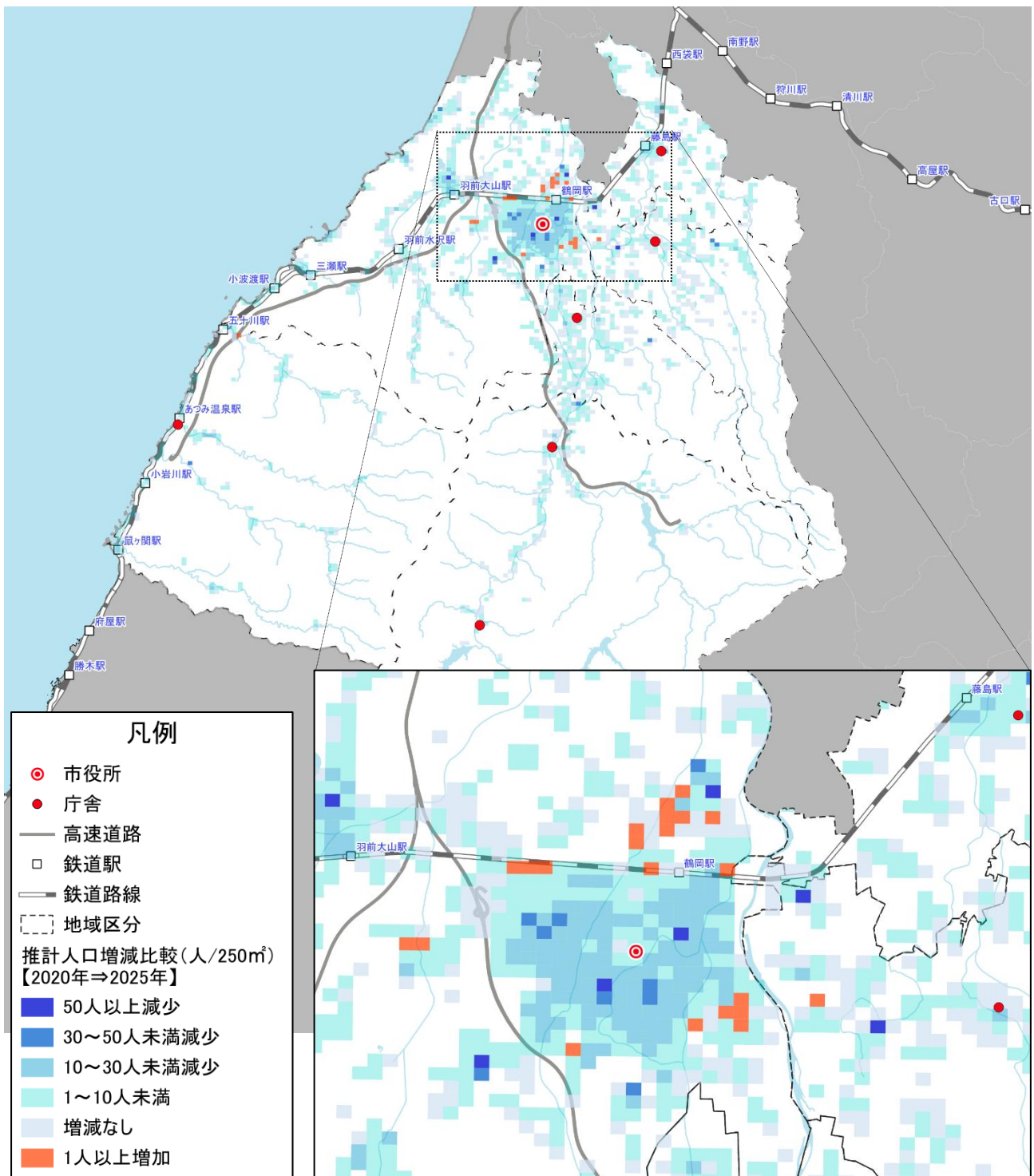
2020年と比較すると大きな増減がないように思えるが、全体的に減少傾向がみられ、中心部周辺では50人以上の減少と1人以上の増加が点在している。

藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海地域では増減がほとんどないエリアも多い。



将来人口分布 (2025年)

出典：国土数値情報「250mメッシュ別将来推計人口データ」



将来人口分布（2020年から2025年までの増減数）

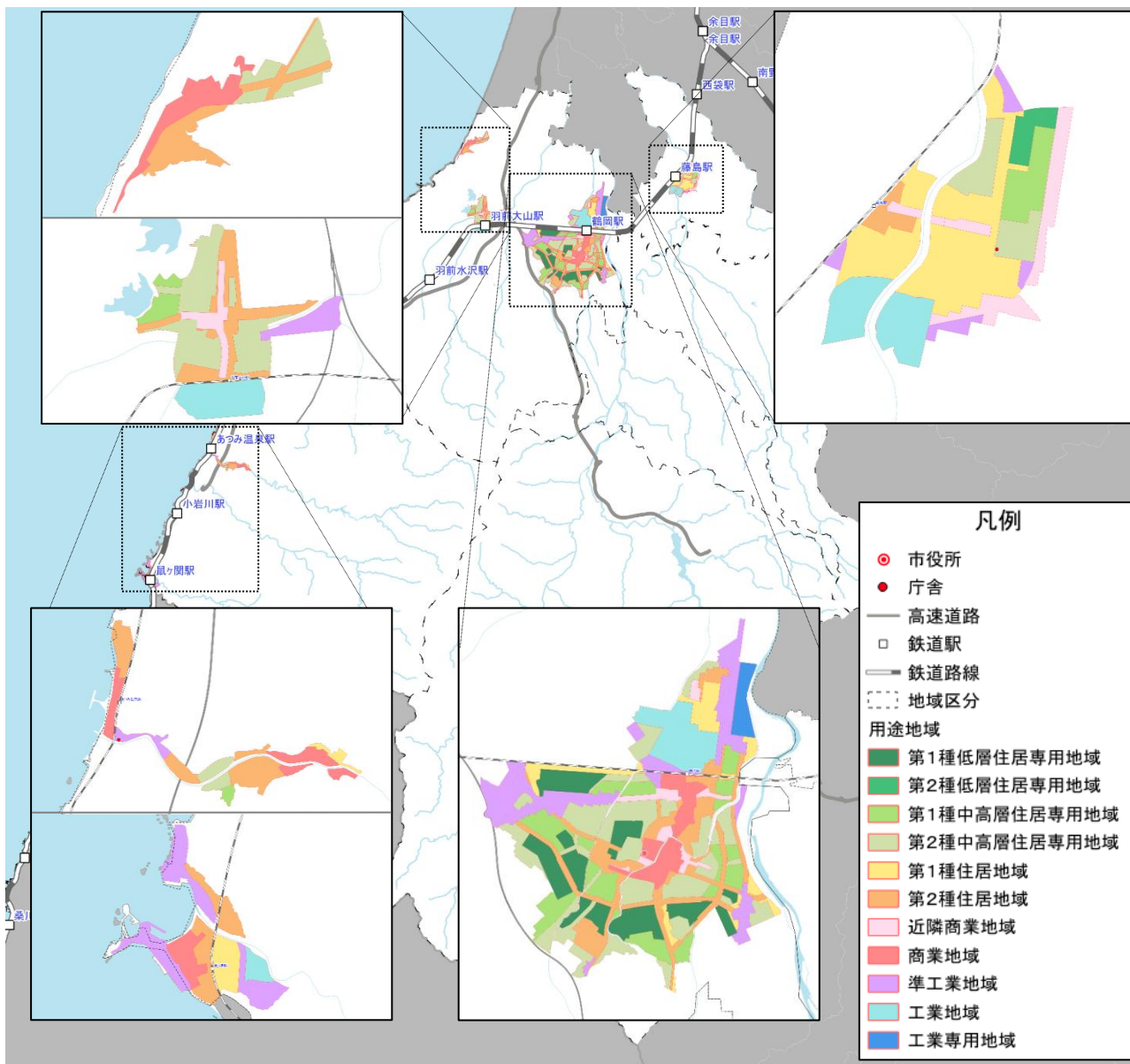
出典：国土数値情報「250mメッシュ別将来推計人口データ」

1-2-2 地勢・土地利用

(1) 用途地域

本市は、「鶴岡市都市計画区域」、「藤島都市計画区域」、「櫛引都市計画区域」、「温海都市計画区域」の4つの都市計画区域を有していたが、全市統一的土地利用を図っていくため、羽黒・朝日地域も含めた形で平成25年4月に「鶴岡市都市計画区域」として統合された。

用途の内訳は、住居系67.4%、商業系10.0%、工業系22.6%となっており、住居系用途が大半を占めている。

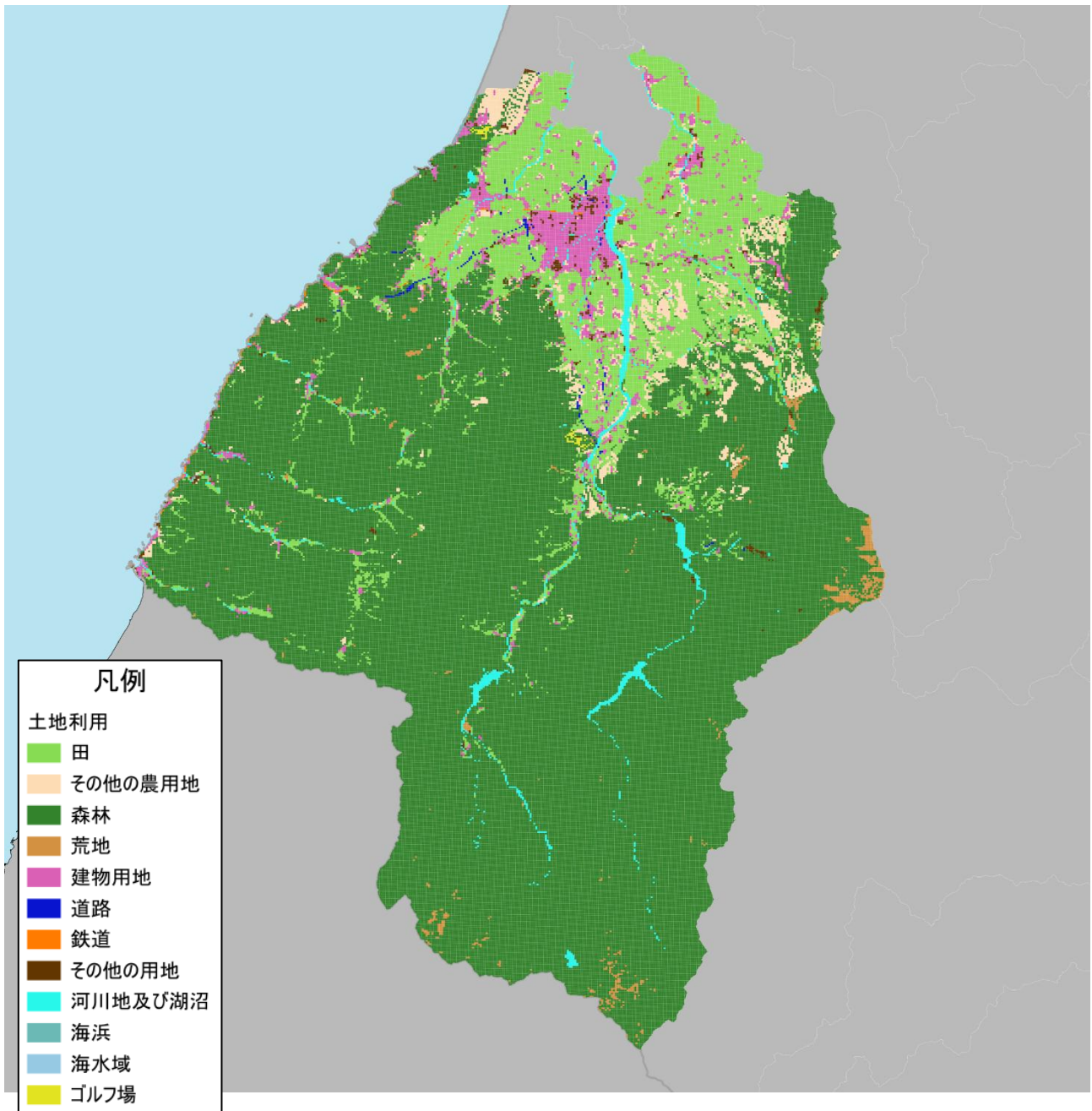


用途地域（左上：大山・湯野浜 右上：藤島 左下：温海 中央下：鶴岡市街地）

出典：国土数値情報「用途地域データ」

(2) 土地利用現況

土地利用現況の内訳は、森林が最も多く市の73.1%を占めている。そのほかの内訳は、農用地13.8%、水面・河川・水路3.1%、道路3.1%、宅地2.6%、その他4.4%となっており、農用地が大半を占めている。



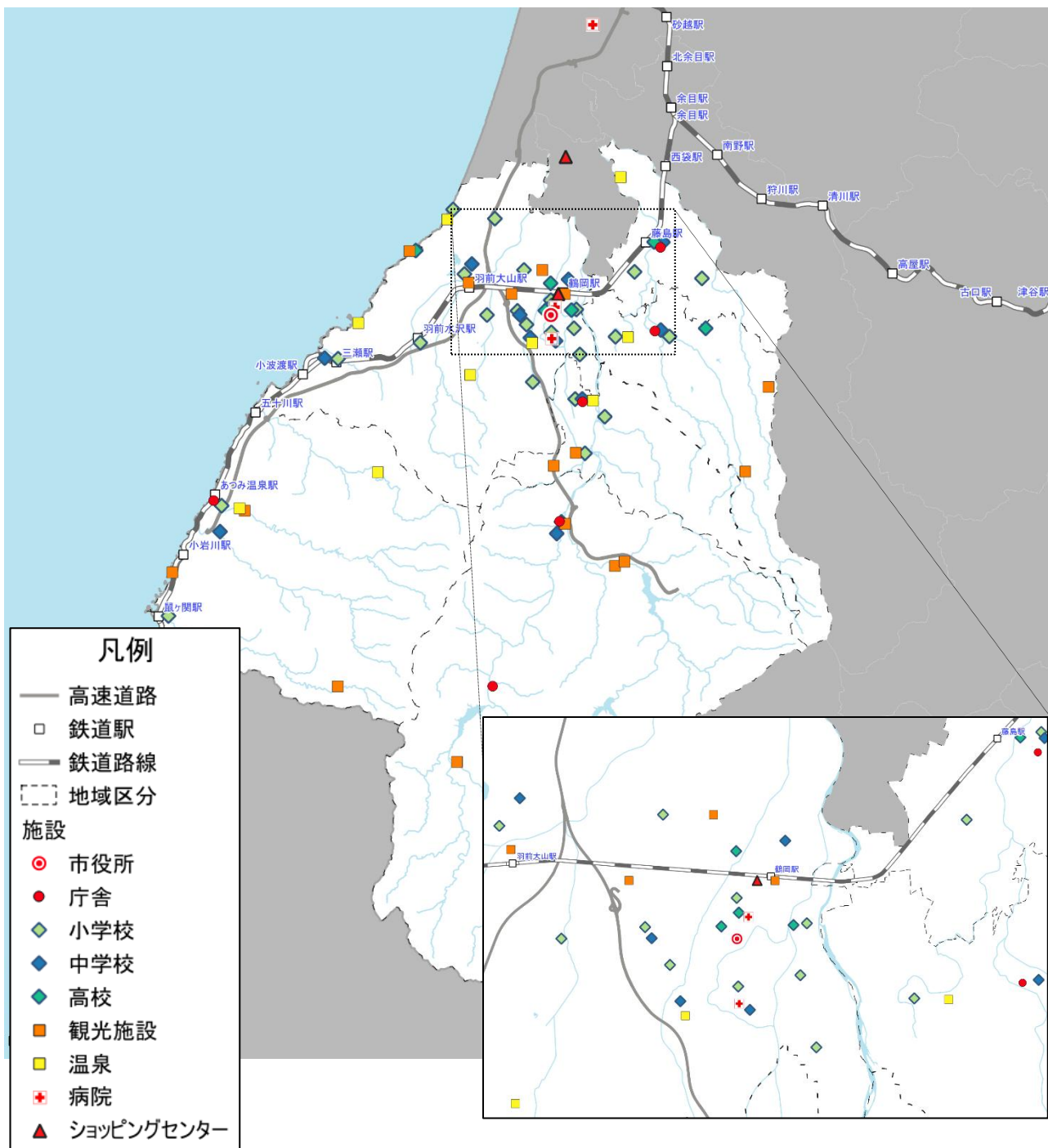
土地利用状況

出典：国土数値情報「土地利用細分メッシュデータ」

1-2-3 施設分布状況

市内の主要な施設は、山形自動車道や羽越本線沿いに多く立地しており、特に中心部周辺に支所や規模の大きい商業施設、病院や高等学校が集積している。

各施設分類別の詳細は次ページ以降に示す。



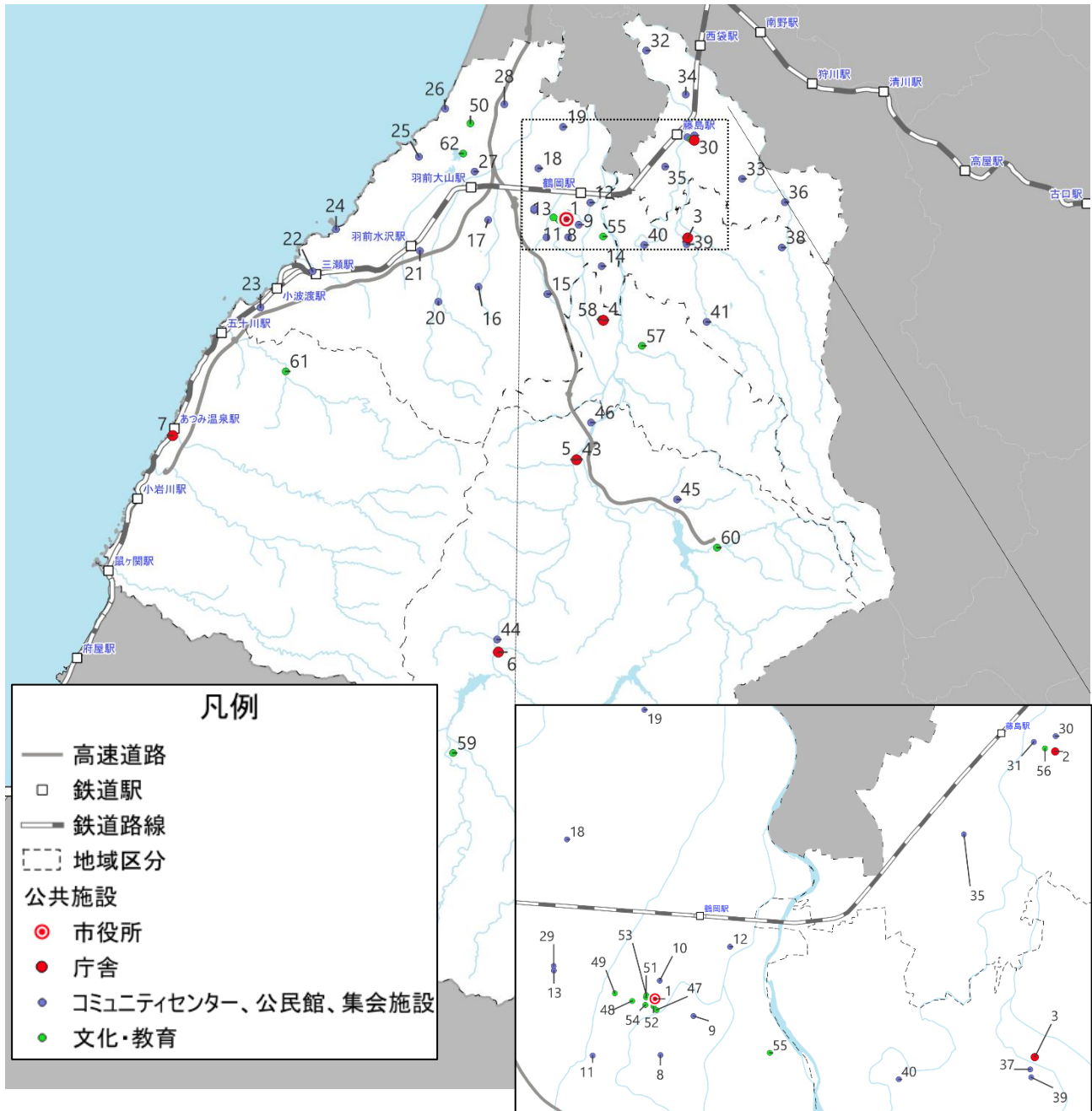
主な施設の分布状況

出典 山形県 HP、鶴岡市 HP、各施設 HP、市民アンケート

(1) 公共施設

各地域に支所が立地しており、中心部には市役所を中心として、コミュニティセンターや公民館、集会施設、文化・教育施設が集積している。

鉄道付近や主要な道路沿いに公共施設が多く、各地域の拠点となる場所に公共施設が立地している。



公共施設の分布状況

出典：鶴岡市 HP

公共施設の分布状況 (1/2)

No	分類	名称	所在地	地域
1	市役所関連	鶴岡市役所	山形県鶴岡市馬場町 9-25	鶴岡
2		藤島庁舎	山形県鶴岡市藤島字笹花 25	藤島
3		羽黒庁舎	山形県鶴岡市羽黒町荒川字前田元 89	羽黒
4		櫛引庁舎	山形県鶴岡市上山添字文栄 100	櫛引
5		朝日庁舎	山形県鶴岡市下名川字落合 1	朝日
6		朝日庁舎 南出張所	山形県鶴岡市上田沢字下中島 25	朝日
7		温海庁舎	山形県鶴岡市温海戊 577-1	温海
8	コミュニティセンター 公民館 集会施設	第一学区コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市文園町 1-63	鶴岡
9		第二学区コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市昭和町 11-22	鶴岡
10		第三学区コミュニティセンター	山形県鶴岡市泉町 5-30	鶴岡
11		第四学区コミュニティセンター	山形県鶴岡市稲生一丁目 10-80	鶴岡
12		第五学区コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市宝町 18-77	鶴岡
13		第六学区コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市みどり町 22-28	鶴岡
14		斎コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市我老林字野中川原 35-2	鶴岡
15		黄金コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市青龍寺字北内 203-1	鶴岡
16		湯田川コミュニティセンター	山形県鶴岡市藤沢字西側 174-1	鶴岡
17		農村センター	山形県鶴岡市矢馳字上矢馳 258	鶴岡
18		京田コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市高田字下村 336-1	鶴岡
19		栄コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市播磨字若松 95-1	鶴岡
20		田川コミュニティセンター	山形県鶴岡市田川字高田 9	鶴岡
21		上郷コミュニティセンター	山形県鶴岡市みずほ 49-1	鶴岡
22		三瀬コミュニティセンター	山形県鶴岡市三瀬字堅田 138-8	鶴岡
23		小堅コミュニティセンター	山形県鶴岡市堅苔沢字淵ノ上 334	鶴岡
24		由良コミュニティセンター	山形県鶴岡市由良二丁目 14-53	鶴岡
25		加茂コミュニティ防災センター	山形県鶴岡市加茂字坂ノ下 166	鶴岡
26		湯野浜コミュニティセンター	山形県鶴岡市湯野浜一丁目 1-7	鶴岡
27		大山コミュニティセンター	山形県鶴岡市友江町 23-71	鶴岡
28		西郷地区農林活性化センター	山形県鶴岡市下川字龍花 1 番地 1	鶴岡
29		中央公民館	山形県鶴岡市みどり町 22-36	鶴岡
30		藤島地区地域活動センター	山形県鶴岡市藤島字笹花 73	藤島
31		藤島ふれあいセンター	山形県鶴岡市藤島字古楯跡 94-1	藤島
32		長沼地区地域活動センター	山形県鶴岡市長沼字宮前 164	藤島
33		東栄地区地域活動センター	山形県鶴岡市蛸井興屋字水尻 26-2	藤島

公共施設の分布状況 (2/2)

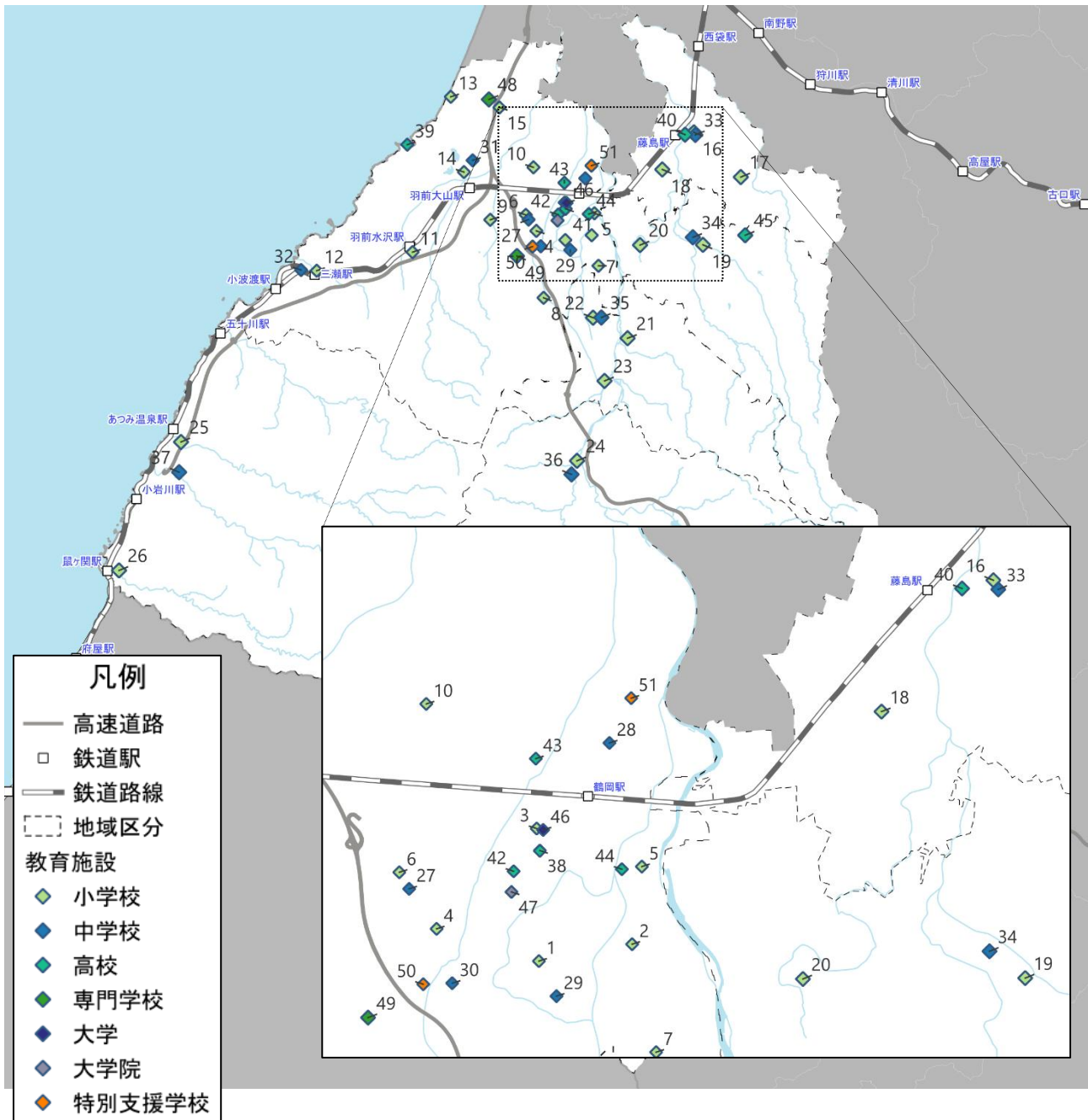
No	分類	名称	所在地	地域	
34	コミュニティ センター 公民館 集会施設	八栄島地区地域活動センター	山形県鶴岡市八色木字西野 102-4	藤島	
35		渡前地区地域活動センター	山形県鶴岡市渡前字中屋敷 28	藤島	
36		藤島農村環境改善センター	山形県鶴岡市添川字新地 315	藤島	
37		羽黒コミュニティセンター	山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 28	羽黒	
38		手向地区地域活動センター	山形県鶴岡市羽黒町手向字黒沢 31-1	羽黒	
39		泉地区地域活動センター	山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 11-1	羽黒	
40		広瀬地区地域活動センター	山形県鶴岡市羽黒町後田字下田元 237	羽黒	
41		羽黒第四地区地域活動センター	山形県鶴岡市羽黒町上野新田字式反割 1-2	羽黒	
42		櫛引生涯学習センター	山形県鶴岡市上山添字文栄 90	櫛引	
43		朝日中央コミュニティセンター	山形県鶴岡市下名川字落合 220	朝日	
44		朝日南部コミュニティセンター	山形県鶴岡市上田沢字船渡 3-14	朝日	
45		大網地区地域交流センター	山形県鶴岡市大網字興屋 38-6	朝日	
46		朝日熊出公民館	山形県鶴岡市熊出字長表 25	朝日	
47		文化・教育	荘銀タクト鶴岡	山形県鶴岡市馬場町 11-61	鶴岡
48			致道ライブラリー	山形県鶴岡市馬場町 14-1	鶴岡
49	図書館		山形県鶴岡市家中新町 14-7	鶴岡	
50	善宝寺		山形県鶴岡市下川関根 100	鶴岡	
51	大宝館		山形県鶴岡市馬場町 4-7	鶴岡	
52	史跡旧致道館		山形県鶴岡市馬場町 11-45	鶴岡	
53	藤沢周平記念館		山形県鶴岡市馬場町 4-6	鶴岡	
54	鶴岡アートフォーラム		山形県鶴岡市馬場町 13-3	鶴岡	
55	出羽庄内国際村		山形県鶴岡市伊勢原町 8-32	鶴岡	
56	東田川文化記念館		山形県鶴岡市藤島字山ノ前 99	藤島	
57	黒川能の里 王祇会館		山形県鶴岡市黒川字宮の下 253	櫛引	
58	櫛引情報センター		山形県鶴岡市上山添字文栄 60	櫛引	
59	大鳥自然の家		山形県鶴岡市大鳥字寿岡 112	朝日	
60	旧遠藤家住宅		山形県鶴岡市田麦俣七ツ滝 139	朝日	
61	山五十川古典芸能収蔵館		山形県鶴岡市山五十川字木ノ下 591-1	温海	
62	自然学習交流館ほとりあ		山形県鶴岡市馬町駒繫 3-1	鶴岡	

出典：鶴岡市 HP

(2) 教育施設

教育施設は市内に51校（小学校：26校、中学校：12校、高等学校：7校、専門学校：2校、特別支援学校：2校）が立地しており、中心部に各施設が集積している。

また、各地域の拠点となる場所に小学校や中学校、高校が立地している。



教育施設の分布状況

出典：鶴岡市 HP、各施設 HP

教育施設の分布状況 (1/2)

No	区分	名称	住所	地域
1	小学校	朝暘第一小学校	山形県鶴岡市文園町 2-1	鶴岡
2		朝暘第二小学校	山形県鶴岡市東原町 25-1	鶴岡
3		朝暘第三小学校	山形県鶴岡市新形町 17-24	鶴岡
4		朝暘第四小学校	山形県柳田字田中 28-1	鶴岡
5		朝暘第五小学校	山形県鶴岡市切添町 15-4	鶴岡
6		朝暘第六小学校	山形県鶴岡市淀川町 9-70	鶴岡
7		斎小学校	山形県鶴岡市我老林字野中川原 51	鶴岡
8		黄金小学校	山形県鶴岡市青龍寺字北内 48	鶴岡
9		大泉小学校	山形県鶴岡市白山字西野 148	鶴岡
10		京田小学校	山形県鶴岡市高田字下村 104	鶴岡
11		上郷小学校	山形県鶴岡市みずほ 33-3	鶴岡
12		豊浦小学校	山形県鶴岡市三瀬字菖蒲田 88-1	鶴岡
13		湯野浜小学校	山形県鶴岡市湯野浜一丁目 16-38	鶴岡
14		大山小学校	山形県鶴岡市大山二丁目 20-1	鶴岡
15		西郷小学校	山形県鶴岡市下川字樋渡 100	鶴岡
16		藤島小学校	山形県鶴岡市藤の花二丁目 1-1	藤島
17		東栄小学校	山形県鶴岡市川尻字町上 14	藤島
18		渡前小学校	山形県鶴岡市渡前字中屋敷 1	藤島
19		羽黒小学校	山形県鶴岡市羽黒町荒川字花沢 4	羽黒
20		広瀬小学校	山形県鶴岡市羽黒町後田字下田元 9	羽黒
21		櫛引東小学校	山形県鶴岡市黒川字小在家 90	櫛引
22		櫛引西小学校	山形県鶴岡市上山添字文栄 1	櫛引
23		櫛引南小学校	山形県鶴岡市東荒屋字竹の内 212	櫛引
24		あさひ小学校	山形県鶴岡市下名川字落合 2	朝日
25		あつみ小学校	山形県鶴岡市温海字荻田 240-1	温海
26		鼠ヶ関小学校	山形県鶴岡市鼠ヶ関字横路 497-2	温海
27	中学校	鶴岡第一中学校	山形県鶴岡市道田町 1-82	鶴岡
28	中学校	鶴岡第二中学校	山形県鶴岡市宝田二丁目 8-34	鶴岡
29	中学校	鶴岡第三中学校	山形県鶴岡市城南町 25-1	鶴岡
30	中学校	鶴岡第四中学校	山形県鶴岡市小真木原町 3-1	鶴岡
31	中学校	鶴岡第五中学校	山形県鶴岡市大山字若柳 271	鶴岡
32	中学校	豊浦中学校	山形県鶴岡市三瀬字横町 33-2	鶴岡
33	中学校	藤島中学校	山形県鶴岡市藤島字笹花 86-1	藤島
34	中学校	羽黒中学校	山形県鶴岡市羽黒町荒川字宮東 28-1	羽黒
35	中学校	櫛引中学校	山形県鶴岡市上山添字文栄 86	櫛引
36	中学校	朝日中学校	山形県鶴岡市本郷字笹目 50	朝日

表 教育施設の分布状況 (2/2)

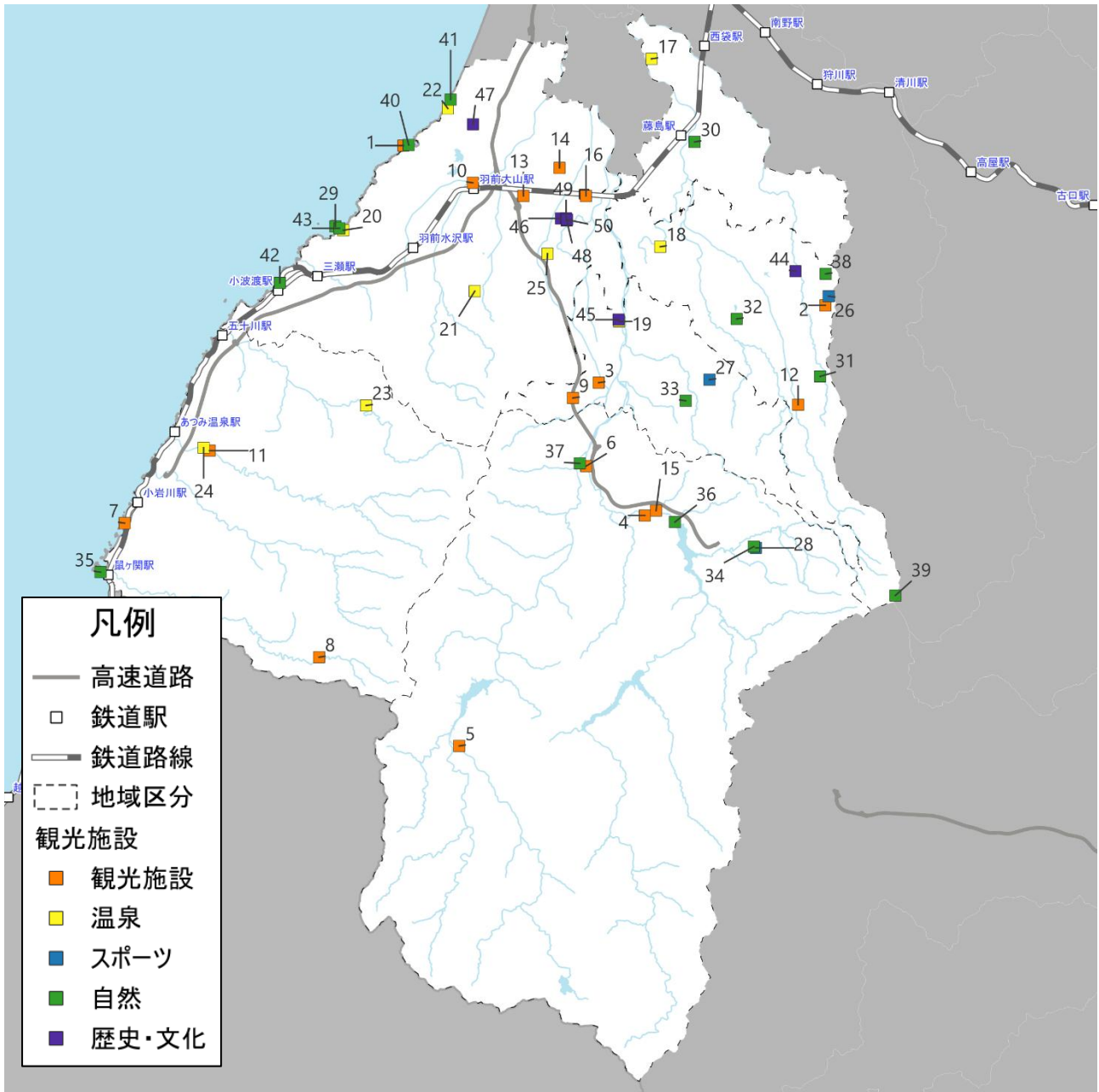
No	区分	名称	住所	地域
37	中学校	温海中学校	山形県鶴岡市大岩川字黒岩 35	温海
38	中学校	致道館中学校	山形県鶴岡市若葉町 16-5	鶴岡
39	高校	加茂水産高等学校	山形県鶴岡市加茂大崩 595	鶴岡
40	高校	庄内農業高等学校	山形県鶴岡市藤島古楯跡 221	藤島
41	高校	致道館高等学校	山形県鶴岡市若葉町 16-5	鶴岡
42	高校	鶴岡工業高等学校	山形県鶴岡市家中新町 8-1	鶴岡
43	高校	鶴岡中央高等学校	山形県鶴岡市大宝寺日本国 410	鶴岡
44	高校	鶴岡東高等学校	山形県鶴岡市切添町 22-30	鶴岡
45	高校	羽黒高等学校	山形県鶴岡市羽黒町手向薬師沢 198	羽黒
46	大学	山形大学 鶴岡キャンパス	山形県鶴岡市若葉町 1-23	鶴岡
47	大学院	東北公益文科大学 鶴岡キャンパス	山形県鶴岡市馬場町 14-1	鶴岡
48	専門学校	SEADS-鶴岡市立農業経営者育成学校	山形県鶴岡市千安京田龍花山 1-1	鶴岡
49	専門学校	鶴岡工業高等専門学校	山形県鶴岡市井岡字沢田 104	鶴岡
50	特別支援学校	鶴岡高等養護学校	山形県鶴岡市稲生 1-20-33	鶴岡
51	特別支援学校	みんなのそら高等学院/明蓬館 SNEC 山形・鶴岡	山形県鶴岡市茅原町 27-19	鶴岡

出典：鶴岡市 HP、各施設 HP

(3) 観光施設

観光施設は市内全域に立地しており、各地域の中心部や高速道路沿い、県境、海沿いに多く立地している。

全ての地域で温泉施設や自然を生かした観光施設が立地している。



観光施設の分布状況

出典：山形県 HP、鶴岡市 HP、各施設 HP

観光施設の分布状況（1/2）

No	区分	名称	住所	地域
1	観光施設	鶴岡市立加茂水族館	山形県鶴岡市今泉字大久保 656	鶴岡
2	観光施設	月山ビジターセンター	山形県鶴岡市羽黒町手向字羽黒山 147-5	羽黒
3	観光施設	産直めぐり	山形県鶴岡市西荒屋字杉下 106-3	櫛引
4	観光施設	月山あさひ博物村	山形県鶴岡市越中山字名平 3-1	朝日
5	観光施設	タキタロウ館	山形県鶴岡市大鳥字高岡 55-8	朝日
6	観光施設	産直あさひ・グー	山形県鶴岡市下名川字落合 183	朝日
7	観光施設	道の駅あつみしゃりん	山形県鶴岡市早田字戸ノ浦 606	温海
8	観光施設	関川しな織センター	山形県鶴岡市関川字向 222	温海
9	観光施設	櫛引パーキングエリア地域拠点施設	山形県鶴岡市西荒屋板井川字村西 40-11	櫛引
10	観光施設	本長漬物蔵	山形県鶴岡市大山 1 丁目 7-7	鶴岡
11	観光施設	足湯カフェ「チットモツシェ」	山形県鶴岡市湯温海甲 170	温海
12	観光施設	スタジオセディック庄内オープンセット	山形県鶴岡市羽黒町川代東増川山 102	羽黒
13	観光施設	庄内観光物産館	山形県鶴岡市布目中通 80-1	鶴岡
14	観光施設	百万石の里しゃきっと	山形県鶴岡市覚岸寺水上 196-1	鶴岡
15	観光施設	米の粉の滝ドライブイン	山形県鶴岡市上名川 11-1	朝日
16	観光施設	FOODEVER	山形県鶴岡市末広町 3-1	鶴岡
17	温泉	長沼温泉ぽっぼの湯	山形県鶴岡市長沼字宮前 266-1	藤島
18	温泉	やまぶし温泉ゆぽか	山形県鶴岡市羽黒町後田字谷地田 188	羽黒
19	温泉	くしびき温泉ゆ～Town	山形県鶴岡市三千刈字清和 159	櫛引
20	温泉	由良温泉観光協会	山形県鶴岡市由良 2-3-24	鶴岡
21	温泉	湯田川温泉	山形県鶴岡市湯田川温泉	鶴岡
22	温泉	湯野浜温泉	山形県鶴岡市湯野浜 1 丁目 1-7	鶴岡
23	温泉	湯の瀬旅館	山形県鶴岡市戸沢神子谷 103-2	温海
24	温泉	あつみ温泉	山形県鶴岡市湯温海甲 306	温海
25	温泉	庄内おばこの里「こまぎ」	山形県鶴岡市日枝小真木原 88-1	鶴岡
26	スポーツ	羽黒山スキー場	山形県鶴岡市羽黒町手向字羽黒山地内	羽黒
27	スポーツ	櫛引たらのきだいスキー場	山形県鶴岡市たらのき代字西野 469-1	櫛引

観光施設の分布状況（2/2）

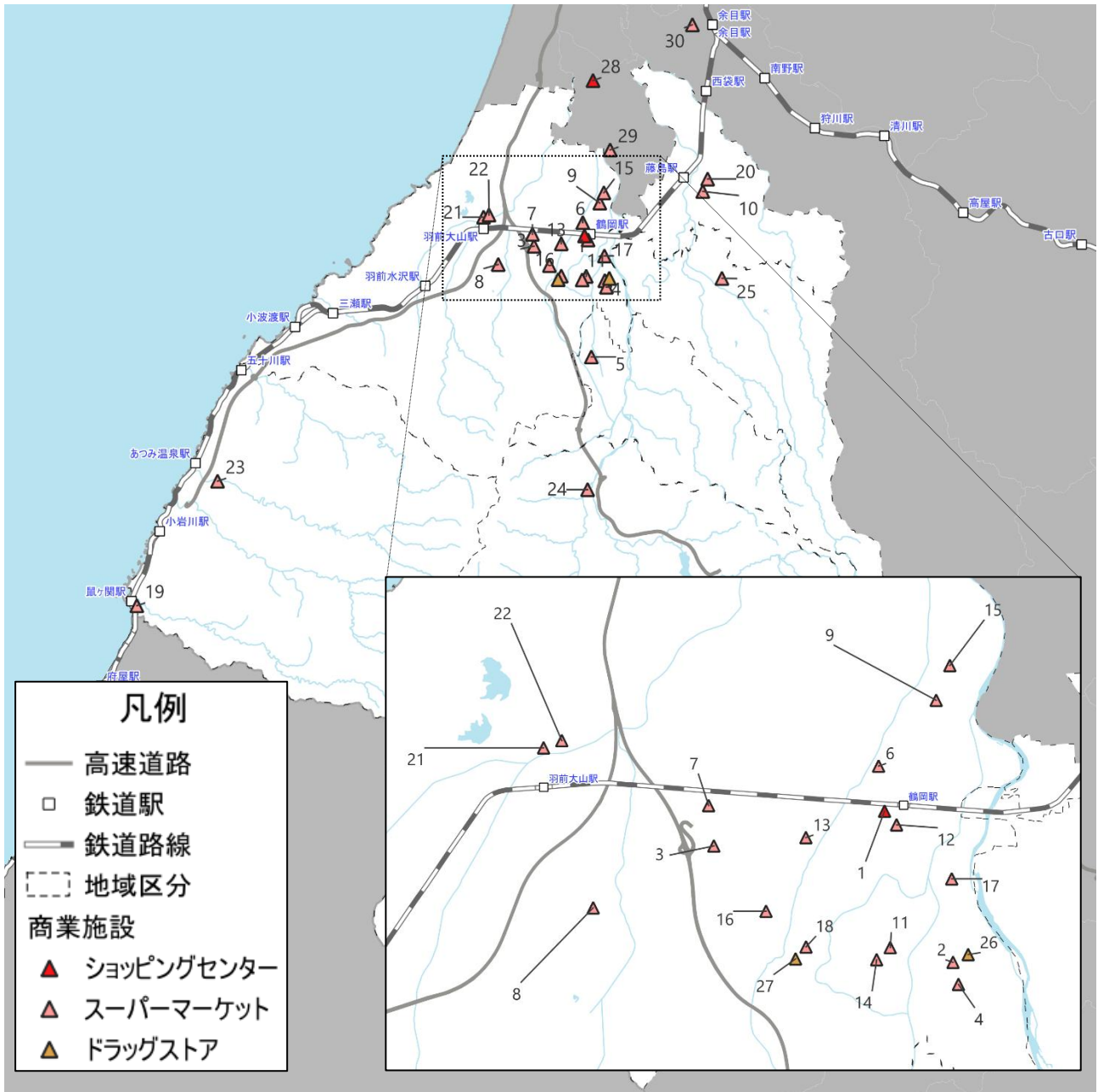
No	区分	名称	住所	地域
28	スポーツ	湯殿山スキー場	山形県鶴岡市田麦俣字六十里山 104-5	朝日
29	自然	鶴岡市遊漁センター海洋釣り堀	山形県鶴岡市由良二丁目	鶴岡
30	自然	藤島歴史公園	山形県鶴岡市藤島字山ノ前 99- 1	藤島
31	自然	月山高原ふれあいハウス・ハー モニーパーク	山形県鶴岡市羽黒町川代字東増 川山 368-2	羽黒
32	自然	創造の森	山形県鶴岡市羽黒町川代字向山 628-1	羽黒
33	自然	ふるさとむら宝谷	山形県鶴岡市宝谷字舞台 170	櫛引
34	自然	月山あさひサンチュアパーク	山形県鶴岡市田麦俣字六十里山 125-8	朝日
35	自然	マリンパークねずがせき	山形県鼠ヶ関原海	温海
36	自然	月山ダム展望台	山形県鶴岡市上名川 8	朝日
37	自然	六十里越街道	山形県鶴岡市下名川落合 1	朝日
38	自然	羽黒山	山形県鶴岡市羽黒町手向羽黒山	羽黒
39	自然	月山	山形県鶴岡市羽黒町川代	羽黒
40	自然	加茂レインボービーチ	山形県鶴岡市今泉	鶴岡
41	自然	湯野浜海水浴場	山形県鶴岡市湯野浜 1 丁目	鶴岡
42	自然	小波渡海水浴場	山形県鶴岡市小波渡浜田	鶴岡
43	自然	由良海水浴場	山形県鶴岡市由良 2 丁目 21-1	鶴岡
44	歴史・文化	いでは文化記念館	山形県鶴岡市羽黒町手向字院主 南 72	羽黒
45	歴史・文化	横綱柏戸記念館	山形県鶴岡市三千刈字清和 158-1	櫛引
46	歴史・文化	致道博物館	山形県鶴岡市家中新町 10-18	鶴岡
47	歴史・文化	善宝寺	山形県鶴岡市下川関根 100	鶴岡
48	歴史・文化	大宝館	山形県鶴岡市馬場町 4-7	鶴岡
49	歴史・文化	庄内神社宝物殿	山形県鶴岡市馬場町 4	鶴岡
50	歴史・文化	藤沢周平記念館	山形県鶴岡市馬場町 4-6	鶴岡

出典：山形県 HP、鶴岡市 HP、各施設 HP

(4) 商業施設（市民アンケートより抜粋）

市民アンケートによると、「日々の買い物では、主にどこへいきますか？」で回答のあった上位 30 件の商業施設は、市内外を含めて以下の結果となった。

中心部にほとんどの商業施設が立地しているが、羽前水沢駅からあつみ温泉駅間に立地している商業施設の回答はなかった。



商業施設の分布状況

※市民アンケートの回答項目に設定していた 24 店舗+その他記述欄で回答数が 2 以上の店舗、合計 30 件
出典：市民アンケート、各施設 HP

商業施設の分布状況（1/2）

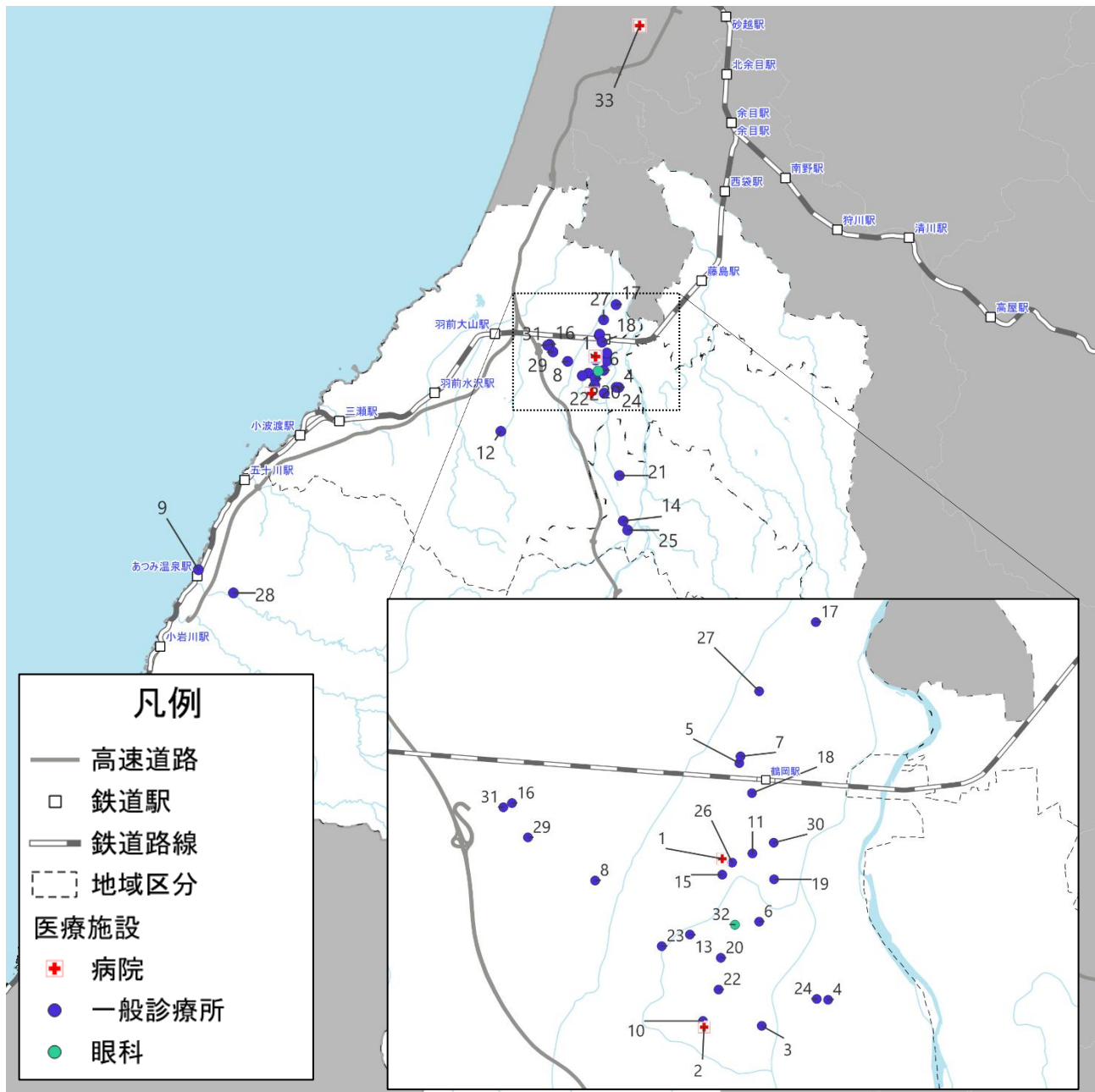
No	分類	名称	住所	地域	順位
1	ショッピングセンター	S-MALL	山形県鶴岡市錦町 2-21	鶴岡	12
2	スーパー マーケット	マックスバリュ鶴岡南店	山形県鶴岡市ほなみ町 9-35	鶴岡	1
3		主婦の店パル店	山形県鶴岡市美咲町 3-13	鶴岡	2
4		ジェイ・マルエー鶴岡南店	山形県鶴岡市伊勢横内畑福 123-1	鶴岡	3
5		ヤマザワくしびき店	山形県鶴岡市丸岡鳥飼 121-2	櫛引	3
6		鶴岡協同の家こびあ	山形県鶴岡市余慶町 1-2	鶴岡	5
7		ヤマザワ鶴岡店	山形県鶴岡市布目中通 205-1	鶴岡	6
8		マックスバリュ白山店	山形県鶴岡市西木村 19-1	鶴岡	7
9		ヤマザワ鶴岡茅原店	山形県鶴岡市北茅原町 10-31	鶴岡	8
10		マックスバリュ藤島店	山形県鶴岡市藤浪 5丁目 1-1	藤島	9
11		コープ千石	山形県鶴岡市長者町 8-25	鶴岡	9
12		主婦の店イーネ駅前店	山形県鶴岡市錦町 14-3	鶴岡	11
13		主婦の店 IZMO 新斎店	山形県鶴岡市東新斎町 7-71	鶴岡	13
14		主婦の店 mina 店	山形県鶴岡市千石町 7-81	鶴岡	13
15		ジェイ・マルエー鶴岡店	山形県鶴岡市文下広野 34-1	鶴岡	15
16		コープあおやぎ	山形県鶴岡市青柳町 37-6	鶴岡	16
17		コープ切添	山形県鶴岡市切添町 17-15	鶴岡	17
18		主婦の店美原店	山形県鶴岡市美原町 29-40	鶴岡	18
19		マックスバリュあつみ店	山形県鶴岡市鼠ヶ関奥田 16	温海	19
20		A コープふじしま店	山形県鶴岡市藤島矢立 57	藤島	20
21		コープ大山	山形県鶴岡市大山 2丁目 2-10	鶴岡	22
22		主婦の店大山店	山形県鶴岡市友江町 18-20	鶴岡	23
23		A コープあつみ店	山形県鶴岡市湯温海湯之里 181	温海	24
24		A コープあさひ店	山形県鶴岡市下名川落合 7	朝日	25
25		A コープはぐろ店	山形県鶴岡市羽黒町野荒町北田 19 字	羽黒	30
26		ドラッグストア	カワチ薬品鶴岡東店	山形県鶴岡市伊勢原町 4-47	鶴岡
27	ツルハドラッグ鶴岡小真木原店		山形県鶴岡市小真木原町 5-59	鶴岡	27
28	ショッピングセンター	イオンモール三川	山形県東田川郡三川町猪子和田庫 128-1	三川町	21
29	スーパー	ラコス	山形県東田川郡三川町横山堤 191-5	三川町	25
30	マーケット	マックスバリュ余目店	山形県東田川郡庄内町余目滑石 57-1	庄内町	27

※No28、29、30 は市外

出典：市民アンケート、各施設 HP

(5) 医療施設（市民アンケートより抜粋）

市民アンケートによると「最も通院する機会が多い医療機関名とその市町村名を教えてください。」で回答のあった上位33件の医療施設は、市内外を含めて以下の結果となった。ほとんどが中心部に立地しており、櫛引・温海地域の一部医療施設も回答がみられる。市外では唯一、日本海総合病院（酒田市）の回答者数が多い。



医療施設の分布状況

※回答数上位30位を抜粋（28位が同数6件のため33件）

出典：市民アンケート、各施設HP

医療施設の分布状況

No	分類	名称	住所	地域	順位
1	病院	荘内病院	山形県鶴岡市泉町 4-20	鶴岡	1
2		鶴岡協立病院	山形県鶴岡市文園町 9-34	鶴岡	3
3	一般診療所	満天クリニック	山形県鶴岡市のぞみ町 5-17	鶴岡	2
4		ましま内科クリニック	山形県鶴岡市ほなみ町 7-11	鶴岡	5
5		須田内科クリニック	山形県鶴岡市宝田 1 丁目 9-86	鶴岡	6
6		中目内科胃腸科医院	山形県鶴岡市昭和町 10-5	鶴岡	7
7		宝田整形外科クリニック	山形県鶴岡市宝田 1 丁目 9-80	鶴岡	8
8		中村内科胃腸科医院	山形県鶴岡市新海町 14-20	鶴岡	9
9		温海クリニック	山形県鶴岡市温海戊 28-3	温海	10
10		鶴岡協立病院附属クリニック	山形県鶴岡市文園町 11-3	鶴岡	10
11		真島医院	山形県鶴岡市山王町 3-29	鶴岡	12
12		さくまクリニック	山形県鶴岡市湯田川中田 8-3	鶴岡	13
13		犬塚医院	山形県鶴岡市本町 2 丁目 11-15	鶴岡	13
14		佐久間医院	山形県鶴岡市西荒屋川原田 98	櫛引	13
15		山内循環器クリニック	山形県鶴岡市泉町 7-56	鶴岡	13
16		庄南クリニック	山形県鶴岡市美咲町 24-8	鶴岡	17
17		こころの医療センター	山形県鶴岡市北茅原町 13-13-1	鶴岡	18
18		上野ファミリークリニック	山形県鶴岡市錦町 1-33	鶴岡	18
19		藤吉内科医院	山形県鶴岡市山王町 14-15	鶴岡	18
20		みやはらクリニック	山形県鶴岡市三和町 1-53	鶴岡	21
21		桂医院	山形県鶴岡市桂荒俣下桂 105-2	櫛引	21
22		石田内科医院	山形県鶴岡市文園町 1-52	鶴岡	21
23		池田内科医院	山形県鶴岡市本町 3 丁目 17-17	鶴岡	21
24		中村整形外科医院	山形県鶴岡市ほなみ町 5-30	鶴岡	21
25		土田内科医院	山形県鶴岡市板井川片茎 75	櫛引	21
26		いずみまちクリニック	山形県鶴岡市泉町 8-66	鶴岡	28
27		こころの花クリニック	山形県鶴岡市西茅原町 13-24	鶴岡	28
28		さとう内科クリニック	山形県鶴岡市湯温海甲 127-1	温海	28
29		やまの空クリニック	山形県鶴岡市砂田町 6-37	鶴岡	28
30		岡田医院	山形県鶴岡市日吉町 11-14	鶴岡	28
31		美咲クリニック	山形県鶴岡市美咲町 25-5	鶴岡	28
32	眼科	島眼科医院	山形県鶴岡市本町 2 丁目 3-9	鶴岡	21
33	病院	日本海総合病院	山形県酒田市あきほ町 30 番地	鶴岡	4

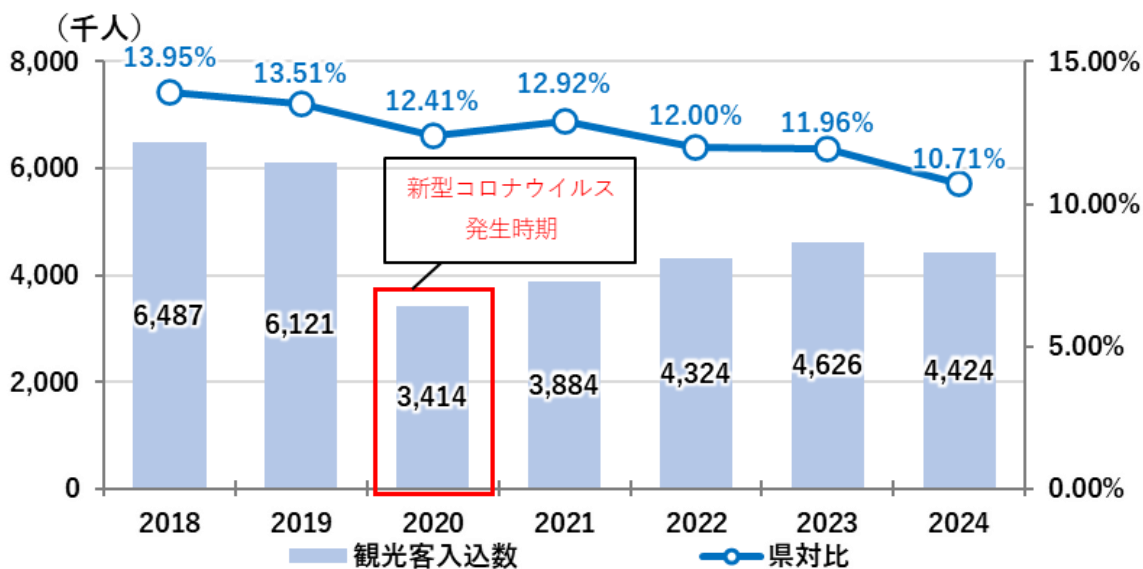
出典：市民アンケート、各施設 HP

※No.33 は市外

1-2-4 観光の状況

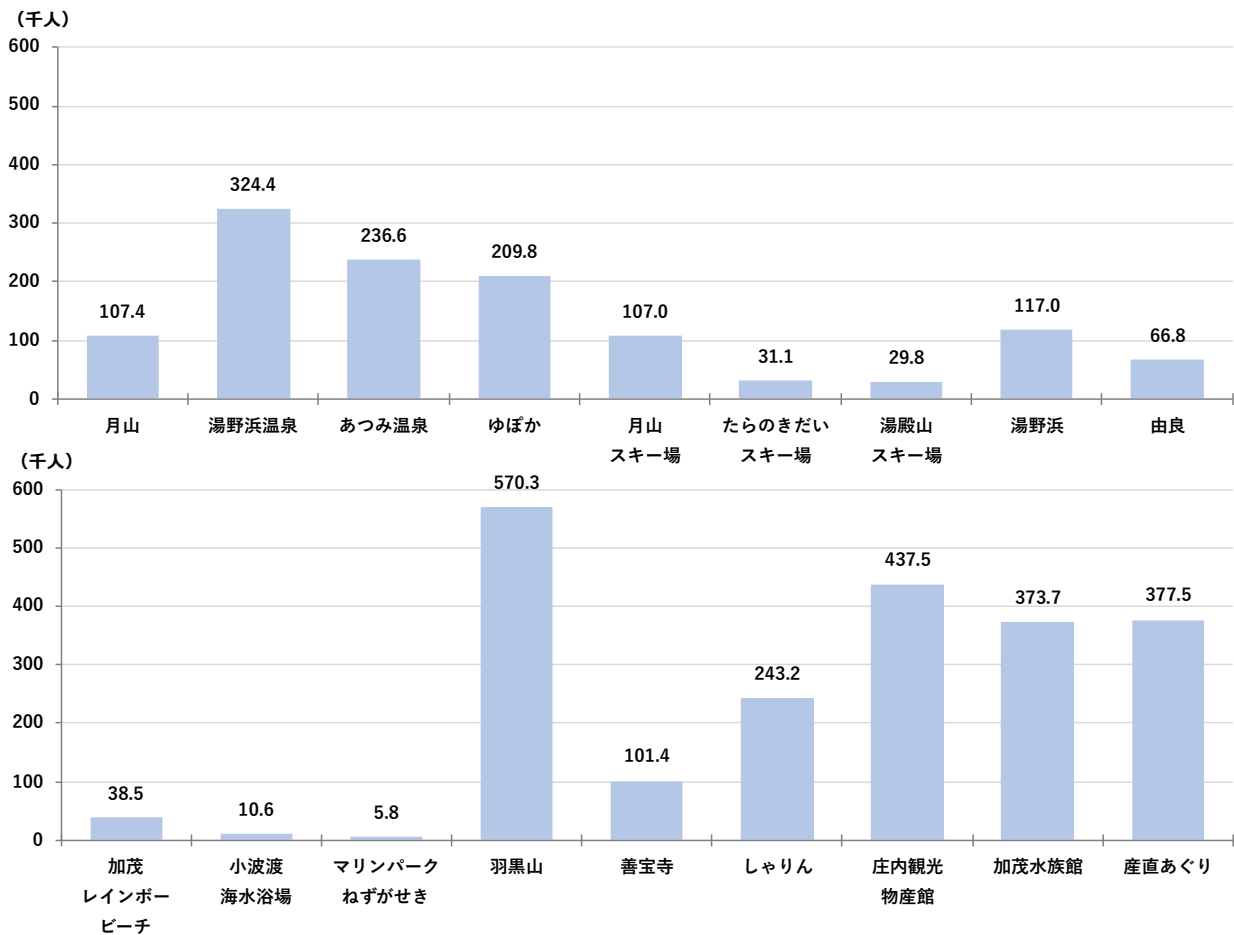
(1) 観光客入込数

観光客入込数は2019年まで600万人以上で推移しているが、2020年には新型コロナウイルスの影響により前年比の約6割にまで大幅に減少した。2021年からは増加傾向がみられたが、2024年には再び減少傾向となっている。また、新型コロナウイルス以前の水準には戻っておらず、県対比も減少傾向となっている。



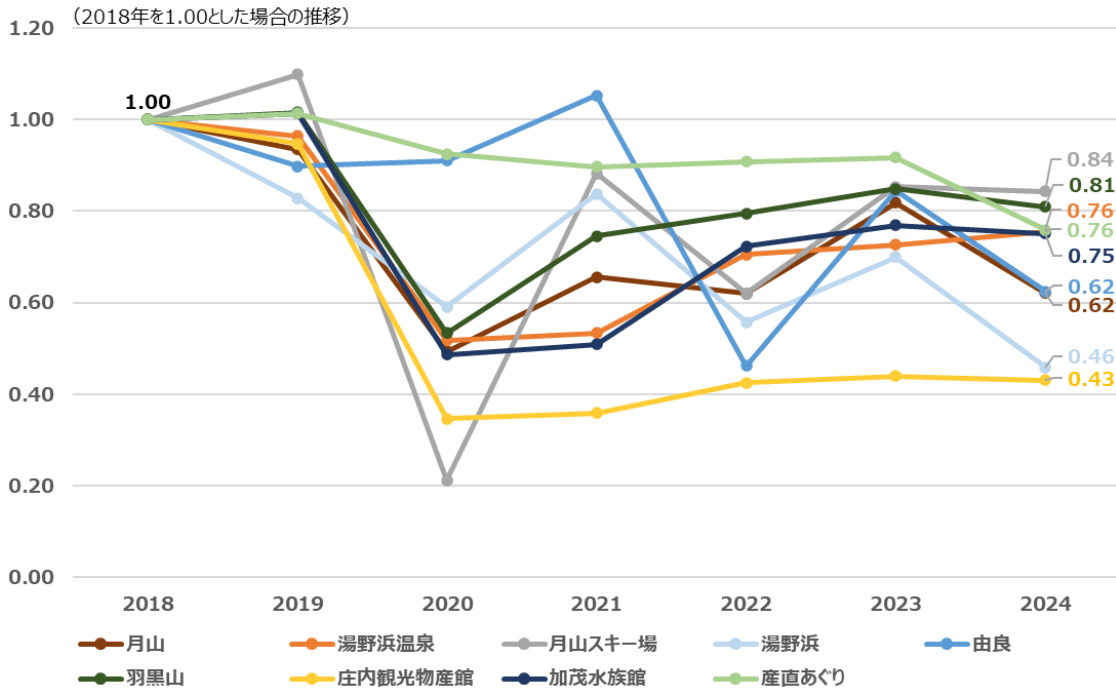
市内の観光入込客数

出典：山形県観光者数調査



主たる観光地別観光者数 (2024年)

出典：山形県観光者数調査



主要観光地点別観光客入込数の推移

出典：山形県観光者数調査

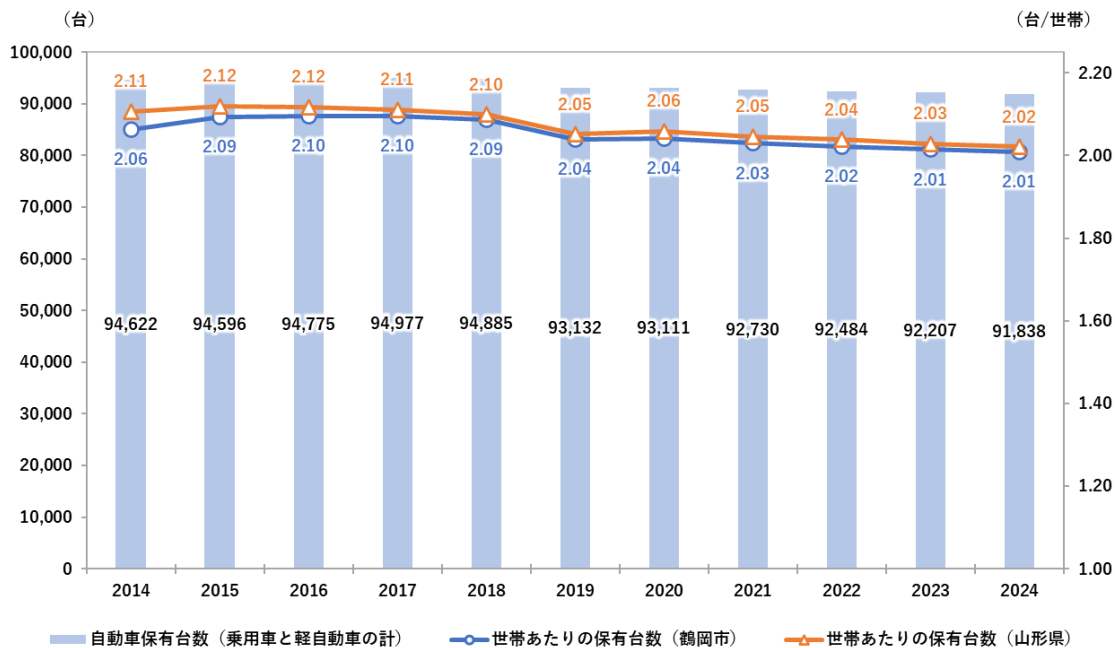
※2018年から2024年までデータがある地点のみ抜粋

1-2-5 自家用車・運転免許等

(1) 自動車保有台数・世帯当たり保有台数の推移・1人あたりの保有台数(20歳以上)の推移

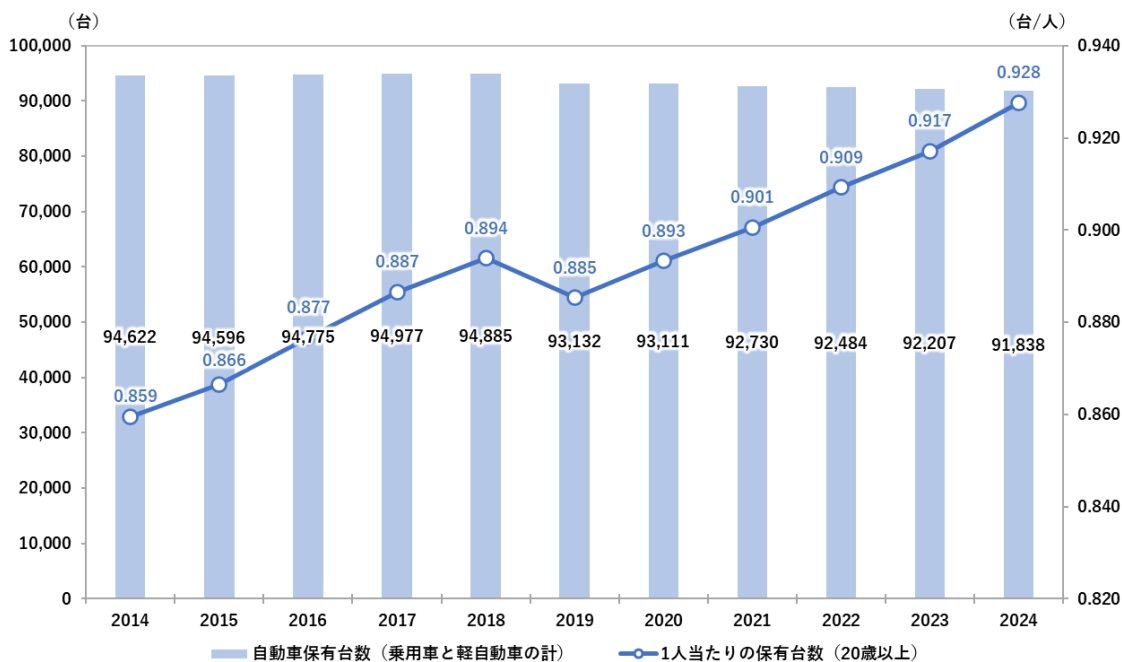
自動車保有台数は2017年以前で緩やかな増加傾向、2018年以降で緩やかな減少傾向となっているが、2018年と2019年で1,500台以上の減少がみられる。

また、1人あたりの保有台数(20歳以上)をみると、2018年から2019年の減少を除き、増加傾向となっている。



自動車保有台数・世帯当たりの保有台数の推移

出典：東北運輸局自動車技術安全部管理課、鶴岡市 HP/住民基本台帳



自動車保有台数・1人当たりの保有台数(20歳以上)の推移

出典：東北運輸局自動車技術安全部管理課、鶴岡市 HP/住民基本台帳

(2) 年代別の運転免許保有者数

2024年の運転免許保有者数（山形県自動車運転免許保有者数上位5市）をみると、鶴岡市は自動車運転免許保有者数が84,056人と2番目に多く、保有率も81.0%と2番目に高くなっている。

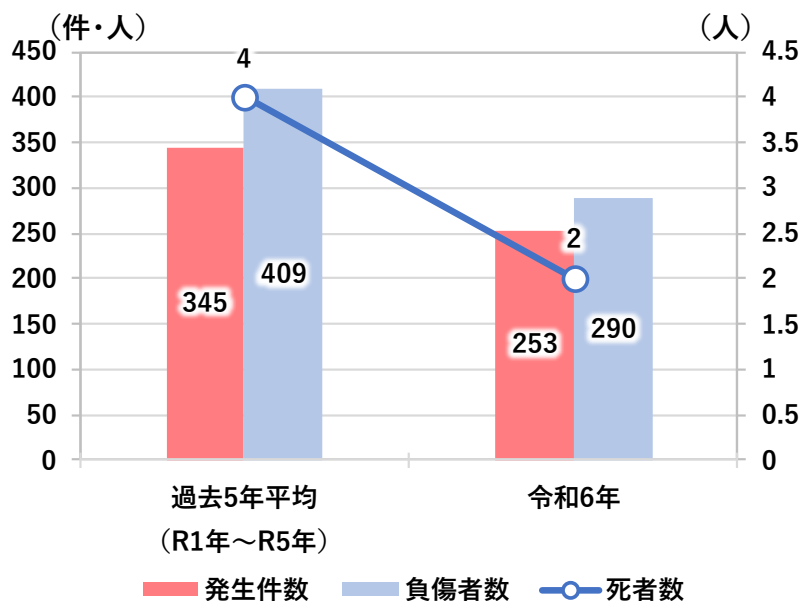


山形県5市の年代別自動車運転免許保有者数と保有率

出典：山形県警察本部運転免許課（2024）

(3) 交通事故発生件数の推移

交通事故の発生件数は減少傾向となっている。
また、負傷者数・死者数も比例して減少傾向となっている。



本市内における交通事故発生件数の推移

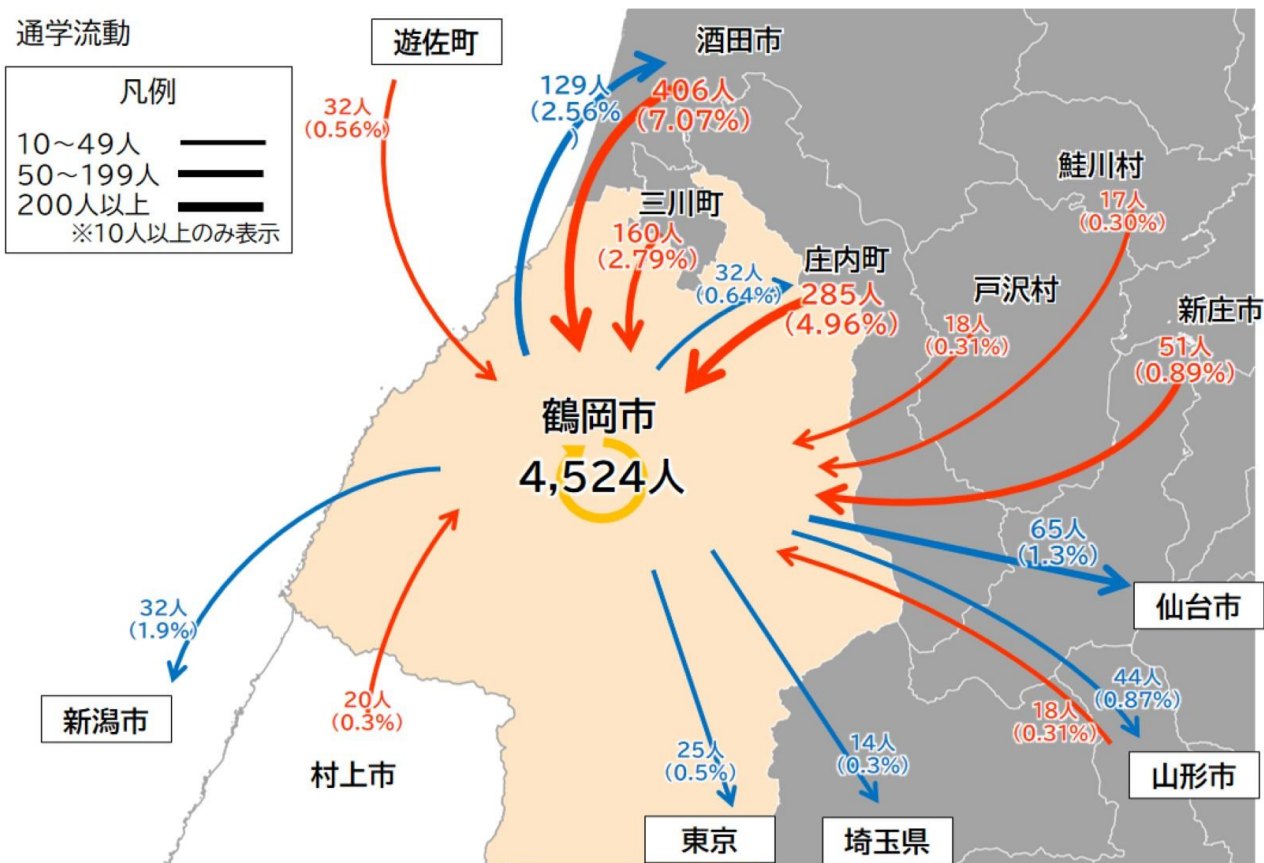
出典：山形県警察本部交通企画課

1-2-6 流動状況

(1) 通学流動

本市に常住する通学者は5,034人で、そのうち市内での通学者は約9割を占めており、市内での通学流動が多い傾向がある。

本市へ流入する通学者をみると、特に庄内地域（酒田市、庄内町、三川町、遊佐町）からの通学者が多く、県内他市町村からの通学者の8割以上を占めている。その他をみると、新庄市と村山市からの通学者数が20人を超えている。



通学流動図

出典：国勢調査（2020）

※市内流動は「自市区町村で従業」と「鶴岡市で従業」の人数の合計値

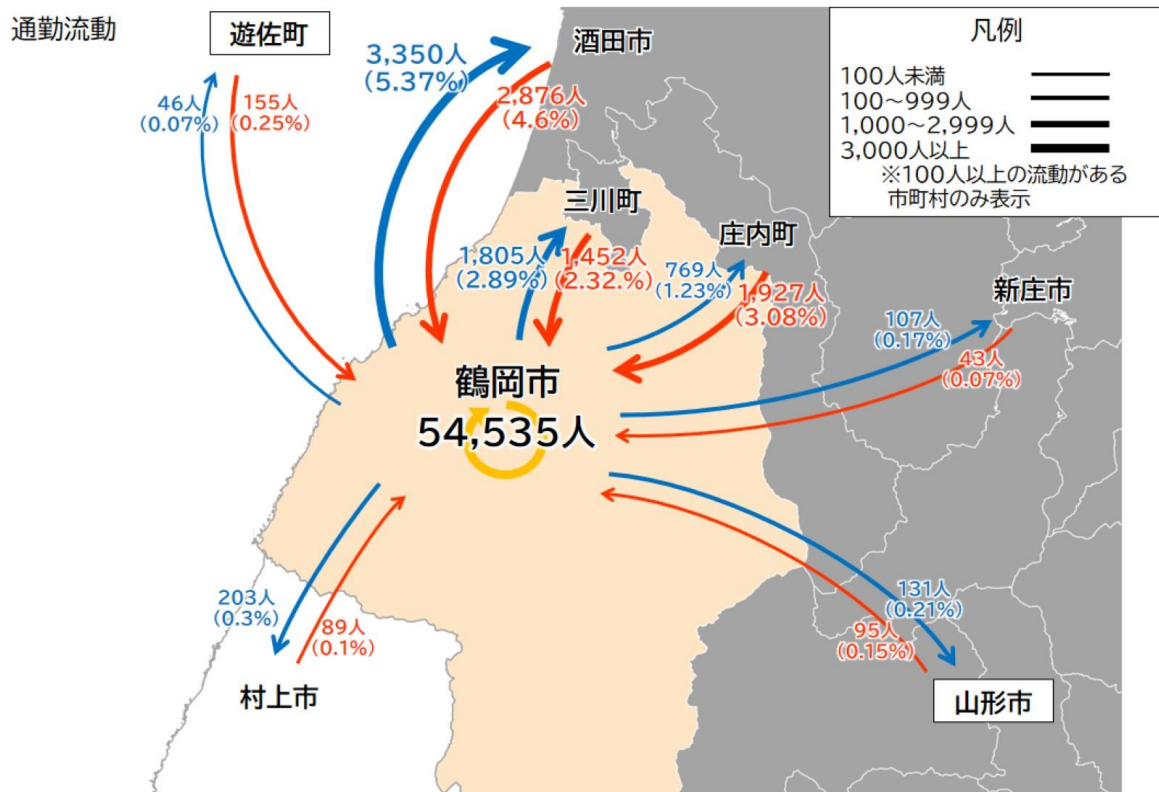
(2) 通勤流動

本市に常住する通勤者は62,393人で、そのうち市内での通勤者は約9割を占めており、市内での通勤流動が多い傾向がある。

本市へ流入する通勤者をみると、特に庄内地域（酒田市、庄内町、三川町、遊佐町）からの通勤者が多く、県内他市町村からの通勤者の9割以上を占めている。

本市から流出する通勤者をみると、酒田市への通勤者が多く、県内他市町村への通勤者の半数以上を占めている。

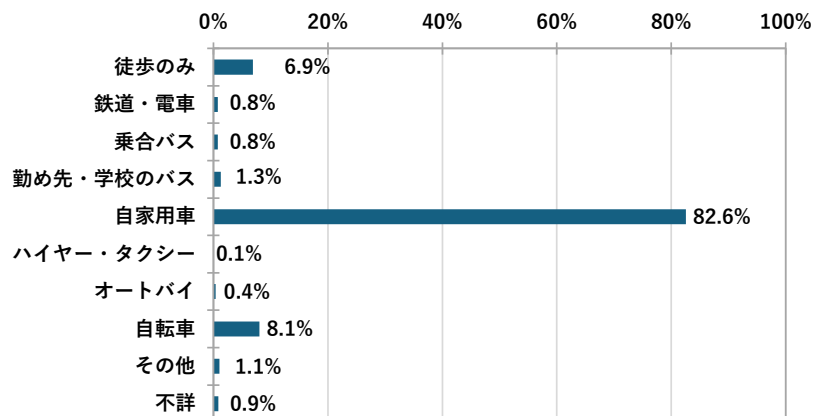
通勤・通学手段をみると、自家用車が82.6%と最も多く、他の移動手段の利用はほぼみられなかった。



通勤流動図

出典：国勢調査（2020）

※市内流動は「自市区町村で従業」と「鶴岡市で従業」の人数の合計値



通勤・通学手段別割合

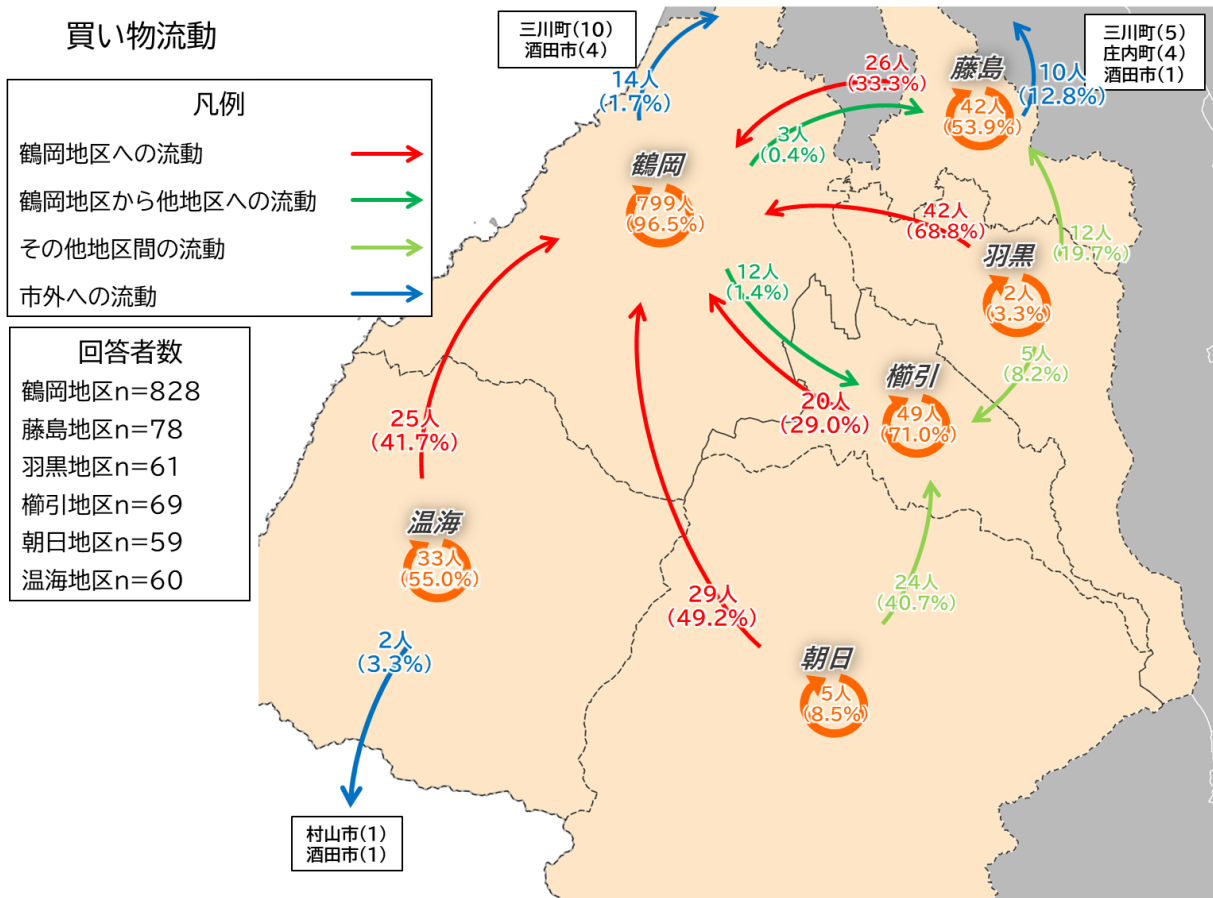
出典：国勢調査（2020）

(3) 買い物先流動

市民アンケート調査に回答した1,155人のうち、鶴岡地域では96.5%、藤島地域では53.9%、櫛引地域では71.0%、温海地域では55.0%が在住している地域内で買い物をしており、羽黒地域と朝日地域では在住している地域内で買い物をしている人はほとんどみられなかった。

地域間での買い物流動をみると、鶴岡地域以外の地域で鶴岡地域への流動が多くみられる。また、鶴岡地域・羽黒地域・朝日地域から櫛引地域への流動や羽黒地域から藤島地域への流動も一定数みられる。

市外への買い物流動をみると、鶴岡地域と藤島地域の一部で三川町や酒田市、庄内町への流動や温海地域の一部で村上市への流動がみられる。



買い物流動図

出典：市民アンケート調査

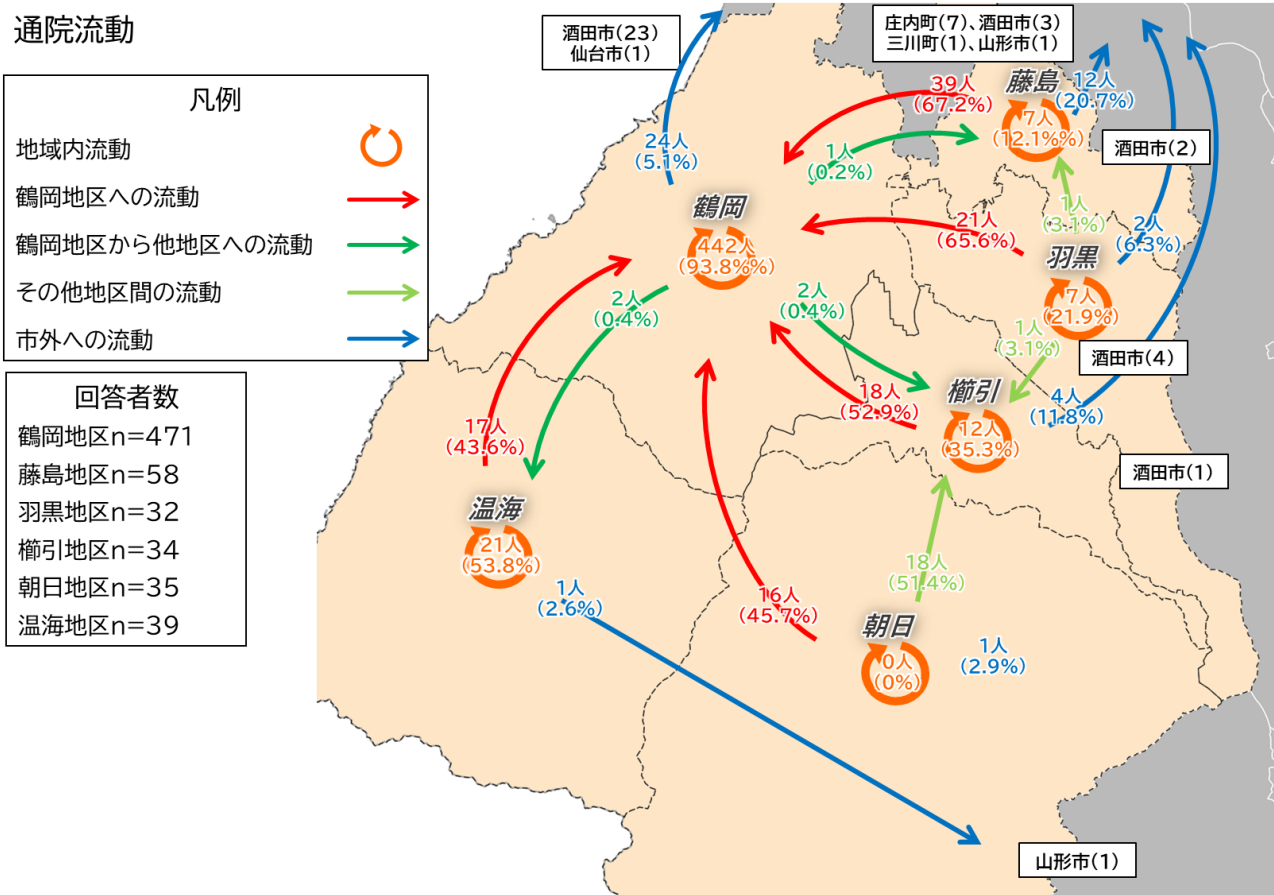
(4) 通院流動

市民アンケート調査に回答した669人のうち、鶴岡地域では93.8%、藤島地域では12.1%、羽黒地域では21.9%、榎引地域では35.3%、温海地域では53.8%が在住している地域内で通院しており、朝日地域では在住している地域内で通院している人はみられなかった。

地域間での通院流動をみると、鶴岡地域以外の地域で鶴岡地域への流動が多くみられる。また、朝日地域の約半数、鶴岡地域・羽黒地域の一部が榎引地域へ流動している。

市外への通院流動をみると、温海地域を除くすべての地域の一部で酒田市（日本海総合病院）への流動がみられる。

通院流動



通院流動図

出典：市民アンケート調査

1-2-7 鶴岡市を取り巻く環境の変化

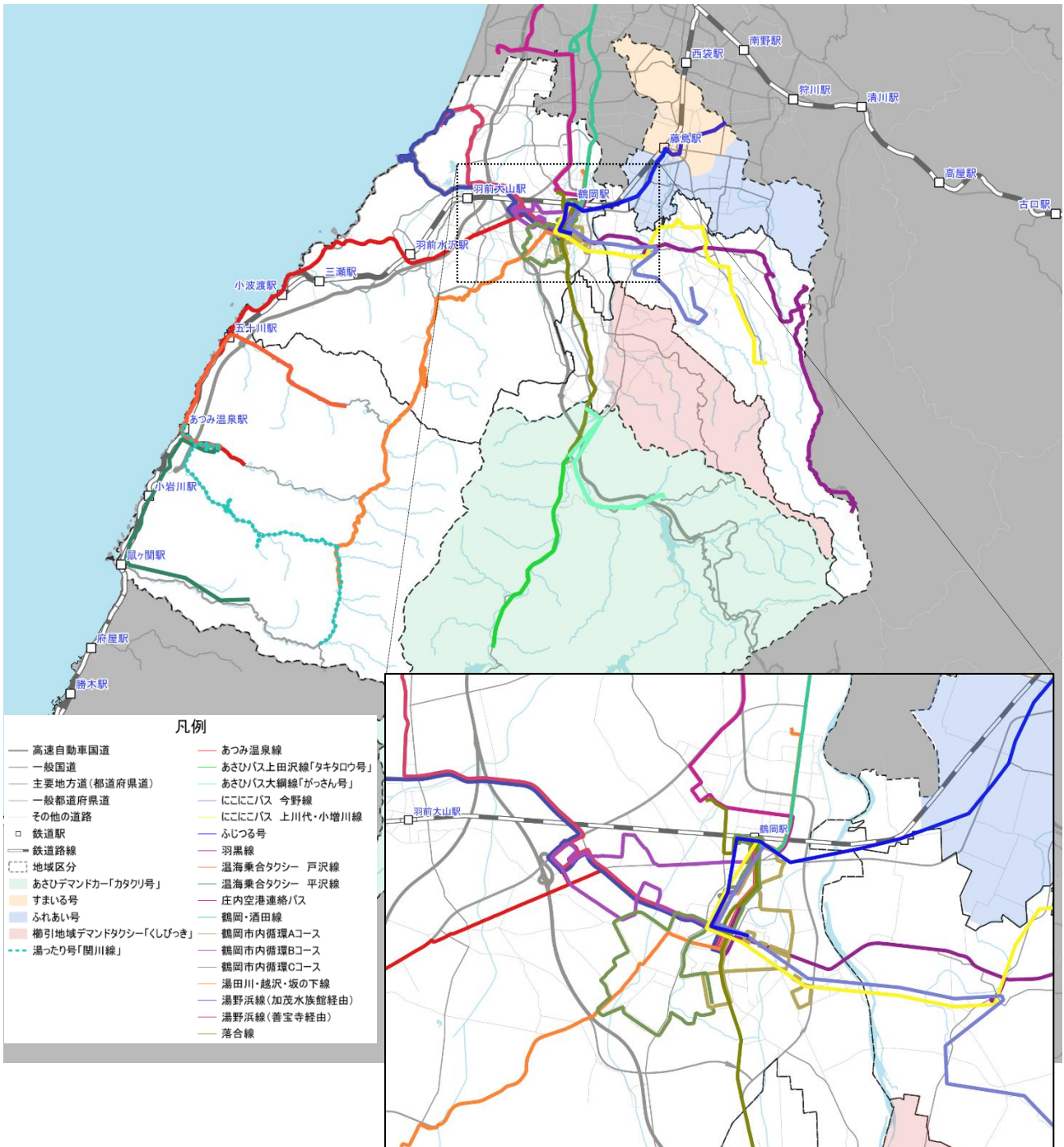
本市は、2005年に旧鶴岡市、藤島市、羽黒町、櫛引町、朝日町、温海町が合併し、現在の鶴岡市となった。中心部では2006年の「改正中活法」の施工に伴い、2008年に「第1期鶴岡市中心市街地活性化基本計画」が策定され、2013年には第2期基本計画、2025年には第3期基本計画が策定されている。各地域では2008年に中長期の地域振興方針となる「地域振興ビジョン」が策定され、2024年に新たな地域振興計画が策定されている。

また、2009年には合併後初の長期計画となる「第1次鶴岡市総合計画」が策定され、中心部の整備のほか、新庁舎・公共施設の整備や空き店舗・跡地の活用、駅前・交通拠点の再構築、学術・研究施設や観光拠点施設の立地が進められてきた。2024年には「第2次鶴岡市総合計画」が策定され、「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」のめざす都市像のもとまちづくりを進めている。

- 企業誘致：鶴岡サイエンスパーク（2001年 慶應義塾大学先端生命科学研究所）
 - ・開設以降、慶應先端研の研究成果をもとにしたベンチャー企業の誕生や、研究機関等の進出が進み、500人以上が働く研究産業エリアに成長
 - ・IIの工業団地（2003年 Spiber株式会社 等）
 - ・「税優遇措置」「事業場設置助成金」「用地取得助成金」「産業立地促進資金」といった優遇制度等により、新産業の創出や良好な事業環境を提供
- 行政：新羽黒庁舎の建設 2016年11月供用開始
新朝日庁舎の建設 2025年6月供用開始
- 教育：朝日中学校の新校舎建設 2015年3月完成
羽黒高等学校の新校舎建設 2017年3月完成
朝陽第五小学校の新校舎建設 2024年7月完成
致道館中学校・高等学校の建設 2024年4月完成・開校
- 商業：無印良品鶴岡店とヤマザワ鶴岡茅原店の建設 2025年6月オープン
PLAZA 鶴岡エスモール店が県内初出店 2025年6月オープン
- 観光：荘銀タクト鶴岡の建設 2018年3月完成
スイデンテラスの建設 2018年9月グランドオープン
加茂水族館のリニューアル 2026年4月リニューアルオープン予定

1-3-2 公共交通ネットワークの現状

本市の公共交通は、JR羽越本線と高速バス、路線バス、地域内交通等の公共交通機関が存在し、市民の日常的な移動手段となっている。



地域公共交通網

1-3-3 鉄道の運行状況

(1) 運行概要

市内には、JR 羽越本線の鼠ヶ関駅、小岩川駅、あつみ温泉駅、五十川駅、小波渡駅、三瀬駅、羽前水沢駅、羽前大山駅、鶴岡駅、藤島駅の 10 の駅が立地している。

鉄道の運行概要（2025 年時点）

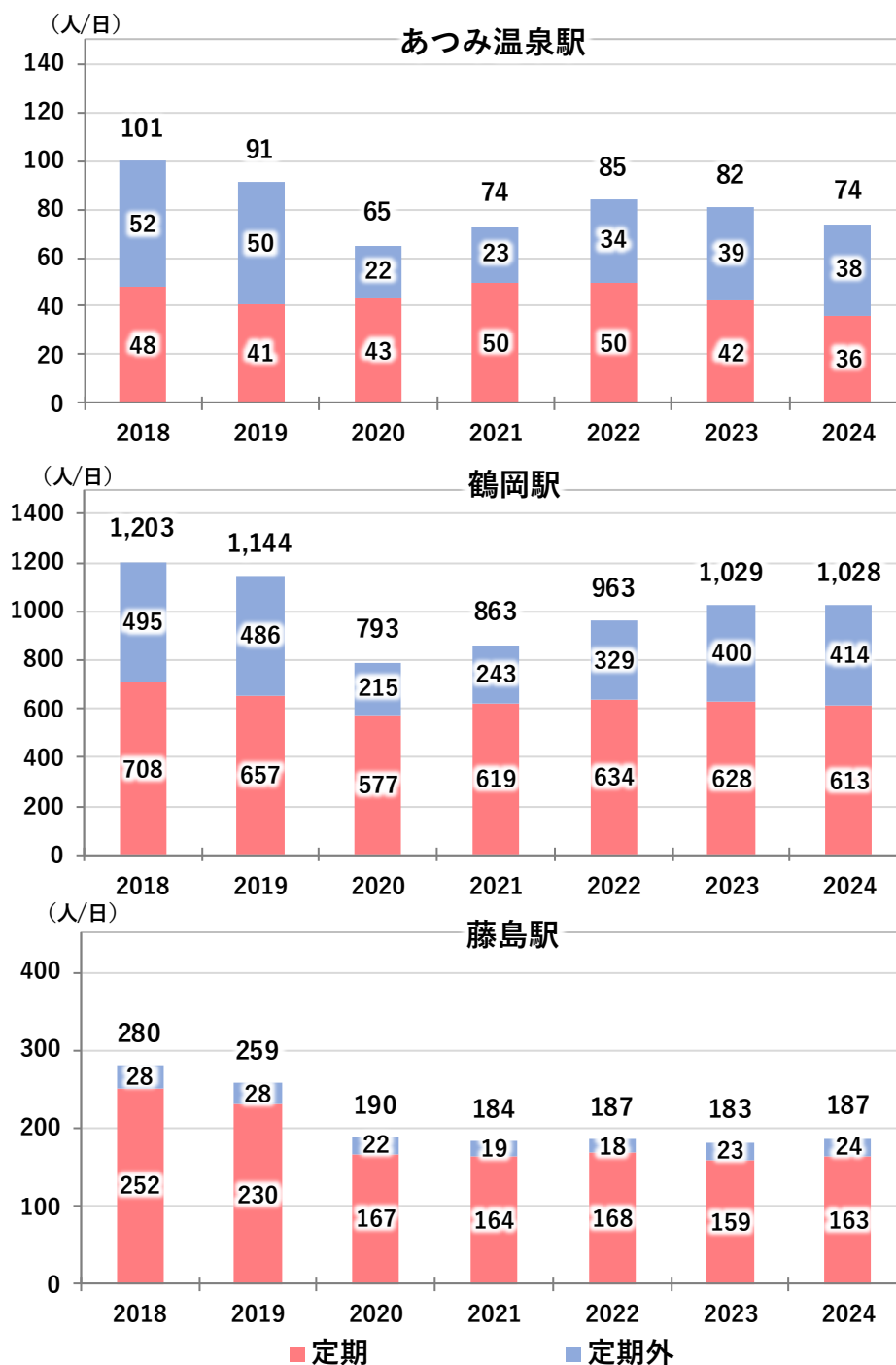
運行系統名	路線概要								運行事業者	
	起点	主な経由地	終点	便数 (平日)		便数 (土祝日)		運賃 (最大)		運行形態
				上 り	下 り	上 り	下 り			
JR 羽越本線 (市内：鼠ヶ関 駅～藤島駅)	新津駅	鼠ヶ関駅、小岩川駅、あつみ温泉駅、五十川駅、小波渡駅、三瀬駅、羽前水沢駅、羽前大山駅、鶴岡駅、藤島駅	秋田駅	20	20	22	23	770 円	鉄道	東日本 旅客鉄道

出典：JR 東日本 HP

(2) 運行実績

市内に所在する有人駅の1日平均乗車人数をみると、2020年の新型コロナウイルスの影響で減少したものの、鶴岡駅では2023年に1,000人を超える水準まで回復している。

2024年をみると、あつみ温泉駅と鶴岡駅では2023年から減少している一方で、藤島駅では定期利用、定期外利用ともに増加傾向にある。



JR 羽越本線「あつみ温泉駅、鶴岡駅、藤島駅（有人駅）」の平均乗車人員（人/日）

出典：JR 東日本「各駅の乗車人員_駅別（101位以下）」

※「無人駅」はデータなし

1-3-4 高速バスの運行状況

(1) 運行概要

市内には、東京・仙台・秋田と接続する高速バスが1系統運行している。

高速バスの運行概要（2025年時点）

運行系統名	路線概要								運行事業者	
	起点	主な経由地	終点	便数 (平日)		便数 (土祝日)		運賃 (最大)		運行形態
				上 り	下 り	上 り	下 り			
東京線	酒田駅前	エスモール BT、 庄内観光物産	渋谷駅、バスタ 新宿	1	1	2	2	9300 円	定時定路線	庄内交通
仙台線	酒田駅前	エスモール BT、 庄内観光物産館、 庄内あさひ BS	仙台駅前(広瀬 通り)、 ※仙台国際空港	5	5	5	5	3900 円	定時定路線	
山形線	酒田駅前	エスモール BT、 庄内観光物産館、 庄内あさひ BS	山形駅前	5	5	5	5	2800 円	定時定路線	
仙台～ 酒田線	エスモー ル BT	エスモール BT、 庄内観光物産館、 庄内あさひ BS	仙台駅前	1	1	1	1	3900 円	定時定路線	山交バス
山形～鶴岡・ 酒田線	エスモー ル BT	庄内観光物産館、 庄内あさひ BS	山形駅前	2	2	2	2	2600 円	定時定路線	
仙台-鶴岡・ 酒田【SSラ イナー夕陽 号】	酒田駅前	エスモール BT、 庄内観光物産館、 庄内あさひ BS	仙台駅前	1	1	2	2	3900 円	定時定路線	宮交バス
本荘～ 仙台線	本荘営業 所	庄内観光物産館	仙台駅前(広瀬 通り)	—	—	1	1	4700 円	定時定路線	羽後交通

出典：庄内交通 HP

1-3-5 路線バスの運行状況

(1) 運行概要

市内には1つのバス事業者があり、10路線を運行している。

路線バスの運行概要（2025年時点）

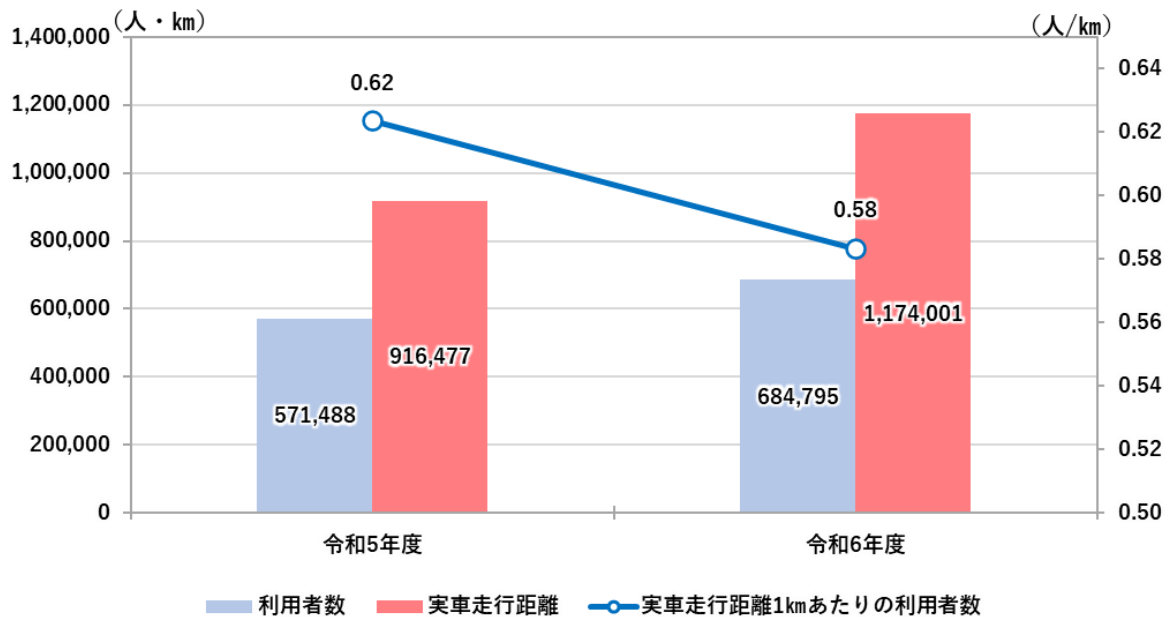
運行系統名	路線概要								運行事業者	
	起点	主な経由地	終点	便数 (平日)		便数 (土祝日)		運賃 (最大)		運行形態
				上り	下り	上り	下り			
鶴岡市内循環Aコース	エスマールBT	鶴岡駅前、市役所東、荘内病院、南ショッピングセンター前、サウスモールみ～な	エスマールBT	8	8	8	8	300円	定時定路線	庄内交通
鶴岡市内循環Bコース	エスマールBT	鶴岡駅前、荘内病院、鶴岡市役所、ウエストモール、庄内観光物産館	エスマールBT	8	8	8	8	300円	定時定路線	
鶴岡市内循環Cコース	エスマールBT	鶴岡駅前、荘内病院、鶴岡市役所前、こまぎの湯	エスマールBT	8	8	8	8	300円	定時定路線	
鶴岡酒田	ゆたか1丁目 ※イオンモール三川	日本海総合病院、イオン酒田南店、イオンモール三川、鶴岡駅前	エスマールBT	8	8	4	4	990円	定時定路線	
善宝寺経由湯野浜温泉	湯野浜温泉	善宝寺、庄内観光物産館、鶴岡市役所前、鶴岡駅前	エスマールBT	5	6	3	4	790円	定時定路線	
加茂水族館経由湯野浜温泉	湯野浜温泉	加茂水族館、庄内観光物産館、鶴岡市役所前、鶴岡駅前	エスマールBT	9	8	5	5	790円	定時定路線	
あつみ温泉	温海営業所	温海庁舎前、あつみ温泉駅、由良温泉、庄内観光物産館、鶴岡市役所前、鶴岡駅前	エスマールBT	5	5	3	3	1220円	定時定路線	
湯田川・越沢・坂の下	越沢、坂の下、湯田川公園前	湯田川温泉、鶴岡駅前	こころの医療センター、エスマールBT	9	8	5	5	1380円	定時定路線	

運行系統名	路線概要								運行事業者	
	起点	主な経由地	終点	便数 (平日)		便数 (土祝日)		運賃 (最大)		運行形態
				上り	下り	上り	下り			
羽黒山頂	羽黒山頂、いでは文化記念館前 ※月山八合目	羽黒随神門、羽黒庁舎前、ゆぼか、出羽庄内国際村、鶴岡駅前	エスモール BT	8	8	7	9	2140円	定時定路線	庄内交通
朝日庁舎	朝日庁舎	ヤマザワくしびき店、サウスモールみ～な、鶴岡駅前	エスモール BT	5	5	2	2	870円	定時定路線	

出典：庄内交通 HP

(2) 運行実績

市内を運行する路線バスの利用者数の推移をみると、利用者数は増加傾向にある一方で、実車走行距離1kmあたりの利用者数は減少している。



路線バスの利用者数の推移

出典：市提供データ（前年度10月1日～各年度9月末実績）

※廃止路線を含む
※地域内交通は含まない

1-3-6 地域内交通の運行状況

(1) 運行概要

市内の地域内交通は、定路線型が7系統、デマンド型が5系統、その他が2系統運行している。

定路線型の運行概要（令和7年時点）

運行系統名	路線概要								運行事業者	
	起点	主な経由地	終点	便数 (平日)		便数 (土祝日)		運賃 (最大)		運行形態
				上り	下り	上り	下り			
ふじつる号	京田橋	藤島庁舎前、藤島駅前、大宝寺、鶴岡駅前、エスマール、荘内病院、鶴岡市役所前	栗沢眼科前	2	2	—	—	300円	定時定路線	出羽ハイヤー 庄交ハイヤー
にこにこバス 上川代・小増川線	上川代	ゆぼか、南ショッピングセンター、鶴岡市役所前、荘内病院	鶴岡駅	3	3	—	—	500円	定時定路線	
にこにこバス 今野線	川代山	ゆぼか、南ショッピングセンター、鶴岡市役所前、荘内病院	鶴岡駅	3	3	3*	3*	400円	定時定路線	
あさひバス上 田沢線「タキ タロウ号」	上田沢	南部コミセン前、大針公民館前、本郷神社前、朝日中学校	朝日庁舎	1	1	—	—	300円	定時定路線	落合自動車
あさひバス大 綱線「がっさ ん号」	大綱局前	米の粉の滝ドライブイン、月山あさひ博物村、産直あさひ・グー	下村口付近	1	1	—	—	300円	定時定路線	落合自動車
湯ったり号 戸沢線	強龍寺前※温 海クリ ニック	五十川駅前、あつみ温泉駅前、温海庁舎、Aコープあつみ	バラ園	4	3	—	—	400円	定時定路線	温海温泉 観光自動車
湯ったり号 平沢線	平沢	イオンタウンあつみ、鼠ヶ関駅前、鼠ヶ関Aコープ、しゃりん、あつみ温泉駅前、Aコープあつみ	バラ園	4	3	4*	3*	400円	定時定路線	

※にこにこバス上川代・小増川線は月水金、今野線は火木土のみ運行

※湯ったり号平沢線は月～土のみ運行

出典：鶴岡市HP

デマンド型の運行概要（令和7年時点）

運行系統名	運行概要				運行事業者
	運行経路	運行日	運賃 (最大)	運行形態	
すまいる号	自宅⇄指定乗降場所 (藤島地区エリア、長沼地区エ リア、八栄島地区エリア、庄内 町エリア、三川町エリア)	【全地区】 藤島市街地行き：月～土曜日運行 【長沼地区、八栄島地区】 庄内町行き：火曜日運行 三川町行き：木曜日運行	500円	デマンド タクシー	出羽ハイヤー
ふれあい号	自宅⇄指定乗降場所 (藤島地区エリア、東栄地区エ リア、渡前地区エリア)	藤島市街地行き：月～土曜日運行	400円	デマンド タクシー	庄交ハイヤー
くしびっき	自宅⇄指定乗降場所 (櫛引地区中心部地域、サウス モールみ～な)	月～土曜日運行	500円	デマンド タクシー	
カタクリ号	自宅⇄指定乗降場所、指定乗降 場所間（南部地区、東部地区、 中央地区）	月～金曜日運行	400円	デマンド タクシー	落合自動車
湯ったり号 関川線	自宅⇄指定乗降場所、指定乗降 場所間	月～土曜日運行 ※土曜日のみ12:00まで	400円	デマンド タクシー	温海温泉観光 自動車

出典：鶴岡市 HP

その他地域内交通の運行概要（2025年時点）

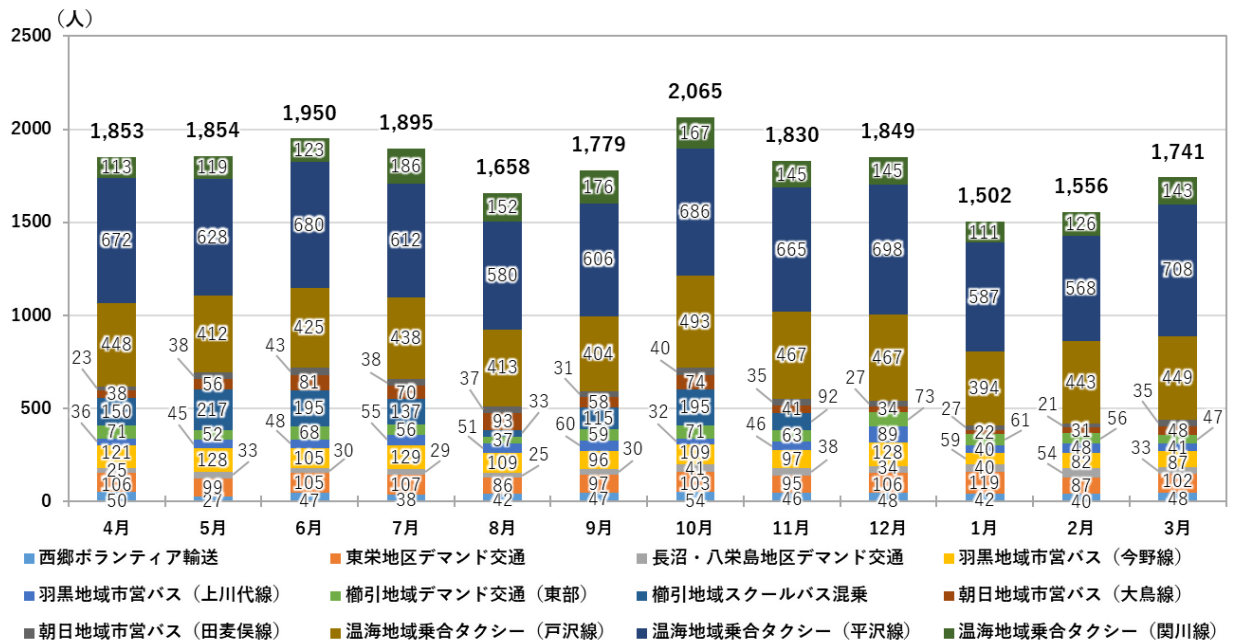
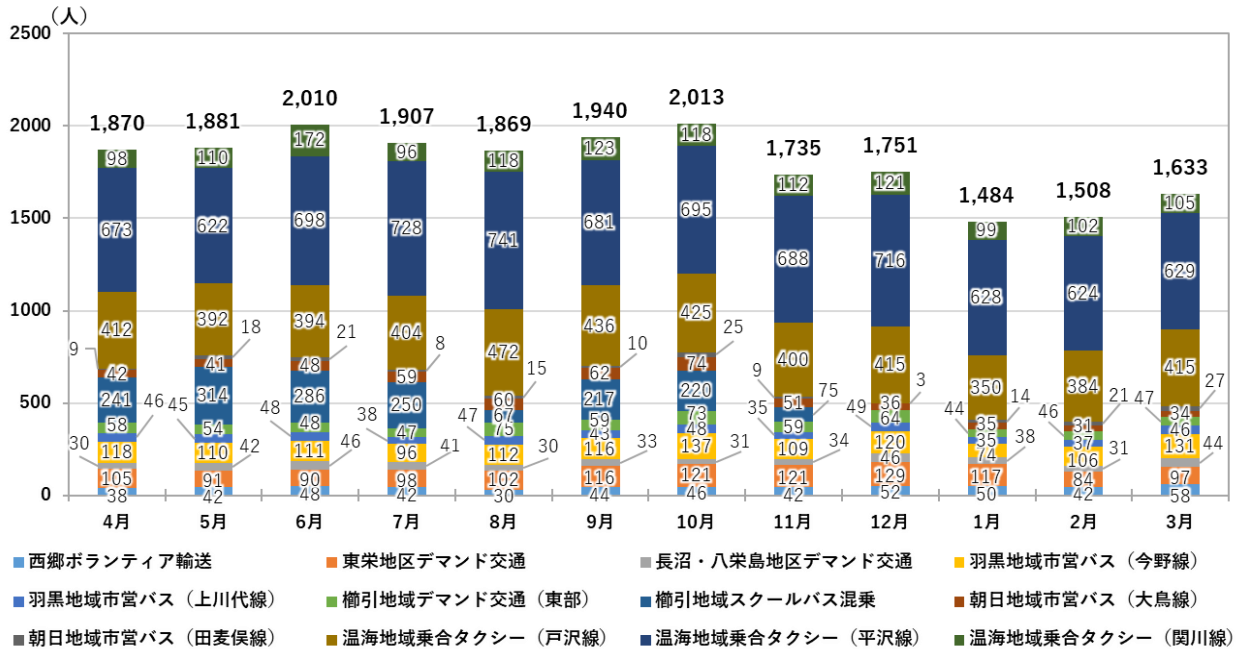
運行系統名	運行概要			運行事業者
	運行日	運賃 (最大)	運行形態	
西郷ボランティア輸送	火、水、金曜日運行	200円	普通乗用車	西郷地区ボランティア輸送 活動運営協議会
櫛引地域スクールバス混乗	月～金曜日運行	320円	スクールバス	鶴岡市

出典：鶴岡市 HP

(2) 運行実績

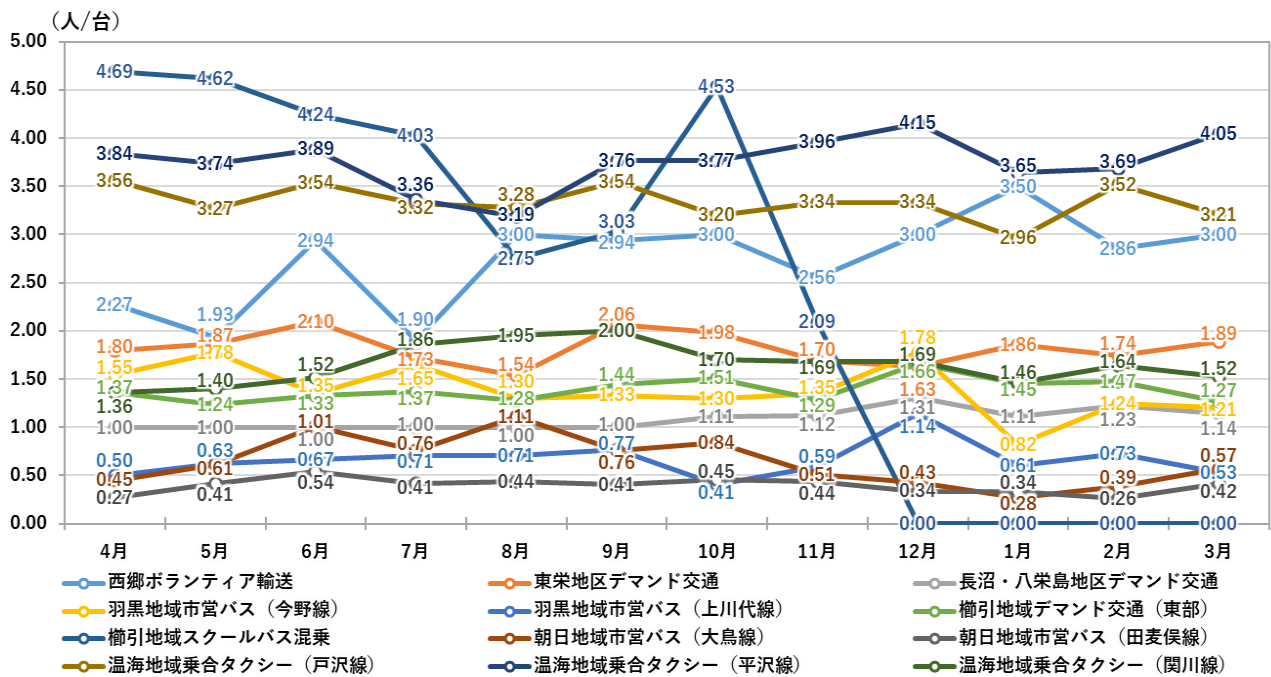
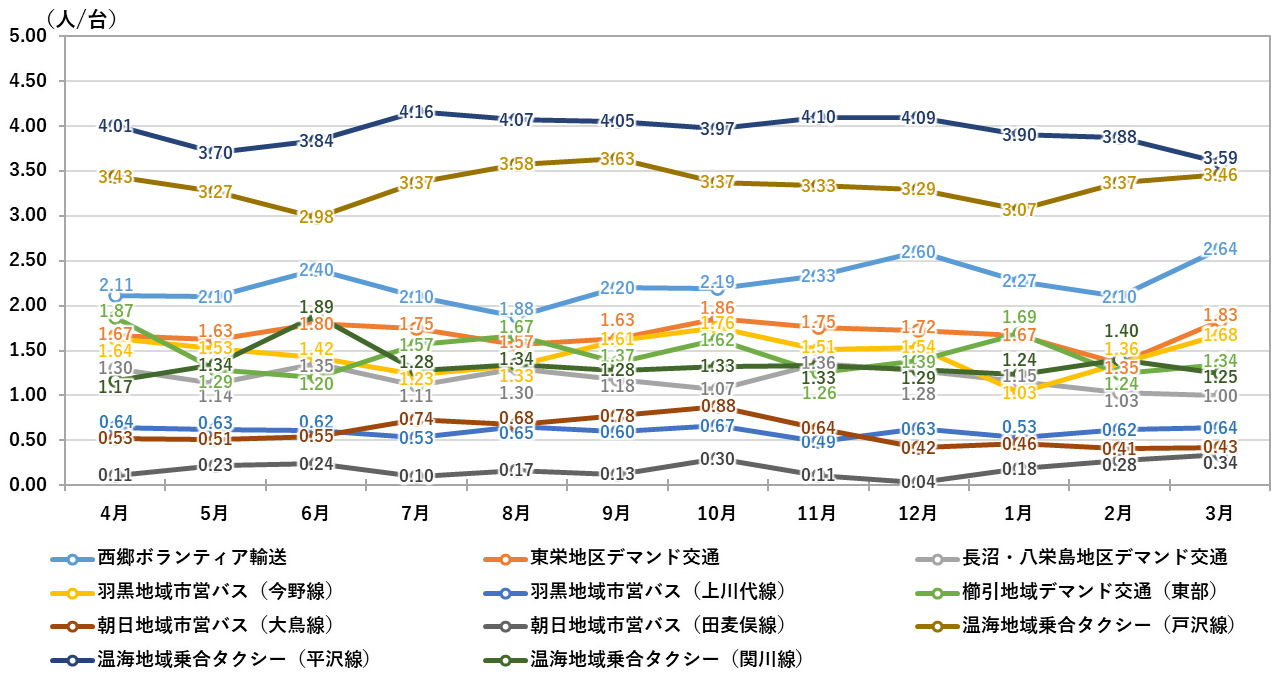
市内を運行する地域内交通は地域ごとに実証運行や本格運行が進められており、現在13系統が運行されている。

利用者数をみると、4月から9月までは減少傾向にあるものの、10月以降は増加傾向にある。また、温海地域の地域内交通が利用者数と1台あたりの利用者数ともに非常に多い。



地域内交通の月別利用者数 (上：2023年度、下：2024年度)

提供先：市提供データ ※「ふじつ号」はデータなし



地域内交通 1 台当たりの月別利用者数 (上：2023 年度、下：2024 年度)

提供先：市提供データ ※「ふじつ号」はデータなし

※「榎引地域スクールバス混乗」は 2023 年度の運行台数データなし

1-3-7 一般タクシーの運行状況

市内で営業しているタクシー事業者は、下記記載の11社となっている。

タクシー事業者の概要

社名	所在地	地区
大和交通株式会社	鶴岡市大字日枝字鳥居上 43-2	鶴岡
合資会社湯田川温泉自動車	鶴岡市湯田川乙 42-6	鶴岡
八乙女観光自動車有限会社	鶴岡市三瀬丁 91	鶴岡
出羽ハイヤー株式会社	鶴岡市新形町 5-15	鶴岡
落合自動車株式会社	鶴岡市下名川字落合 6	朝日
羽黒タクシー株式会社	鶴岡市羽黒町野荒町字西田 8-1	羽黒
温海温泉観光自動車株式会社	鶴岡市湯温海甲 80	温海
庄交ハイヤー株式会社	鶴岡市日和田町 20-37	鶴岡
湯の浜観光エアポートタクシー有限会社	鶴岡市大字下川字七窪 206-1	鶴岡
鶴岡タクシー株式会社	鶴岡市末広町 11-32	鶴岡
大山タクシー	鶴岡市大山二丁目 38-29	鶴岡

出典：山形県 HP

1-3-8 その他の送迎サービスの運行状況

市内には、公共交通と比べて利用対象が明確に設定されている移動サービスとして、組合員や施設利用者を対象とした福祉有償運送や施設送迎サービスが運行されている。

これらの移動サービスは、利用者に応じた細かな需要に対応しており、サービス利用時や通院時の移動手段を担っている。

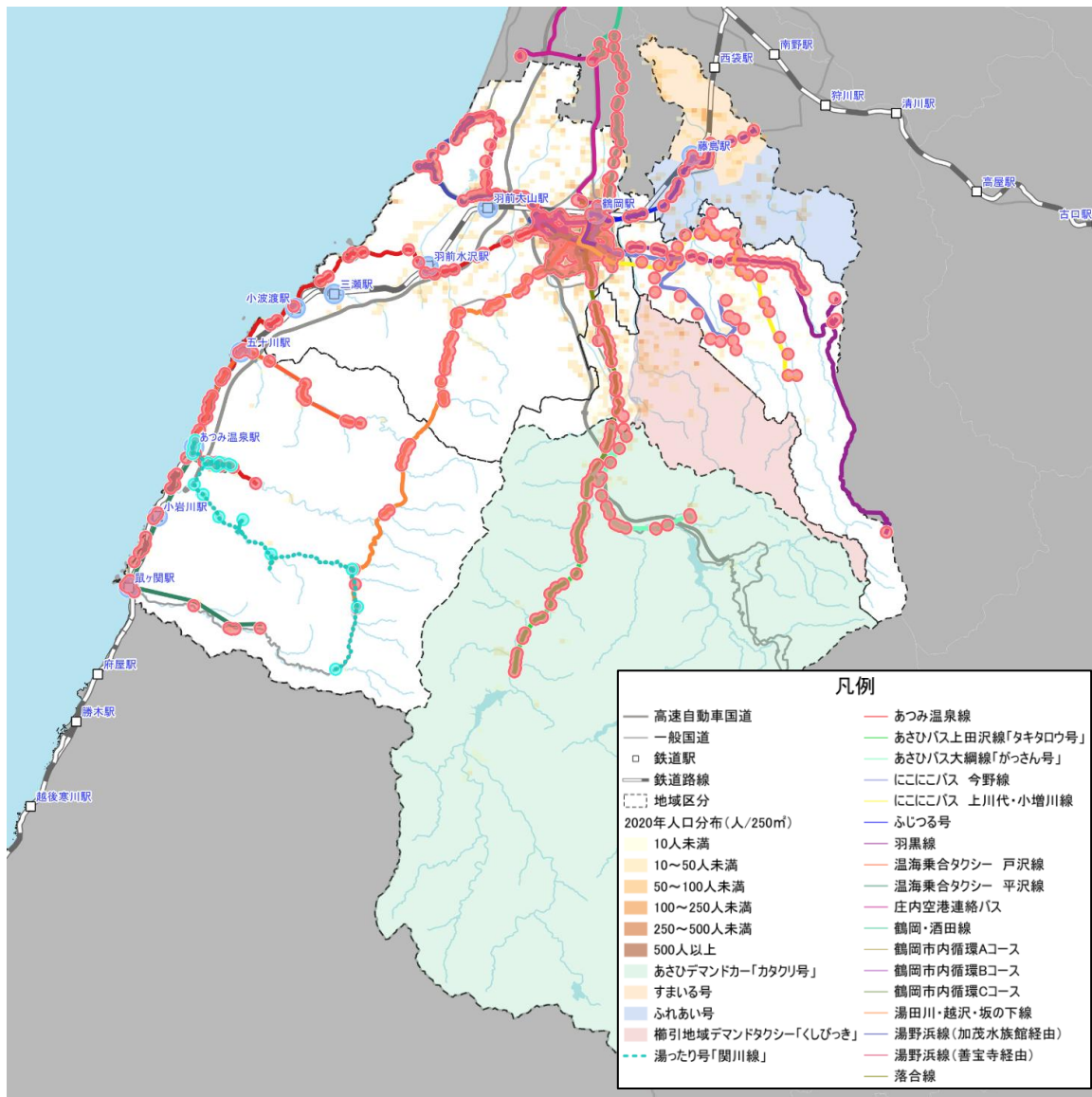
施設送迎バスの運行概要

区分	運行主体	備考
組合	コープくらしのたすけあいの会	福祉有償運送 【活動地域】庄内地域（鶴岡・酒田）、村山地域（山形・天童・北村山・寒河江）、最上地域（新庄）、置賜地域（南陽） 【料金】謝礼金：1時間750円（利用券） 交通費：1kmあたり30円（置賜地域は20円）
福祉施設	デイケアかけはし	送迎サービス 【実施地域】鶴岡市内 ※但し、片道10km範囲内で他相談 デイケアかけはし⇔自宅
	すずらん・ケア	送迎サービス 【提供地域】鶴岡市、三川町 【料金】無料
医療施設	宝田整形外科クリニック	通所リハビリテーション送迎車 【送迎範囲】原則10km圏内 宝田整形外科クリニック⇔自宅

出典：各施設 HP

1-3-9 公共交通空白地の状況

鶴岡市は、市民の約 8 割が路線バス、約 1 割が JR 羽越本線、約 2 割がデマンド交通の利用可能地域に居住しており、全体では 9 割弱が公共交通利用可能地域に居住している。



公共交通のカバー状況

※人口は国勢調査（2020）より作成

地区名	地区内 総人口	公共交通の人口カバー率									
		路線バス		鉄道		デマンド			路線バス+鉄道+デマンド		(参考) 非カバー人口
		カバー人口	カバー率	カバー人口	カバー率	名称	カバー人口	カバー率	カバー人口	カバー率	
鶴岡	88,427	72,244	81.7%	6,337	7.2%				73,936	83.6%	14,491
藤島	10,483	4,748	45.3%	1,038	9.9%	すまいる号	6,030	100.0%	10,483	100.0%	0
羽黒	9,245	7,364	79.7%			ふれあい号	4,453		7,364	79.7%	1,881
榊引	7,160	3,161	44.1%			くしびつき	2,475	34.6%	5,574	77.8%	1,586
朝日	3,782	3,100	82.0%			カタクリ号	3,782	100.0%	3,782	100.0%	0
温海	6,578	5,895	89.6%	1,937	29.4%	湯ったり号 関川線	2,482	37.7%	6,387	97.1%	191
全体	125,675	96,512	76.8%	9,312	7.4%		19,222	15.3%	107,660	85.7%	18,015

※総人口は国勢調査（2020）より作成

※GIS を使用して集計しているため、実際の人口とは合わない場合がある

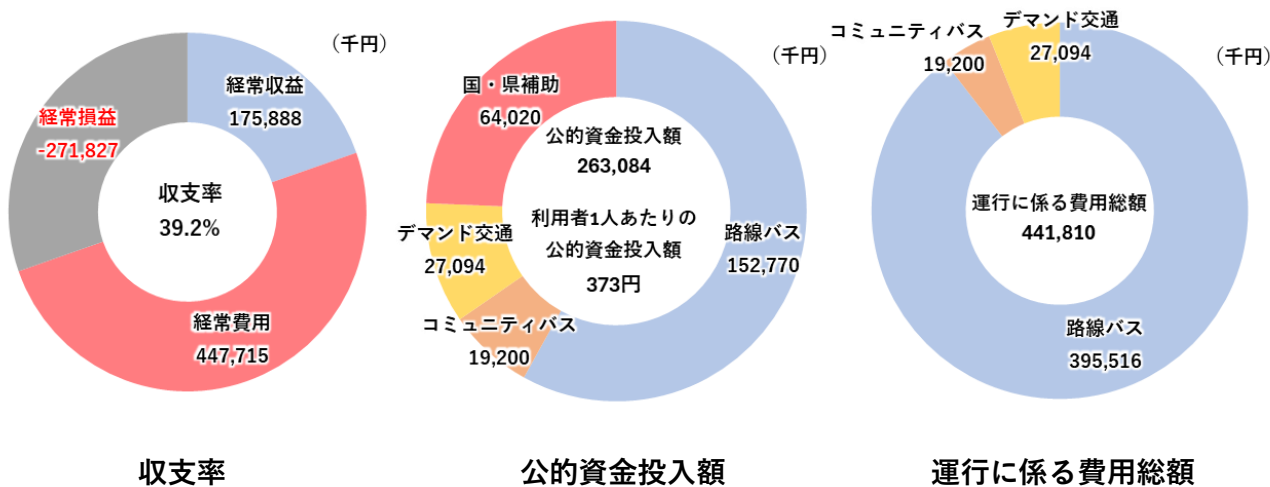
1-3-10 財政負担の状況

本市内の乗合バス路線は、庄内交通の運行する路線バス、市営バスや乗合タクシーなどの地域内交通で構成されており、それぞれ国や県、市の補助金によって一部の負担を補っている。

乗合バス路線の収支率をみると、経常損益が-271,827,000円となっており、収支率は39.2%となっている。

乗合バス路線の公的資金投入額をみると、公的資金投入額が263,084千円となっており、利用者1人あたりでは373円となっている。国・県の補助が64,020千円となっており、全体の約4分の1を占めている。

乗合バス路線の運行に係る費用総額をみると、路線バスが395,516千円となっており、全体の約9割を占めている。



※市提供データ（2023年10月1日～2024年9月30日実績）

2.市民・高校生アンケート調査結果

2-1 市民アンケート

2-1-1 調査概要

市民アンケートの実施概要は以下のとおり。

市民アンケートの実施概要

項目	概要
調査の目的	外出目的別（買い物・通院・通勤）の移動実態、公共交通の利用状況、公共交通に対する考え、基本属性、等
調査の対象	18歳以上90歳以下の男女 ※無作為抽出
調査期間	令和7年9月中旬～10月上旬
実施方法	・郵送による配布、郵送またはWEBによる回収 ※抽選で30名に「夕日号バス型ペンケース」をプレゼントするノベルティを付与
配布票数	配布件数：1,000票 ※地区別年齢別人口の構成割合により按分して配布票数を決定 ※市HPや公式LINEでも同様のWEBアンケートを実施
回収票数	調査票回収件数：374票（37.4%）、WEB回収件数：836票 回答合計：1,210票
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・日常生活の移動実態・公共交通の利用状況・公共交通に対する考え・回答者の基本属性

※クロス集計は3%未満を非表示

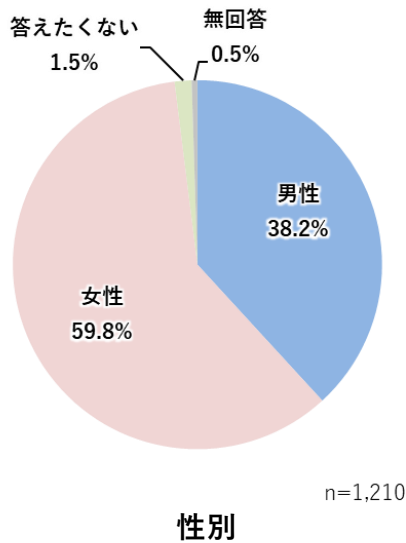
※複数回答の場合、割合の合計が100%にならない

※「鶴岡市内循環バスについて」の項目は鶴岡地区住民のみ回答

2-1-2 回答者自身について

(1) 性別

性別をみると、「女性」が59.8%（724人）、「男性」が38.2%（462人）と続いている。

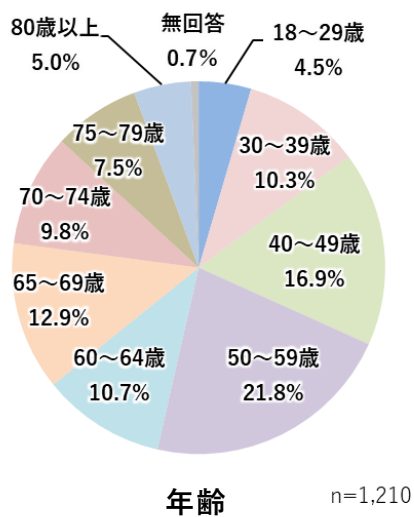


性別

	回答数	割合
男性	462	38.2%
女性	724	59.8%
答えたくない	18	1.5%
無回答	6	0.5%
合計	1,210	100.0%

(2) 年齢

年齢をみると、「50～59歳」が21.8%（264人）と最も高く、次いで「40～49歳」が16.9%（204人）と続いている。

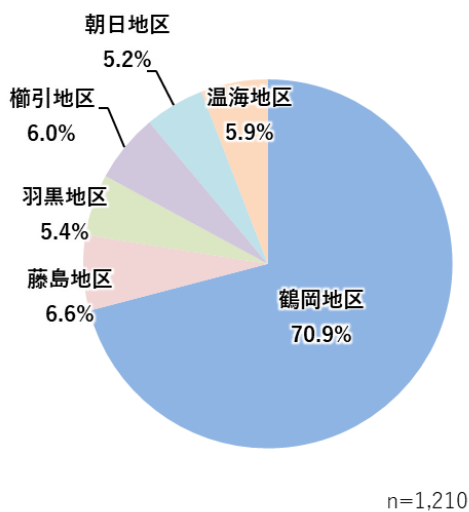


年齢

	回答数	割合
18～29歳	55	4.5%
30～39歳	125	10.3%
40～49歳	204	16.9%
50～59歳	264	21.8%
60～64歳	129	10.7%
65～69歳	156	12.9%
70～74歳	118	9.8%
75～79歳	91	7.5%
80歳以上	60	5.0%
無回答	8	0.7%
合計	1,210	100.0%

(3) 居住地区

居住地区をみると、「鶴岡地区」が 70.9% (858 人) と最も高く、次いで「藤島地区」が 6.6% (80 人) と続いている。



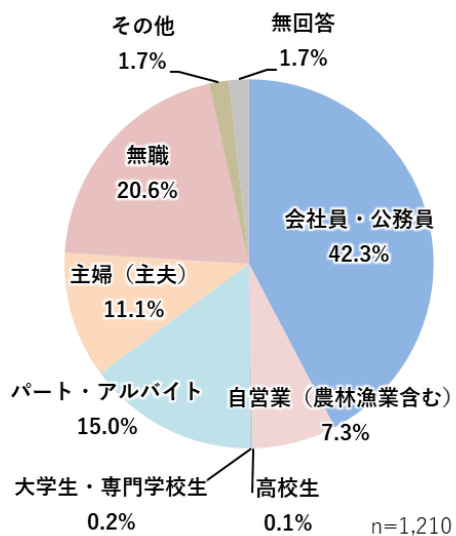
居住地区

	回答数	割合
鶴岡地区	858	70.9%
藤島地区	80	6.6%
羽黒地区	65	5.4%
榊引地区	73	6.0%
朝日地区	63	5.2%
温海地区	71	5.9%
無回答	0	0.0%
合計	1,210	100.0%

居住地区

(4) 職業

職業をみると、「会社員・公務員」が 42.3% (512 人) と最も高く、次いで「無職」が 20.6% (249 人) と続いている。



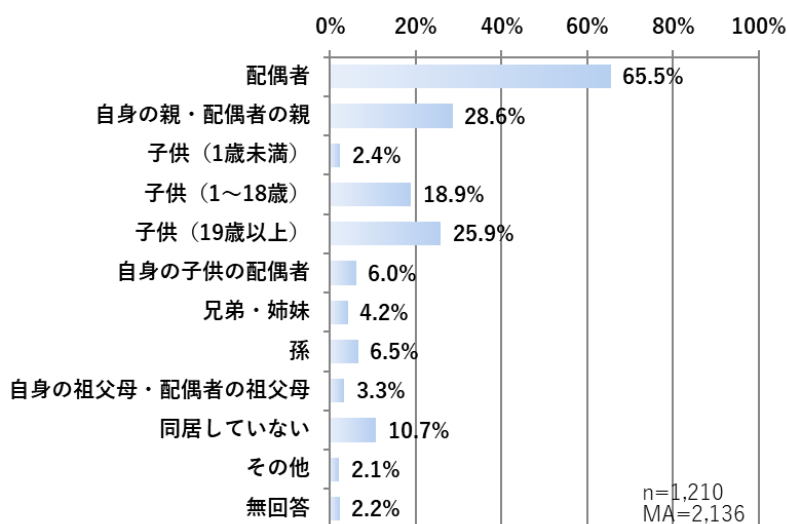
職業

	回答数	割合
会社員・公務員	512	42.3%
自営業(農林漁業含む)	88	7.3%
高校生	1	0.1%
大学生・専門学校生	3	0.2%
パート・アルバイト	181	15.0%
主婦(主夫)	134	11.1%
無職	249	20.6%
その他	21	1.7%
無回答	21	1.7%
合計	1,210	100.0%

職業

(5) 同居する家族構成

同居する家族構成をみると、「配偶者」が 65.5% (793 人) と最も高く、次いで「自身の親・配偶者の親」が 28.6% (346 人) と続いている。



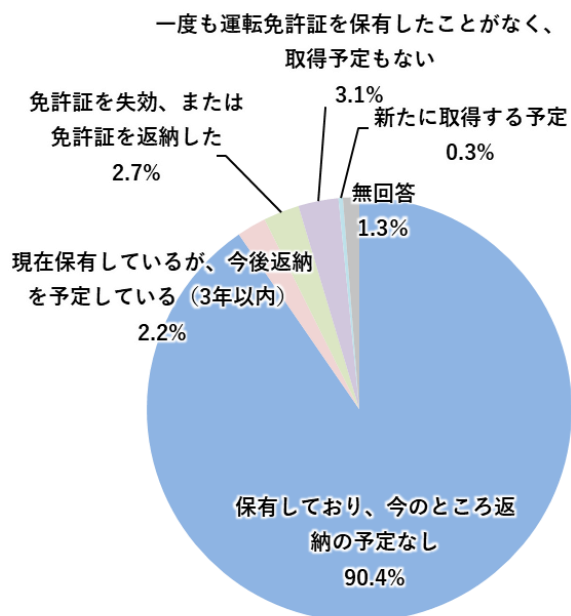
同居する家族構成

	回答数	割合
配偶者	793	65.5%
自身の親・配偶者の親	346	28.6%
子供 (1歳未満)	29	2.4%
子供 (1~18歳)	229	18.9%
子供 (19歳以上)	313	25.9%
自身の子供の配偶者	73	6.0%
兄弟・姉妹	51	4.2%
孫	79	6.5%
自身の祖父母・配偶者の祖父母	40	3.3%
同居していない	130	10.7%
その他	26	2.1%
無回答	27	2.2%
合計	2,136	176.5%

同居する家族構成

(6) 運転免許証の保有状況

運転免許証の保有状況をみると、「保有しており、今のところ返納の予定なし」が 90.4% (1,094 人) と最も高く、次いで「一度も運転免許証を保有したことがなく、取得予定もない」が 3.1% (37 人) と続いている。



n=1,210

運転免許証の保有状況

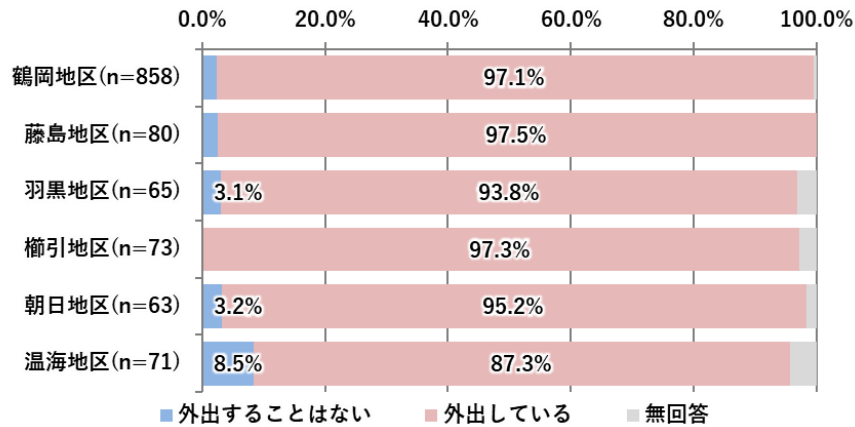
運転免許証の保有状況

	回答数	割合
保有しており、今のところ返納の予定なし	1,094	90.4%
現在保有しているが、今後返納を予定している (3年以内)	27	2.2%
免許証を失効、または免許証を返納した	33	2.7%
一度も運転免許証を保有したことがなく、取得予定もない	37	3.1%
新たに取得する予定	4	0.3%
無回答	15	1.2%
合計	1,210	100.0%

2-1-3 日々の買い物（食料品・日用品など）を目的とした外出について

(1) 日々の買い物を目的とした外出の有無

日々の買い物を目的とした外出の有無をみると、すべての地区で「外出している」が8割以上を占めている。特に藤島地区では97.5%（78人）、櫛引地区では97.3%（71人）を占めている。

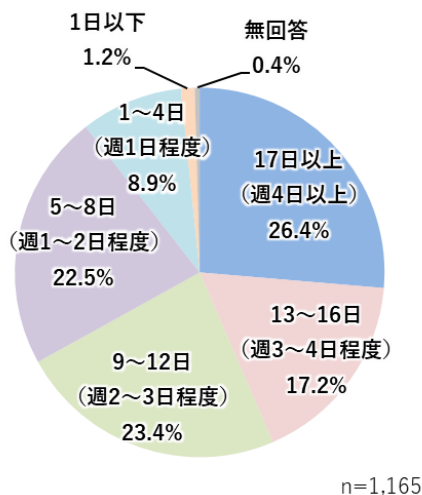


日々の買い物を目的とした外出の有無

※3%未満は非表示

(2) 日々の買い物を目的とした外出の頻度

日々の買い物を目的とした外出の頻度をみると、「17日以上（週4日以上）」と回答した方が26.4%（307人）と最も多く、次いで「9～12日（週2～3日程度）」が23.4%（273人）と続いている。



日々の買い物を目的とした外出の頻度

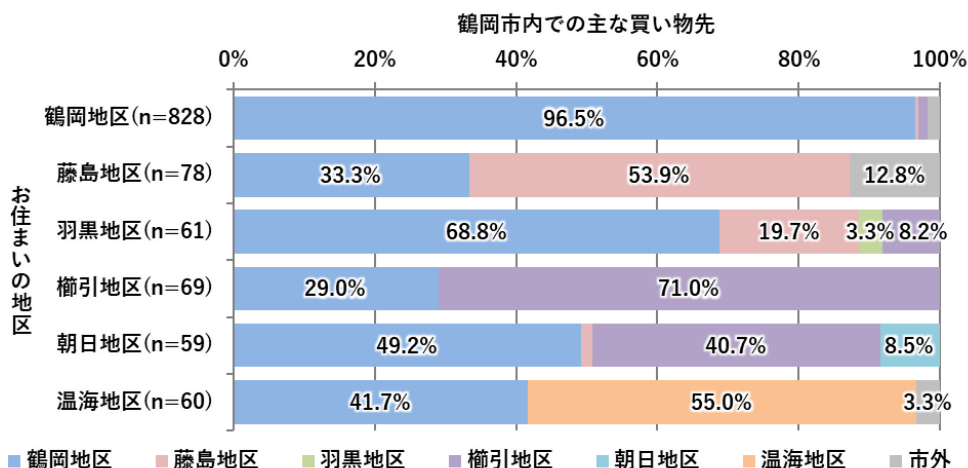
	回答数	割合
17日以上（週4日以上）	307	26.4%
13～16日（週3～4日程度）	200	17.2%
9～12日（週2～3日程度）	273	23.4%
5～8日（週1～2日程度）	262	22.5%
1～4日（週1日程度）	104	8.9%
1日以下	14	1.2%
無回答	5	0.4%
合計	1,165	100.0%

日々の買い物を目的とした外出の頻度

※(1)で「外出している」と回答した方のみ

(3) 日々の買い物先

日々の買い物先をみると、鶴岡・藤島・櫛引・温海地区ではそれぞれの居住地区内が、羽黒・朝日地区では「鶴岡地区」が最も高い。羽黒地区では「藤島地区」、朝日地区では「櫛引地区」といった隣接する地区への流動もみられる。藤島・温海地区では「市外」への流動も一部みられる。



日々の買い物先（地区）

※ (1) で「外出している」と回答した方のみ

※無回答を除く

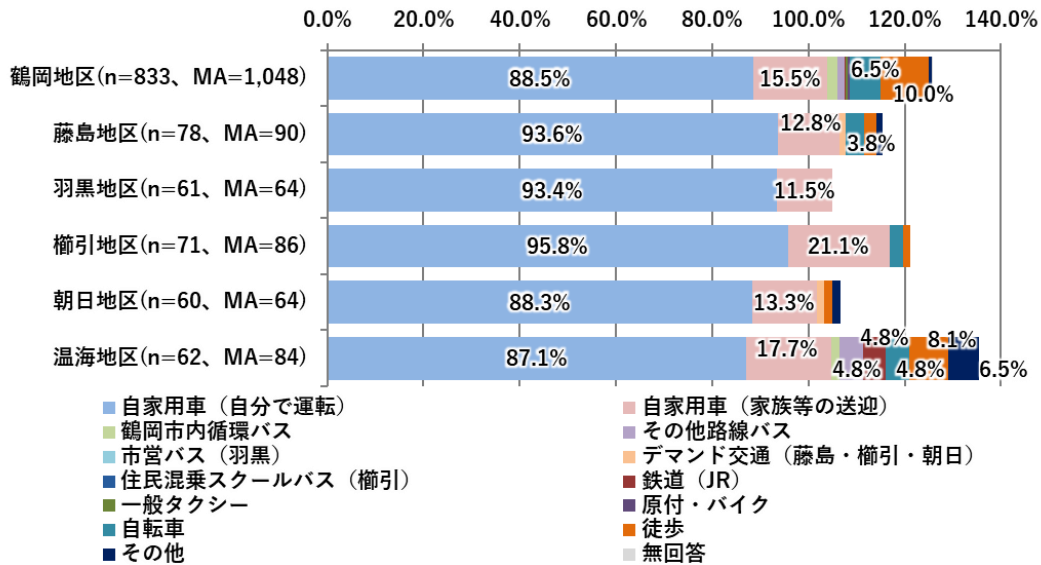
※3%未満は非表示

日々の買い物先（店舗・上位 20 件）

No	店舗名	回答数（件）
1	マックスバリュ鶴岡南店	83
2	ジェイ・マルエー鶴岡南店	79
3	主婦の店パル店	79
4	ヤマザワくしびき店	77
5	鶴岡協同の家こびあ	60
6	ヤマザワ鶴岡店	55
7	マックスバリュ白山店	54
8	ヤマザワ鶴岡茅原店	51
9	コープ千石	37
10	マックスバリュ藤島店	37
11	S-MALL	35
12	主婦の店 mina 店	35
13	主婦の店イーネ駅前店	35
14	主婦の店 IZMO 新斎店	33
15	ジェイ・マルエー鶴岡店	28
16	コープあおやぎ	27
17	コープ切添	21
18	主婦の店美原店	20
19	マックスバリュあつみ店	13
20	A コープふじしま店	12

(4) 日々の買い物先への移動手段

日々の買い物先への移動手段をみると、すべての地区で「自家用車（自分で運転）」が8割以上を占めており、次いで「自家用車（家族等の送迎）」が続いている。



日々の買い物先への移動手段

※ (1) で「外出している」と回答した方のみ

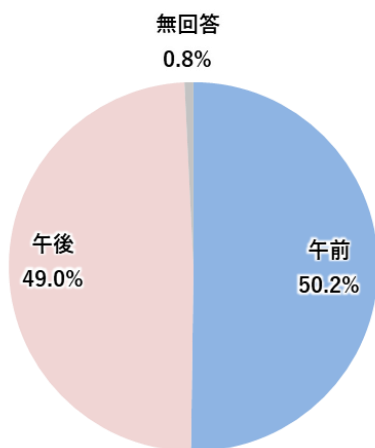
※3%未満は非表示

(5) 日々の買い物を目的とした外出の出発時間帯と帰宅時間帯

① 自宅を出発する時間帯

自宅を出発する時間帯（午前・午後）をみると、午前が50.2%（585人）とやや多い。

自宅を出発する時間帯（時間）をみると、10:00～11:00が24.5%（285人）と最も多く、次いで9:00～10:00が13.3%（155人）と続いている。



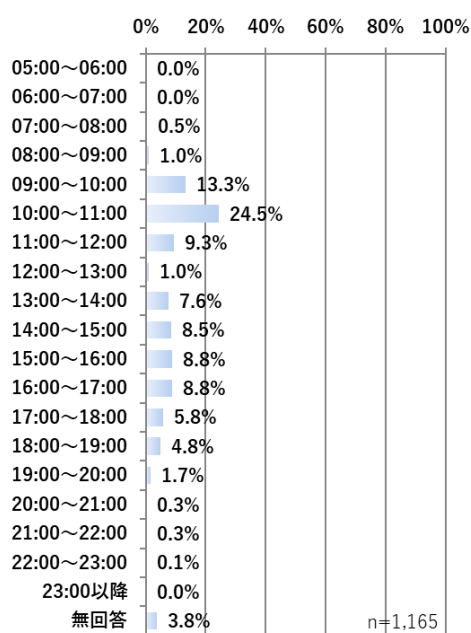
n=1,165

自宅を出発する時間帯（午前・午後）

	回答数	割合
午前	585	50.2%
午後	571	49.0%
無回答	9	0.8%
合計	1,165	100.0%

自宅を出発する時間帯（午前・午後）

自宅を出発する時間帯（時間）



自宅を出発する時間帯（時間）

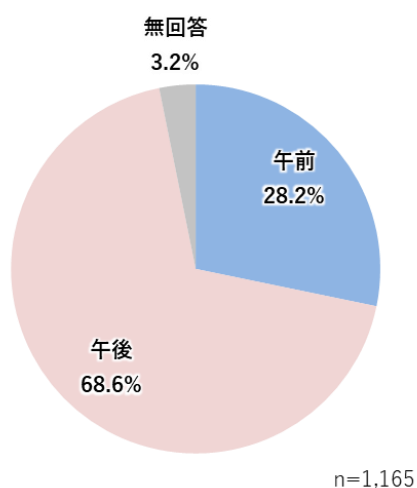
時間帯	回答数	割合
05:00~06:00	0	0.0%
06:00~07:00	0	0.0%
07:00~08:00	6	0.5%
08:00~09:00	12	1.0%
09:00~10:00	155	13.3%
10:00~11:00	285	24.5%
11:00~12:00	108	9.3%
12:00~13:00	12	1.0%
13:00~14:00	88	7.6%
14:00~15:00	99	8.5%
15:00~16:00	103	8.8%
16:00~17:00	102	8.8%
17:00~18:00	68	5.8%
18:00~19:00	56	4.8%
19:00~20:00	20	1.7%
20:00~21:00	3	0.3%
21:00~22:00	3	0.3%
22:00~23:00	1	0.1%
23:00以降	0	0.0%
無回答	44	3.8%
合計	1,165	100.0%

※ (1) で「外出している」と回答した方のみ

② 自宅に到着する時間帯

帰宅時間帯（午前・午後）をみると、午後が68.6%（799人）と多い。

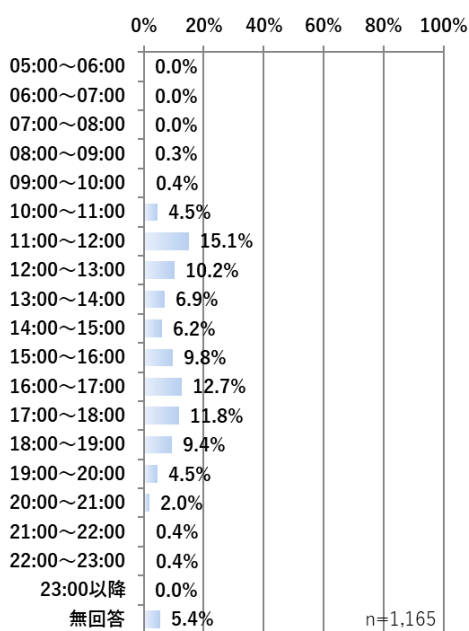
帰宅時間帯（時間）をみると、11:00~12:00が15.1%（176人）と最も多く、次いで16:00~17:00が12.7%（148人）と続いている。



自宅に帰宅する時間帯（午前・午後）

自宅に帰宅する時間帯（午前・午後）

時間帯	回答数	割合
午前	329	28.2%
午後	799	68.6%
無回答	37	3.2%
合計	1,165	100.0%



自宅に帰宅する時間帯 (時間)

自宅に帰宅する時間帯 (時間)

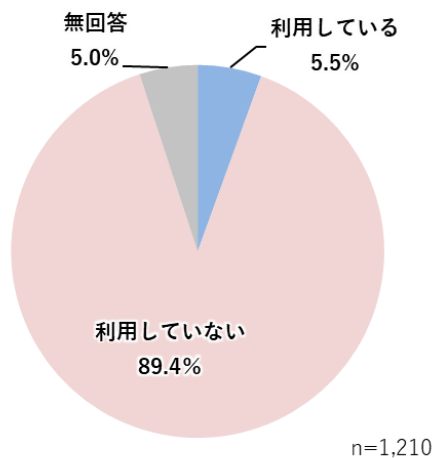
	回答数	割合
05:00~06:00	0	0.0%
06:00~07:00	0	0.0%
07:00~08:00	0	0.0%
08:00~09:00	3	0.3%
09:00~10:00	5	0.4%
10:00~11:00	53	4.5%
11:00~12:00	176	15.1%
12:00~13:00	119	10.2%
13:00~14:00	80	6.9%
14:00~15:00	72	6.2%
15:00~16:00	114	9.8%
16:00~17:00	148	12.7%
17:00~18:00	137	11.8%
18:00~19:00	109	9.4%
19:00~20:00	53	4.5%
20:00~21:00	23	2.0%
21:00~22:00	5	0.4%
22:00~23:00	5	0.4%
23:00以降	0	0.0%
無回答	63	5.4%
合計	1,165	100.0%

※ (1) で「外出している」と回答した方のみ

(6) 買い物支援サービスの利用有無と利用しているサービス

買い物支援サービスの利用有無と利用しているサービスをみると、「利用していない」が 89.4% (1,082 人)、「利用している」が 5.5% (67 人) となっている。

利用しているサービスをみると、「食品宅配サービス」が 77.6% (52 人) と最も高く、次いで「移動販売車」が 14.9% (10 人) と続いている。



買い物支援サービスの利用有無

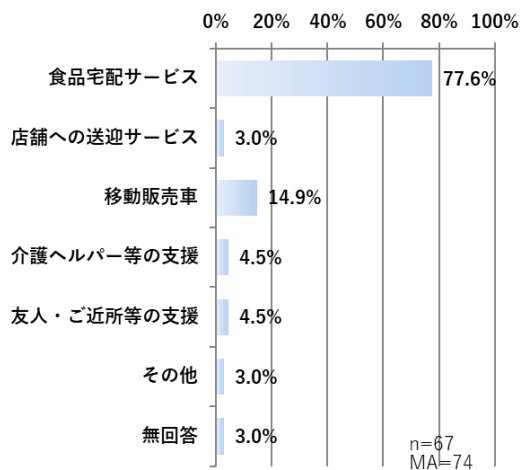
買い物支援サービスの利用有無

	回答数	割合
利用している	67	5.5%
利用していない	1,082	89.4%
無回答	61	5.0%
合計	1,210	100.0%

利用しているサービス名

No	店舗名	回答数
1	コープ	39
2	JA	6
3	オイシックス	2
4	とくしまる	2
5	アマゾン	1
6	イオン東北ネットスーパー	1
7	寅蔵商店	1
8	ヘルパーステーションぬくもり	1
9	訪問介護事業所なえづサテライト	1
10	タイヘイ	1

※無回答を除く



利用しているサービスの内容

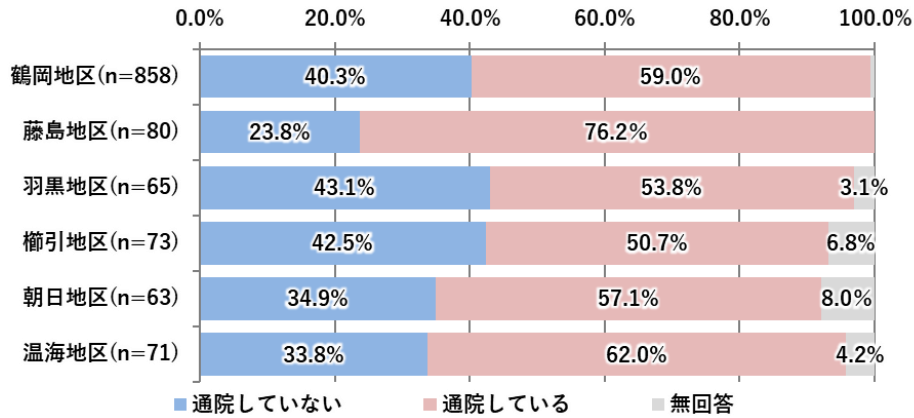
利用しているサービスの内容

	回答数	割合
食品宅配サービス	52	77.6%
店舗への送迎サービス	2	3.0%
移動販売車	10	14.9%
介護ヘルパー等の支援	3	4.5%
友人・ご近所等の支援	3	4.5%
その他	2	3.0%
無回答	2	3.0%
合計	74	110.4%

2-1-4 定期的な通院を目的とした外出について

(1) 定期的な通院を目的とした外出の有無

定期的な通院を目的とした外出の有無をみると、すべての地区で「通院している」が5割以上を占めている。

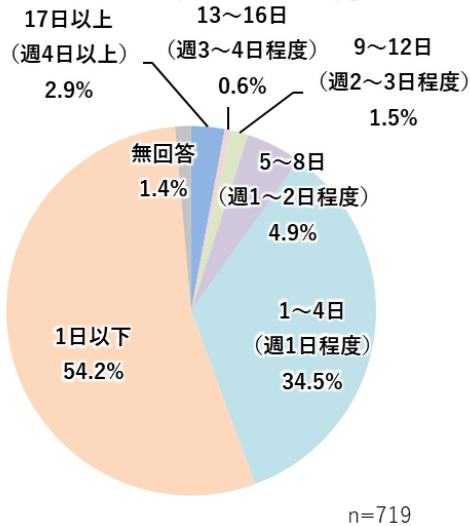


定期的な通院を目的とした外出の有無

※3%未満は非表示

(2) 定期的な通院を目的とした外出の頻度

定期的な通院を目的とした外出の頻度をみると、「1日以下」が54.2% (390人) と最も高く、次いで「1~4日 (週1日程度)」が34.5% (248人) と続いている。



定期的な通院を目的とした外出の頻度

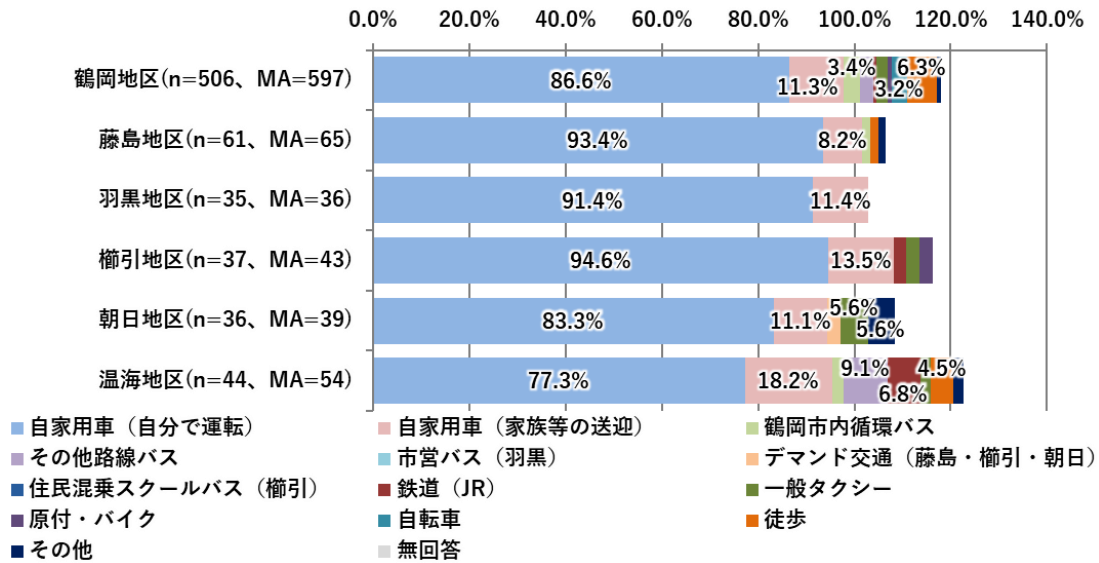
	回答数	割合
17日以上 (週4日以上)	21	2.9%
13~16日 (週3~4日程度)	4	0.6%
9~12日 (週2~3日程度)	11	1.5%
5~8日 (週1~2日程度)	35	4.9%
1~4日 (週1日程度)	248	34.5%
1日以下	390	54.2%
無回答	10	1.4%
合計	719	100.0%

定期的な通院を目的とした外出の頻度

※ (1) で「通院している」と回答した方のみ

(3) 定期的な通院先への移動手段

定期的な通院先への移動手段をみると、すべての地区で「自家用車（自分で運転）」が最も高く、次いで「自家用車（家族等の送迎）」が続いている。



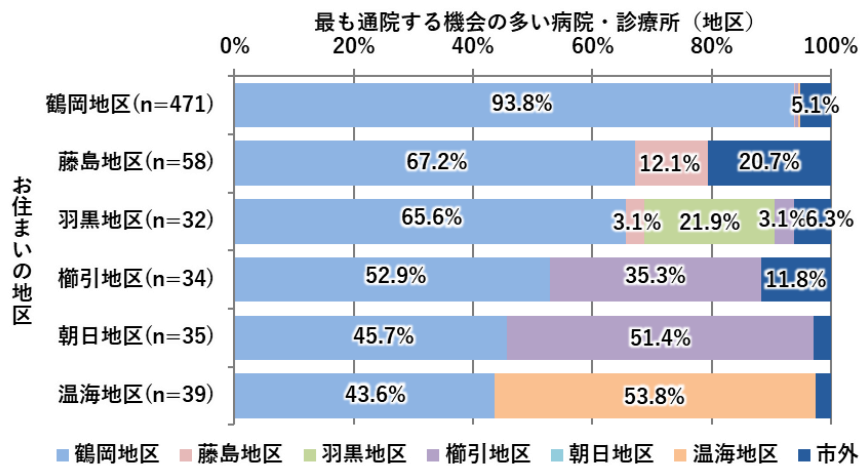
定期的な通院への移動手段

※ (1) で「通院している」と回答した方のみ

※3%未満は非表示

(4) 最も通院する機会の多い通院先

最も通院する機会の多い通院先をみると、鶴岡・藤島・羽黒・櫛引地区では「鶴岡地区」が、朝日地区では「櫛引地区」が、温海地区では居住地区内が最も高い。また、すべての地区において「市外」の回答がみられており、特に藤島地区では 20.7%（12 人）と「鶴岡地区」に次いで 2 番目に高い。



最も通院する機会の多い通院先（地区）

※ (1) で「通院している」と回答した方のみ

※無回答を除く

※3%未満は非表示

最も通院する機会の多い通院先（施設・上位 20 件）

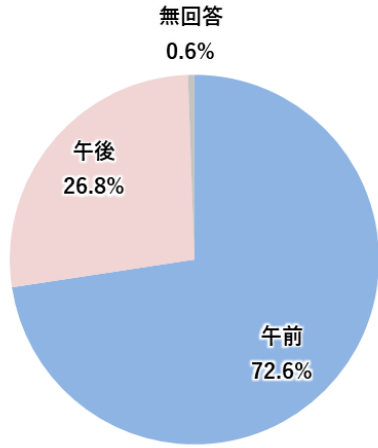
No	施設名	回答数（件）
1	荘内病院	49
2	満天クリニック	37
3	鶴岡協立病院	35
4	日本海総合病院	30
5	ましま内科クリニック	29
6	須田内科クリニック	28
7	中目内科胃腸科医院	19
8	宝田整形外科クリニック	17
9	中村内科胃腸科医院	16
10	温海クリニック	14
11	鶴岡協立病院附属クリニック	14
12	真島医院	13
13	さくまクリニック	12
14	犬塚医院	12
15	佐久間医院	12
16	山内循環器クリニック	12
17	庄南クリニック	11
18	こころの医療センター	10
19	上野ファミリークリニック	10
20	藤吉内科医院	10

(5) 定期的な通院を目的とした外出の出発時間帯と帰宅時間帯

① 自宅を出発する時間帯

自宅を出発する時間帯（午前・午後）をみると、午前が72.6%（522人）と多い。

自宅を出発する時間帯（時間）をみると、9:00～10:00が23.1%（166人）と最も高く、次いで8:00～9:00が22.1%（159人）と続いている。

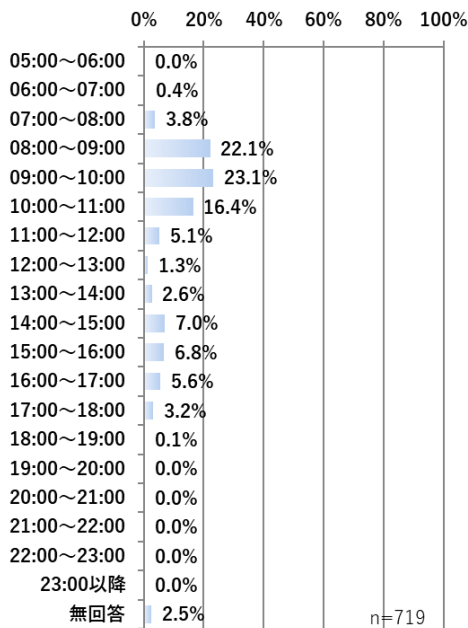


n=719

自宅を出発する時間帯（午前・午後）

	回答数	割合
午前	522	72.6%
午後	193	26.8%
無回答	4	0.6%
合計	719	100.0%

自宅を出発する時間帯（午前・午後）



n=719

出発時間帯（時間）

自宅を出発する時間帯（時間）

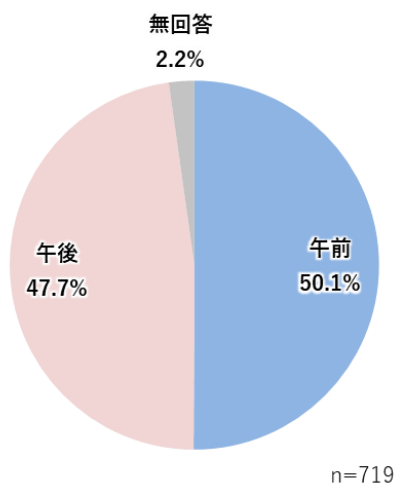
	回答数	割合
05:00～06:00	0	0.0%
06:00～07:00	3	0.4%
07:00～08:00	27	3.8%
08:00～09:00	159	22.1%
09:00～10:00	166	23.1%
10:00～11:00	118	16.4%
11:00～12:00	37	5.1%
12:00～13:00	9	1.3%
13:00～14:00	19	2.6%
14:00～15:00	50	7.0%
15:00～16:00	49	6.8%
16:00～17:00	40	5.6%
17:00～18:00	23	3.2%
18:00～19:00	1	0.1%
19:00～20:00	0	0.0%
20:00～21:00	0	0.0%
21:00～22:00	0	0.0%
22:00～23:00	0	0.0%
23:00以降	0	0.0%
無回答	18	2.5%
合計	719	100.0%

※ (1) で「通院している」と回答した方のみ

② 自宅に到着する時間帯

自宅に到着する時間帯（午前・午後）をみると、午前が50.1%（360人）とやや多い。

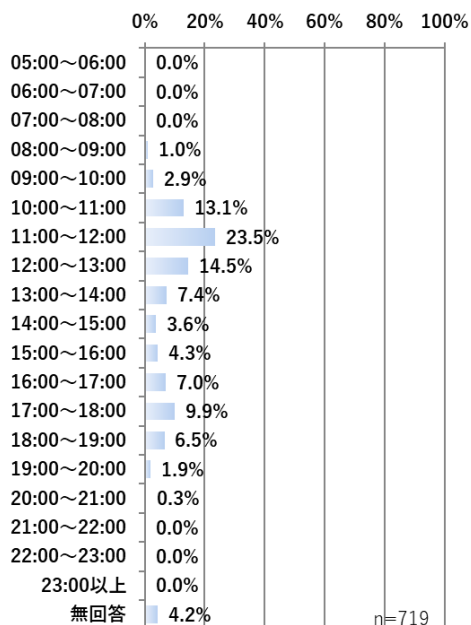
自宅に到着する時間帯（時間）をみると、11:00～12:00が23.5%（169人）と最も高く、12:00～13:00が14.5%（104人）と続いている。



自宅に到着する時間帯（午前・午後）

	回答数	割合
午前	360	50.1%
午後	343	47.7%
無回答	16	2.2%
合計	719	100.0%

自宅に到着する時間帯（午前・午後）



自宅に到着する時間帯（時間）

	回答数	割合
05:00～06:00	0	0.0%
06:00～07:00	0	0.0%
07:00～08:00	0	0.0%
08:00～09:00	7	1.0%
09:00～10:00	21	2.9%
10:00～11:00	94	13.1%
11:00～12:00	169	23.5%
12:00～13:00	104	14.5%
13:00～14:00	53	7.4%
14:00～15:00	26	3.6%
15:00～16:00	31	4.3%
16:00～17:00	50	7.0%
17:00～18:00	71	9.9%
18:00～19:00	47	6.5%
19:00～20:00	14	1.9%
20:00～21:00	2	0.3%
21:00～22:00	0	0.0%
22:00～23:00	0	0.0%
23:00以上	0	0.0%
無回答	30	4.2%
合計	719	100.0%

自宅に到着する時間帯（時間）

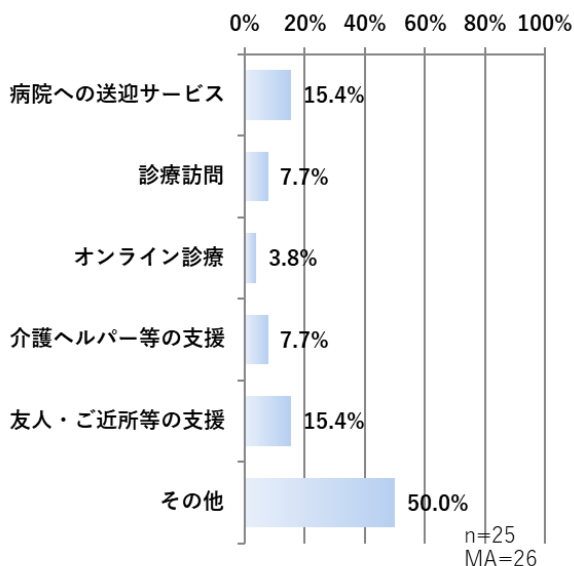
※ (1) で「通院している」と回答した方のみ

(6) 現在利用している通院・往診等の支援サービス

現在利用している通院・往診等の支援サービスをみると、「その他」が 50.0%（13 人）と最も高く、次いで「病院等への送迎サービス」と「友人・ご近所等の支援」が 15.4%（4 人）と続いている。

現在利用している通院・往診等の支援サービス名

No	施設名	回答数	No	施設名	回答数
1	荘内病院	6	15	真島医院	1
2	鶴岡協立病院	4	16	中村内科胃腸科医院	1
3	こころの花クリニック	3	17	さくらこころのクリニック	1
4	満天クリニック	3	18	佐久間医院	1
5	こころの医療センター	2	19	遠藤医院	1
6	ましま内科クリニック	2	20	医療生協	1
7	山内循環器クリニック	2	21	温海クリニック	1
8	須田内科クリニック	2	22	中目内科胃腸科医院	1
9	いずみまちクリニック	1	23	犬塚医院	1
10	さとう内科クリニック	1	24	桂医院	1
11	宝田整形外科クリニック	1	25	日本海総合病院	1
12	岡田医院	1	26	木根泌尿皮膚科	1
13	黒沢眼科医院	1	27	山形大学医学部附属病院	1
14	佐藤医院	1	28	庄南クリニック	1



現在利用している通院・往診等の支援サービスの内容

	回答数	割合
病院への送迎サービス	4	15.4%
診療訪問	2	7.7%
オンライン診療	1	3.8%
介護ヘルパー等の支援	2	7.7%
友人・ご近所等の支援	4	15.4%
その他	13	50.0%
合計	26	100.0%

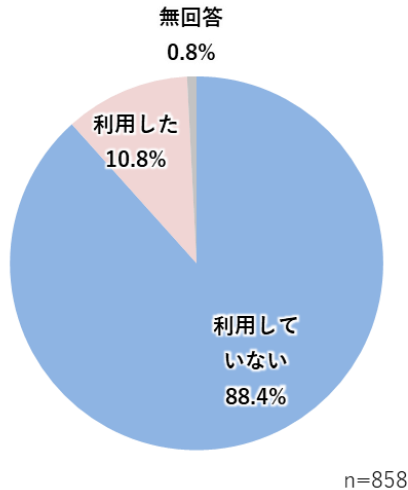
現在利用している通院・往診等の支援サービスの内容

※ (1) で「通院している」と回答した方のみ
※無回答を除く

2-1-5 鶴岡市内循環バスについて ※鶴岡地区住民のみ

(1) 直近3か月以内の鶴岡市内循環バスの利用有無

直近3か月以内の鶴岡市内循環バスの利用有無をみると、「利用していない」が88.4%（758人）、「利用した」が10.8%（93人）となっている。



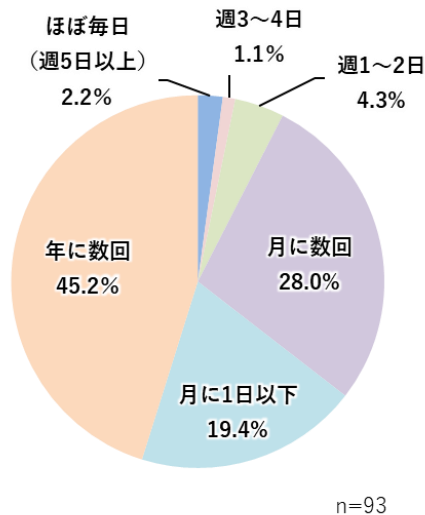
直近3か月以内の鶴岡市内循環バスの利用有無

	回答数	割合
利用していない	758	88.3%
利用した	93	10.8%
無回答	7	0.8%
合計	858	100.0%

直近3か月以内の鶴岡市内循環バスの利用有無

(2) 鶴岡市内循環バスの利用頻度

鶴岡市内循環バスの利用頻度をみると、「年に数回」が45.2%（42人）と最も高く、次いで「月に数回」が28.0%（26人）と続いている。



鶴岡市内循環バスの利用頻度

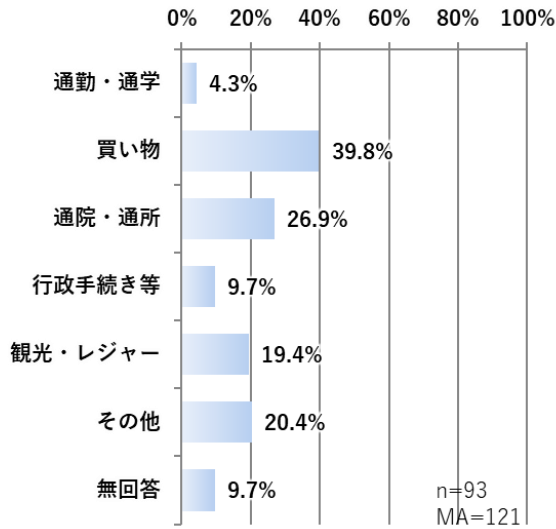
	回答数	割合
ほぼ毎日 (週5日以上)	2	2.2%
週3~4日	1	1.1%
週1~2日	4	4.3%
月に数回	26	28.0%
月に1日以下	18	19.4%
年に数回	42	45.2%
無回答	0	0.0%
合計	93	100.0%

鶴岡市内循環バスの利用頻度

※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

(3) 鶴岡市内循環バスの主な利用目的

鶴岡市内循環バスの主な利用目的をみると、「買い物」が 39.8% (37 人) と最も高く、次いで「通院・通所」が 26.9% (25 人) と続いている。



鶴岡市内循環バスの主な利用目的

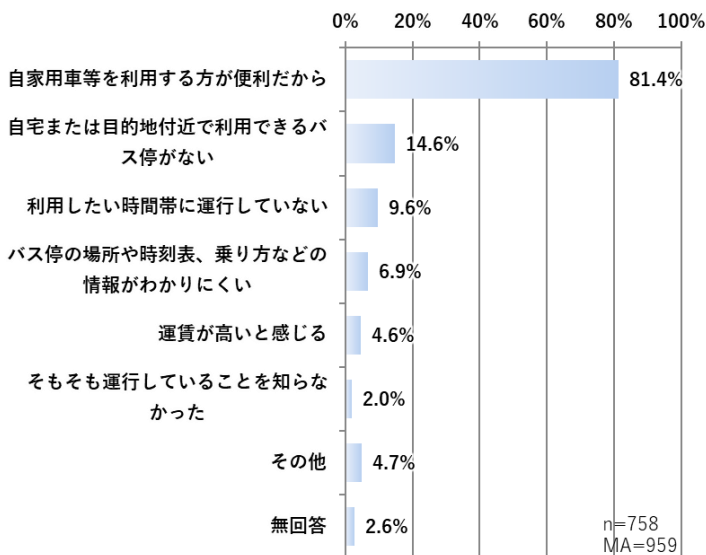
	回答数	割合
通勤・通学	4	4.3%
買い物	37	39.8%
通院・通所	25	26.9%
行政手続き等	9	9.7%
観光・レジャー	18	19.4%
その他	19	20.4%
無回答	9	9.7%
合計	121	130.1%

鶴岡市内循環バスの主な利用目的

※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

(4) 鶴岡市内循環バスを利用しない理由

鶴岡市内循環バスを利用しない理由をみると、「自家用車等を利用するほうが便利だから」が 81.4% (617 人) と最も高く、次いで「自宅または目的地付近で利用できるバス停がない」が 14.6% (111 人) と続いている。



鶴岡市内循環バスを利用しない理由

	回答数	割合
自家用車等を利用するほうが便利だから	617	81.4%
自宅または目的地付近で利用できるバス停がない	111	14.6%
利用したい時間帯に運行していない	73	9.6%
バス停の場所や時刻表、乗り方などの情報がわかりにくい	52	6.9%
運賃が高いと感じる	35	4.6%
そもそも運行していることを知らなかった	15	2.0%
その他	36	4.7%
無回答	20	2.6%
合計	959	126.5%

鶴岡市内循環バスを利用しない理由

※ (1) で「利用していない」と回答した方のみ

鶴岡市内循環バスを利用したい時間帯

時間帯	回答数	時間帯	回答数
05:00～06:00	1	15:00～16:00	2
06:00～07:00	0	16:00～17:00	1
07:00～08:00	10	17:00～18:00	3
08:00～09:00	8	18:00～19:00	8
09:00～10:00	8	19:00～20:00	6
10:00～11:00	7	20:00～21:00	4
11:00～12:00	2	21:00～22:00	4
12:00～13:00	3	22:00～23:00	2
13:00～14:00	2	23:00以降	5
14:00～15:00	6		

利用したい地区または目的地（1/2）

No	地区または目的地名	No	地区または目的地名
1	農林活性化センター	25	砂田町
2	城北町	26	日出
3	砂田町	27	睦町
4	慶應タウンキャンパス	28	宝田整形外科前
5	道形公民館付近	29	鶴岡市高坂
6	道形町	30	田川コミセン前
7	こころの医療センター	31	朝日地区
8	中央高校、スイデンテラスの近く	32	コピア
9	西郷活性化センター	33	茅原町公民館
10	福田	34	下清水
11	ルート112	35	小波渡
12	金峯登山口	36	鶴岡東校付近
13	長者町	37	黒川おうぎ地区
14	鶴岡市大宝寺字中野地区	38	大通り以外の住宅地
15	末広町	39	西郷地区
16	鶴岡高専前	40	民田
17	宝町	41	鶴岡2中前
18	栄地区湯野沢	42	鶴岡サイエンスパークあたり
19	稻生一丁目 旧湯田川街道筋	43	追分石らのところ
20	黄金地区	44	京田
21	湯野浜松並地区	45	茨新田地区
22	若葉町	46	みどり町
23	青柳町公民館	47	千安
24	城南町	48	ムサシ

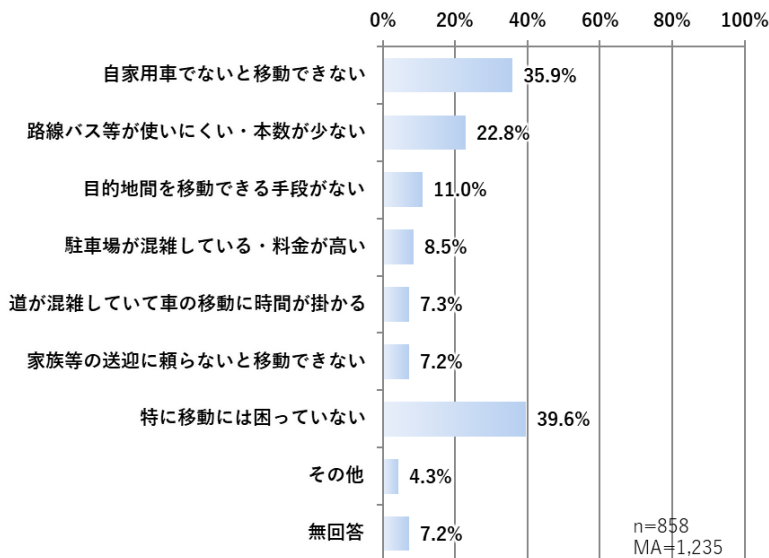
※回答原文を記載

利用したい地区または目的地 (2/2)

No	地区または目的地名	No	地区または目的地名
49	日本国	58	豊浦
50	上郷地区	59	加茂地区
51	道田町	60	由良
52	外内島地区	61	主婦の店ミハラ店
53	三瀬駅前	62	栄地区
54	朝陽町	63	大泉地区
55	小真木原町	64	茅原町
56	斎地区	65	大山地区
57	鶴岡市中山		

(5) 中心市街地内(旧鶴岡市内)の移動で困っていること

中心市街地内（旧鶴岡市内）の移動で困っていることをみると、「特に移動には困っていない」が 39.6%（340 人）と最も高く、次いで「自家用車でないと移動できない」が 35.9%（308 人）と続いている。



中心市街地内（旧鶴岡市内）の移動で困っていること

中心市街地内（旧鶴岡市内）の移動で困っていること

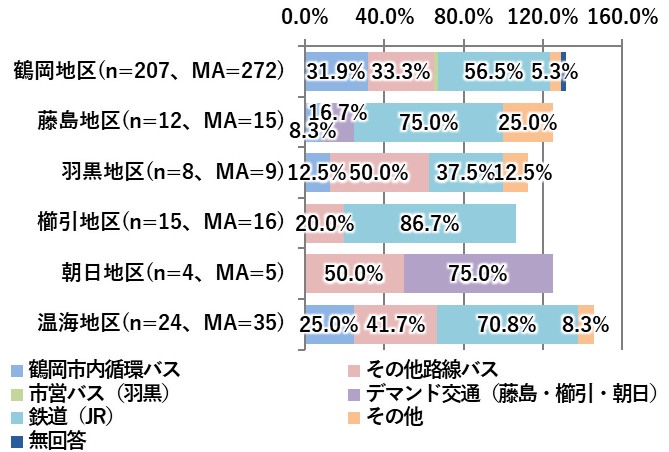
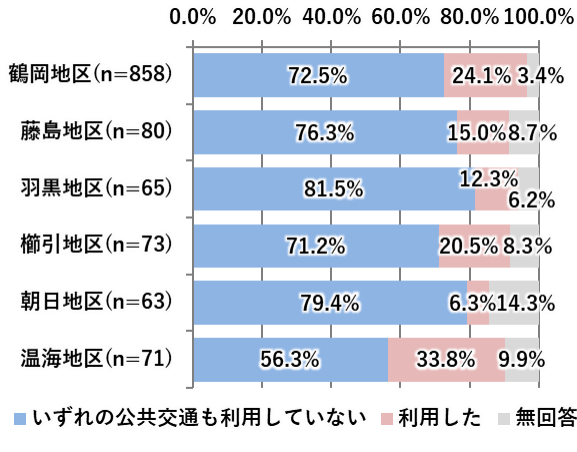
	回答数	割合
自家用車でないと移動できない	308	35.9%
路線バス等が使いにくい・本数が少ない	196	22.8%
目的地間を移動できる手段がない	94	11.0%
駐車場が混雑している・料金が高い	73	8.5%
道が混雑していて車の移動に時間が掛かる	63	7.3%
家族等の送迎に頼らないと移動できない	62	7.2%
特に移動には困っていない	340	39.6%
その他	37	4.3%
無回答	62	7.2%
合計	1,235	143.9%

2-1-6 市内を運行する公共交通について

(1) 直近3カ月以内の公共交通の利用状況

直近3カ月以内の公共交通の利用有無をみると、すべての地区で「いずれの公共交通も利用していない」が5割以上を占めている。

直近3カ月以内に利用した公共交通をみると、鶴岡・藤島・櫛引・温海地区では「鉄道(JR)」が、羽黒地区では「その他路線バス」が、朝日地区では「デマンド交通」が最も高い。



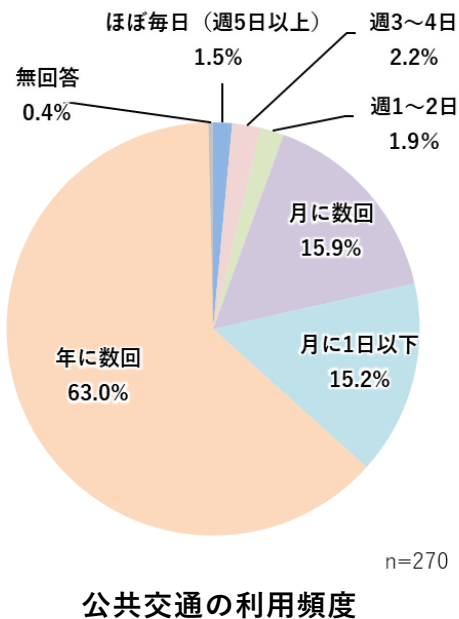
直近3カ月以内の公共交通の利用有無

直近3カ月以内に利用した公共交通

※3%未満は非表示

(2) 公共交通の利用頻度

公共交通の利用頻度をみると、「年に数回」が63.0% (170人)と最も高く、次いで「月に数回」が15.9% (43人)と続いている。



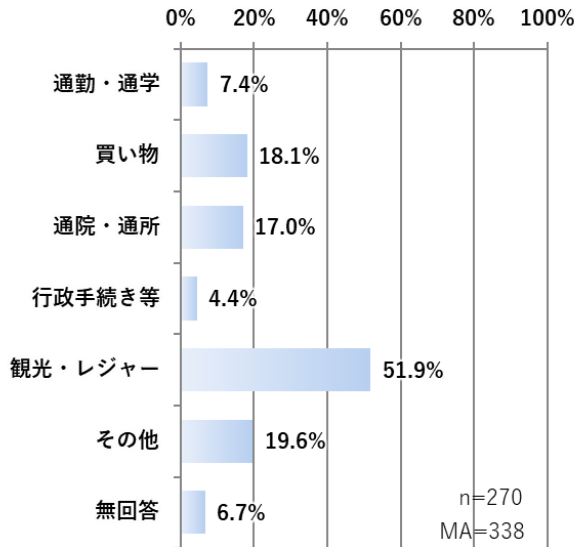
公共交通の利用頻度

	回答数	割合
ほぼ毎日(週5日以上)	4	1.5%
週3~4日	6	2.2%
週1~2日	5	1.9%
月に数回	43	15.9%
月に1日以下	41	15.2%
年に数回	170	63.0%
無回答	1	0.4%
合計	270	100.0%

※(1)で「利用した」と回答した方のみ

(3) 公共交通の利用目的

公共交通の利用目的をみると、「観光・レジャー」が51.9%（140人）と最も高く、次いで「その他」が19.6%（53人）と続いている。



公共交通の利用目的

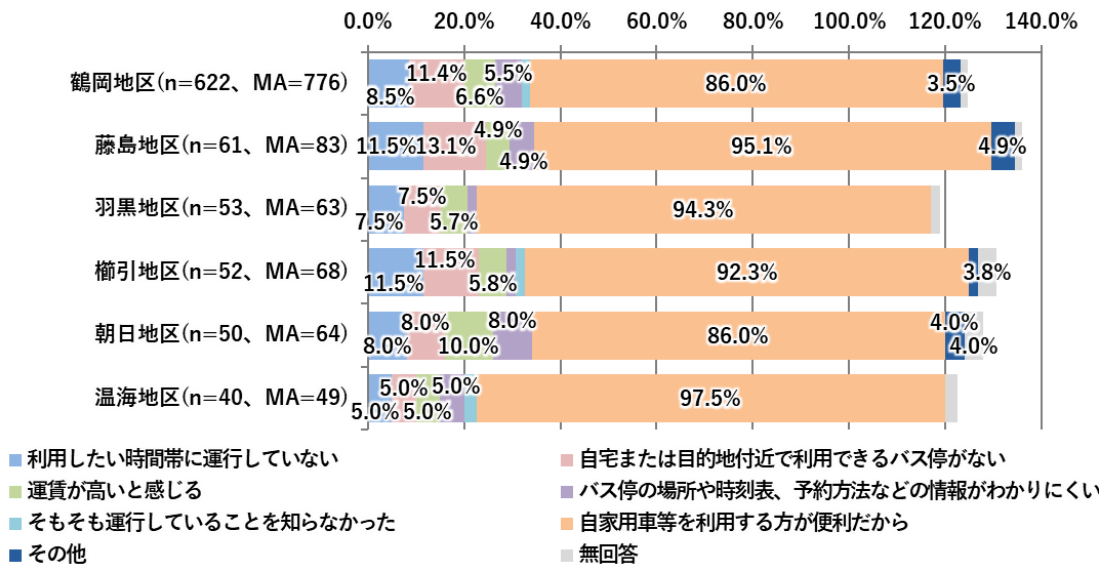
	回答数	割合
通勤・通学	20	7.4%
買い物	49	18.1%
通院・通所	46	17.0%
行政手続き等	12	4.4%
観光・レジャー	140	51.9%
その他	53	19.6%
無回答	18	6.7%
合計	338	125.2%

公共交通の利用目的

※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

(4) 公共交通を利用しない理由

公共交通を利用しない理由をみると、すべての地区で「自家用車等を利用する方が便利だから」が8割以上を占めており、鶴岡・藤島・羽黒・榊引・温海地区では「自宅または目的地付近で利用できるバス停がない」が続いている。朝日地区では「運賃が高いと感じる」の回答が2番目に多い。



公共交通を利用しない理由

※ (1) で「いずれの公共交通も利用していない」と回答した方のみ

※3%未満は非表示

公共交通を利用したい時間帯

時間帯	回答数	時間帯	回答数
05:00～07:00	0	15:00～16:00	1
07:00～08:00	10	16:00～17:00	1
08:00～09:00	7	17:00～18:00	4
09:00～10:00	4	18:00～19:00	5
10:00～11:00	10	19:00～20:00	5
11:00～12:00	1	20:00～21:00	4
12:00～13:00	1	21:00～22:00	6
13:00～14:00	3	22:00～23:00	4
14:00～15:00	3	23:00以降	4

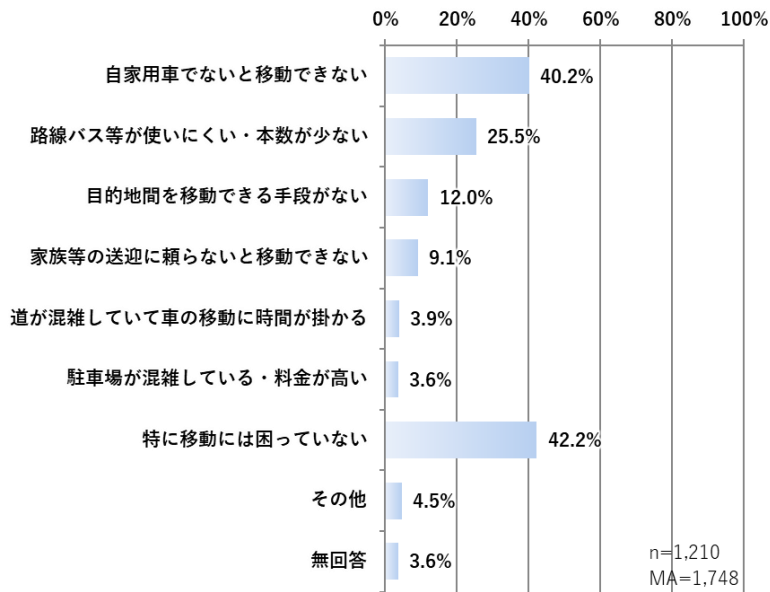
利用したい地区または目的地名

No	地区または目的地名	No	地区または目的地名
1	馬渡	28	青龍寺
2	農業活性化センター	29	朝日
3	第四学区	30	鶴岡2中前
4	砂田町	31	鶴岡サイエンスパークあたり
5	慶應タウンキャンパス	32	追分石らのところ
6	羽黒町瑞穂地区	33	鶴岡市役所
7	道形町	34	長沼地区
8	日本海病院	35	川代
9	斎地区	36	中山
10	和名川	37	茨新田地区
11	西郷活性化センター	38	日本国
12	スーパーの近く	39	上郷地区
13	末広町	40	荘内病院
14	由良	41	八栄島地区
15	湯野沢	42	添川
16	稲生一丁目 旧湯田川街道筋	43	泉野
17	栃屋	44	道田町
18	青柳町公民館	45	外内島地区
19	美原町西	46	栄地区
20	鶴岡市高坂	47	コピア
21	大川渡	48	大泉地区
22	黒川 大杉	49	大山地区
23	小真木原町	50	加茂
24	鶴岡の西目	51	三瀬駅前
25	福栄地区	52	茅原町
26	大西町	53	主婦の店美原店
27	西郷地区		

※回答原文を記載

(5) 地域内の移動で困っていること

地域内の移動で困っていることをみると、「特に移動には困っていない」が42.2%（511人）と最も高く、次いで「自家用車でないと移動できない」が40.2%（486人）と続いている。



地域内の移動で困っていること

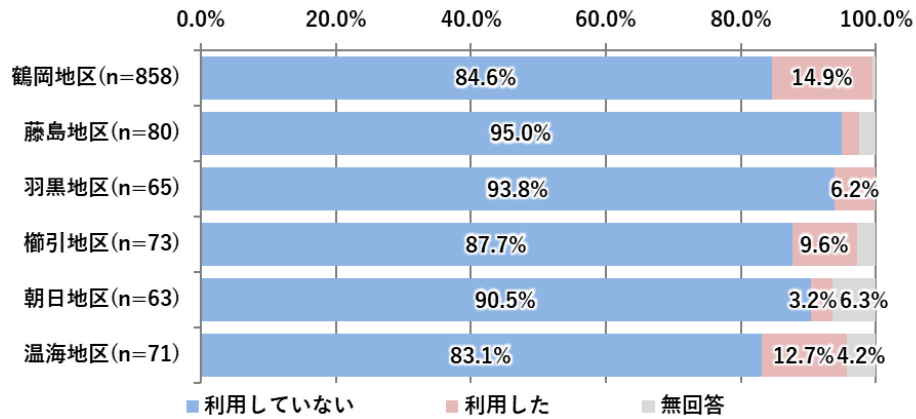
	回答数	割合
自家用車でないと移動できない	486	40.2%
路線バス等が使いにくい・本数が少ない	308	25.5%
目的地間を移動できる手段がない	145	12.0%
家族等の送迎に頼らないと移動できない	110	9.1%
道が混雑していて車の移動に時間が掛かる	47	3.9%
駐車場が混雑している・料金が高い	43	3.6%
特に移動には困っていない	511	42.2%
その他	55	4.5%
無回答	43	3.6%
合計	1,748	144.5%

地域内の移動で困っていること

2-1-7 一般タクシーについて

(1) 直近3カ月以内の一般タクシーの利用有無

直近3カ月以内の一般タクシーの利用有無をみると、すべての地区で「利用していない」が8割以上を占めている。

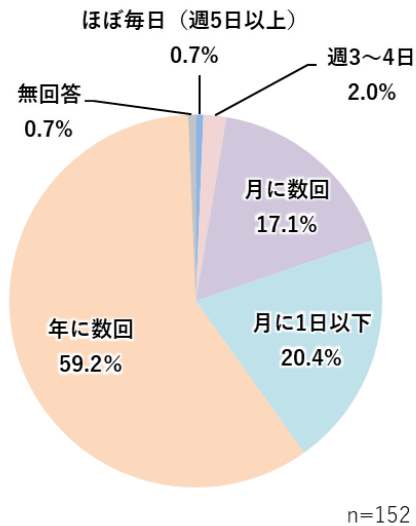


直近3カ月以内の一般タクシーの利用有無

※3%未満は非表示

(2) 一般タクシーの利用頻度

一般タクシーの利用頻度をみると、「年に数回」が59.1%（90人）と最も高く、次いで「月に1回以下」が20.4%（31人）と続いている。



一般タクシーの利用頻度

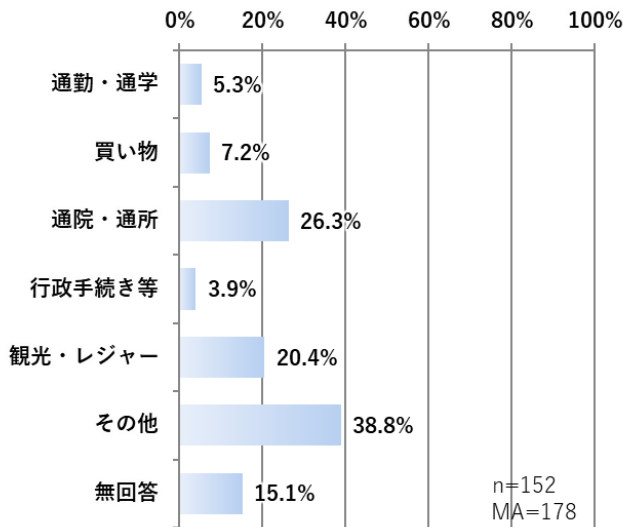
	回答数	割合
ほぼ毎日（週5日以上）	1	0.7%
週3～4日	3	2.0%
週1～2日	0	0.0%
月に数回	26	17.1%
月に1回以下	31	20.4%
年に数回	90	59.2%
無回答	1	0.7%
合計	152	100.0%

一般タクシーの利用頻度

※(1)で「利用した」と回答した方のみ

(3) 一般タクシーの利用目的

一般タクシーの利用目的をみると、「その他」が 38.8%と最も高く、次いで「通院・通所」が 26.3% (40 人) と続いている。



一般タクシーの利用目的

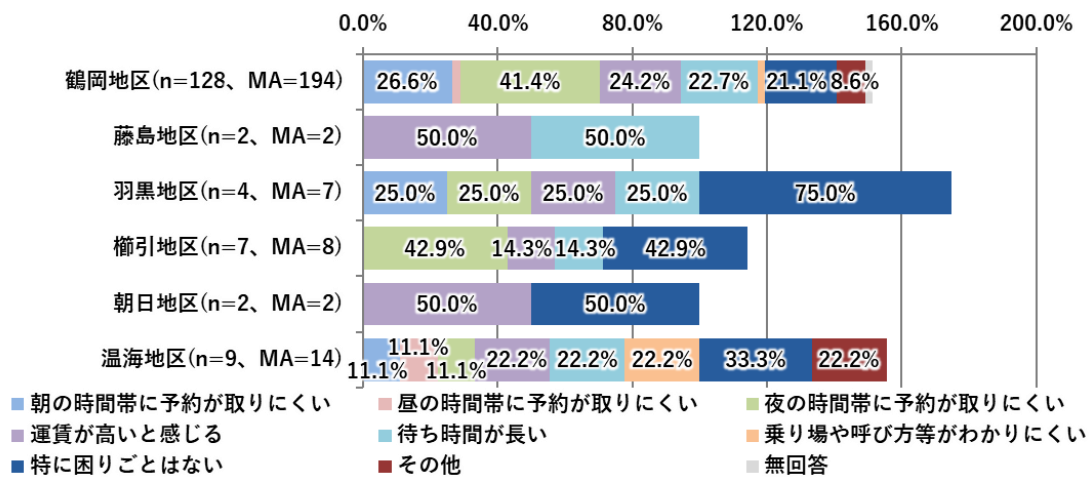
	回答数	割合
通勤・通学	8	5.3%
買い物	11	7.2%
通院・通所	40	26.3%
行政手続き等	6	3.9%
観光・レジャー	31	20.4%
その他	59	38.8%
無回答	23	15.1%
合計	178	117.1%

一般タクシーの利用目的

※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

(4) 一般タクシーの利用で困っていること

一般タクシーの利用で困っていることをみると、鶴岡・櫛引地区では「夜の時間帯に予約が取りにくい」が最も高い。藤島地区では「運賃が高いと感じる」と「待ち時間が長い」にそれぞれ 1 人が回答し、朝日地区では「運賃が高いと感じる」と「特に困りごとはない」にそれぞれ 1 人が回答している。羽黒・温海地区では「特に困りごとはない」が最も高い。



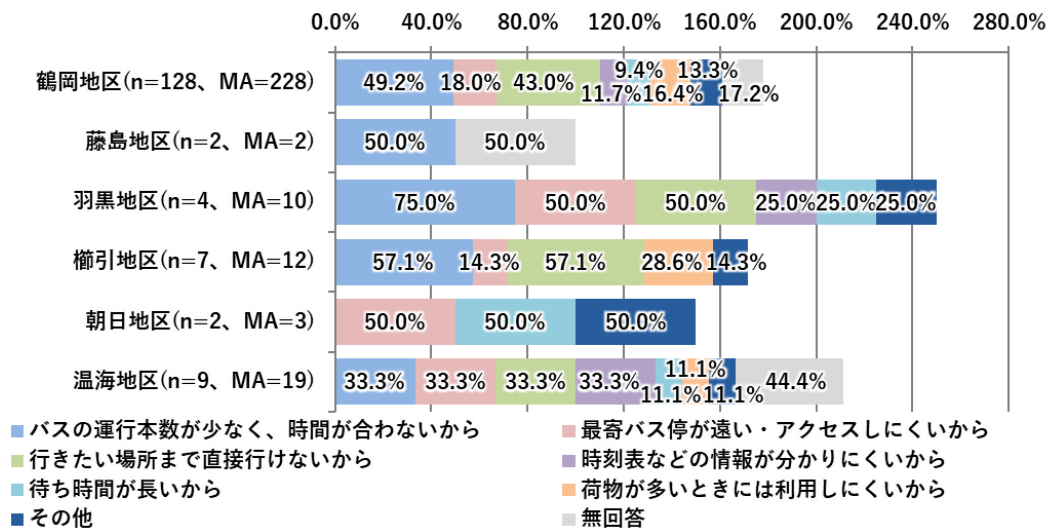
一般タクシーの利用で困っていること

※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

※3%未満は非表示

(5) 路線バス等を利用せずに一般タクシーを利用している理由

路線バス等を利用せずに一般タクシーを利用している理由をみると、鶴岡・羽黒・櫛引・温海地区では「バスの運行本数が少なく、時間が合わないから」が最も高い。藤島地区では「バスの本数が少なく、時間が合わないから」、朝日地区では「最寄りバス停が遠い・アクセスしにくいから」「待ち時間が長いから」「その他」にそれぞれ1人が回答している。



路線バス等を利用せずに一般タクシーを利用している理由

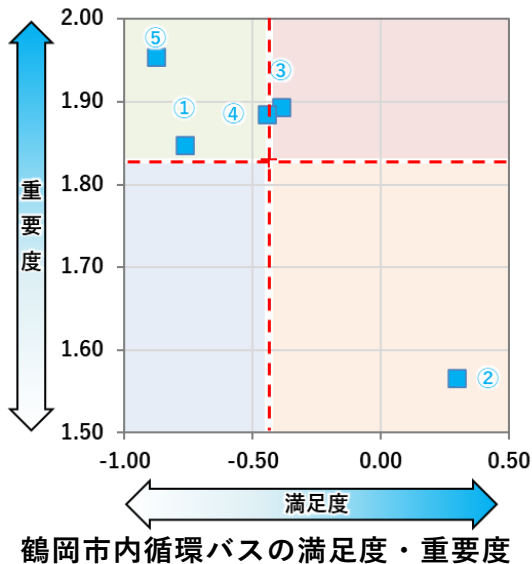
※ (1) で「利用した」と回答した方のみ

※3%未満は非表示

2-1-8 鶴岡市内循環バス、その他の路線バス、地域内交通の満足度・重要度について

(1) 「鶴岡市内循環バス」の満足度・重要度

鶴岡市内循環バスの満足度・重要度をみると、「時間（ダイヤ・運行時間帯など）」「運行情報等のわかりやすさ」「学生や高齢者等に対する支援」は重要度が高くなっているが、満足度が低い状況にある。一方で、「料金（運賃・支払方法など）」に対する満足度は高くなっている。

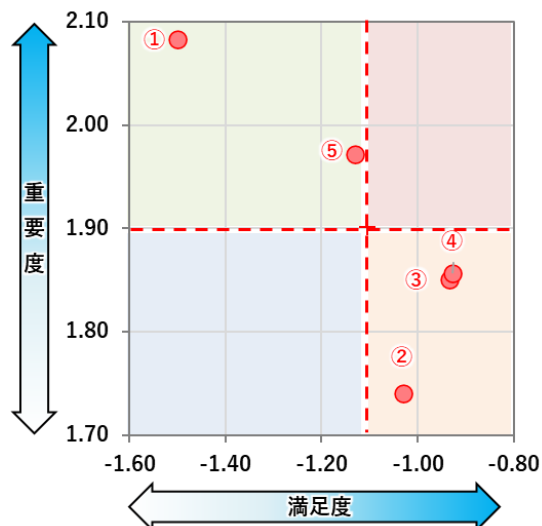


鶴岡市内循環バスの満足度・重要度

項目	満足度	重要度
①時間（ダイヤ・運行時間帯など）	-0.76	1.85
②料金（運賃・支払方法など）	0.30	1.57
③バス停（設置箇所・待合環境など）	-0.39	1.89
④運行情報等のわかりやすさ	-0.45	1.89
⑤学生や高齢者等に対する支援	-0.88	1.95
平均	-0.43	1.83

(2) 「その他路線バス」の満足度・重要度

「時間（ダイヤ・運行時間帯など）」「学生や高齢者等に対する支援」は、重要度が高くなっているが、満足度が低い状況。一方で、「バス停（設置箇所・待合環境など）」「運行情報等のわかりやすさ」に対する満足度は高くなっている。



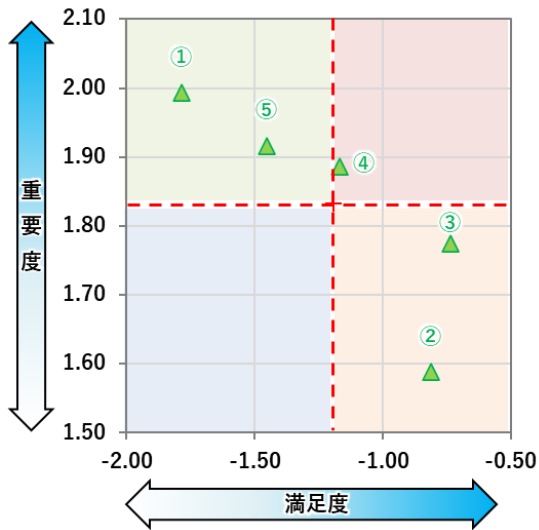
その他路線バスの満足度・重要度

項目	満足度	重要度
①時間（ダイヤ・運行時間帯など）	-1.50	2.08
②料金（運賃・支払方法など）	-1.03	1.74
③バス停（設置箇所・待合環境など）	-0.93	1.85
④運行情報等のわかりやすさ	-0.93	1.86
⑤学生や高齢者等に対する支援	-1.13	1.97
平均	-1.10	1.90

その他路線バスの満足度・重要度

(3) 地域内交通の満足度・重要度

「時間（運行時間帯など）」「利用しやすさ（予約方法など）」は、重要度が高くなっているが、満足度が低い状況。一方で、「料金（運賃支払い方法など）」「乗降場所（場所・待合環境など）」に対する満足度は高くなっている。



地域内交通の満足度・重要度

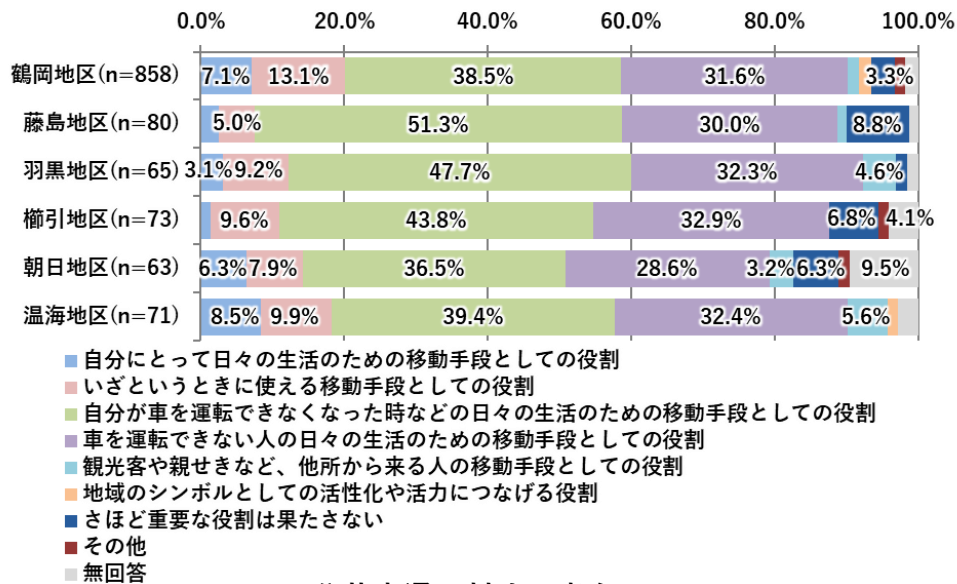
項目	満足度	重要度
①時間（運行時間帯など）	-1.78	1.99
②料金（運賃・支払方法など）	-0.81	1.59
③乗降場所（場所・待合環境など）	-0.73	1.77
④運行情報等のわかりやすさ	-1.17	1.89
⑤利用しやすさ（予約方法など）	-1.45	1.92
平均	-1.19	1.83

地域内交通の満足度・重要度

2-1-9 今後の鶴岡市の公共交通のあり方について

(1) 公共交通に対する考え

公共交通に対する考えをみると、公共交通の役割は、全ての地区で「自分が車を運転できなくなった時などの日々の生活のための移動手段としての役割」が最も高く、次いで「車を運転できない人の日々の生活のための移動手段としての役割」と続いている。

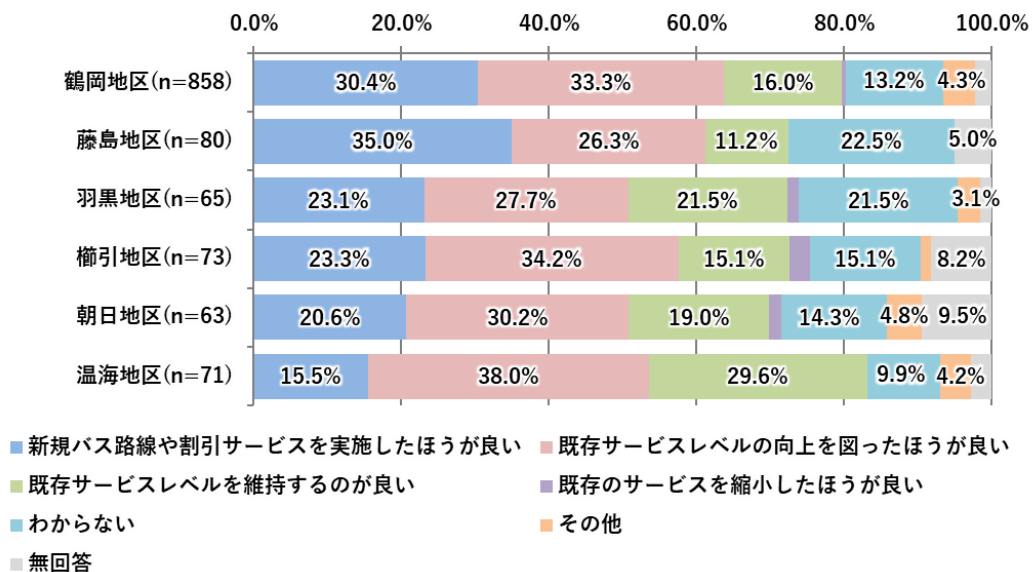


公共交通に対する考え

※3%未満は非表示

(2) 今後の鶴岡市全体の公共交通のあり方

鶴岡市全体の公共交通のあり方をみると、鶴岡・羽黒・櫛引・朝日・温海地区では「既存サービスレベルの向上を図ったほうが良い」が、藤島地区では新規バス路線や割引サービスを実施したほうが良い」が最も高い。

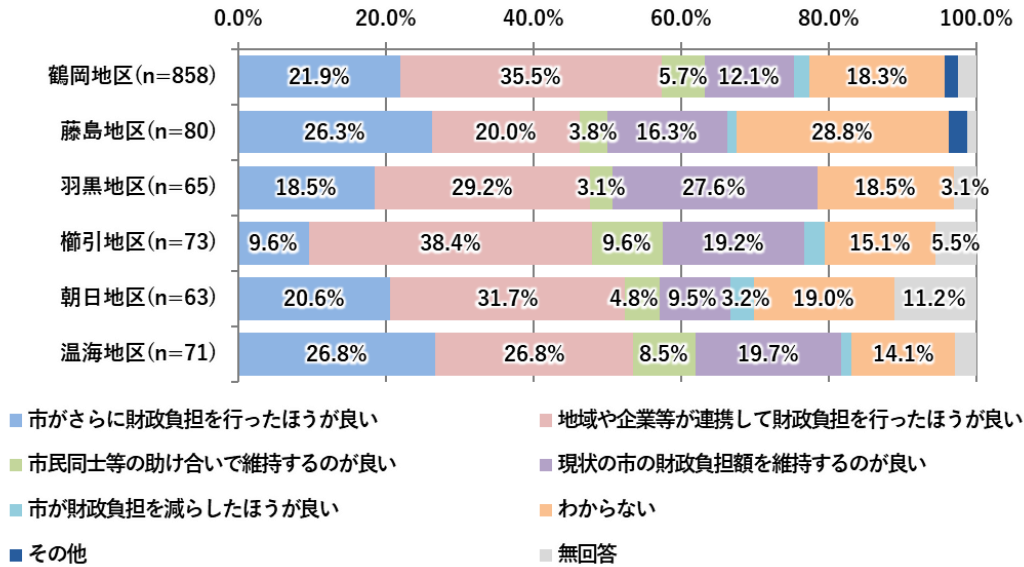


今後の鶴岡市全体の公共交通のあり方

※3%未満は非表示

(3) 今後の鶴岡市全体の公共交通に対する財政負担のあり方

今後の鶴岡市全体の公共交通に対する財政負担のあり方をみると、鶴岡・羽黒・櫛引・朝日地区では「地域や企業等が連携して財政負担を行ったほうが良い」が、藤島地区では「わからない」が、温海地区では「地域や企業等が連携して財政負担を行ったほうが良い」と「市がさらに財政負担を行ったほうが良い」が最も高い。



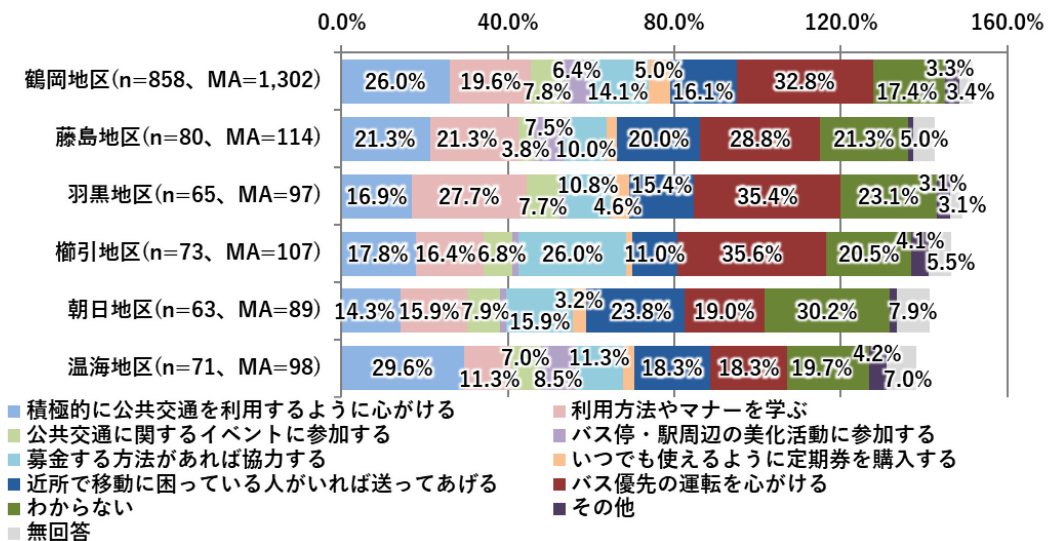
今後の鶴岡市全体の公共交通に対する財政負担のあり方

※3%未満は非表示

(4) 「公共交通の維持」のために必要な取り組み

① 自身が実施できそうな取り組み

自身が実施できそうな取り組みをみると、鶴岡・藤島・羽黒・櫛引地区では「バス優先の運転を心がける」が、朝日地区では「わからない」が、温海地区では「積極的に公共交通を利用するように心がける」が最も高い。

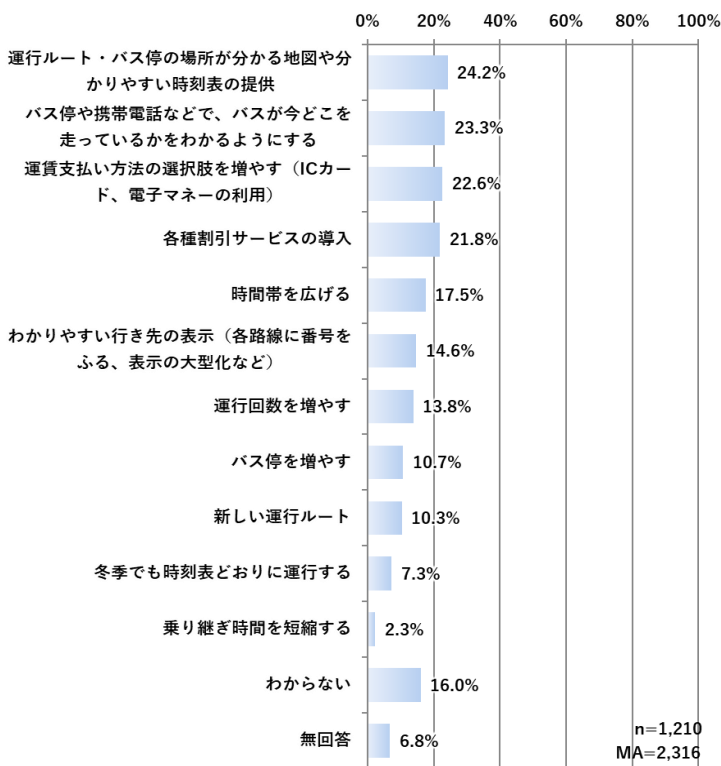


「公共交通の維持」のために自身ができそうな取り組み

※3%未満は非表示

② 利用者増加のために実施してほしい取り組み

利用者増加のために実施してほしい取り組みをみると、「運行ルート・バス停の場所がわかる地図や分かりやすい時刻表の提供」が 24.2%（293 人）と最も高く、次いで「バス停や携帯電話などで、バスが今どこを走っているかをわかるようにする」が 23.3%（282 人）と続いている。



利用者増加のために実施してほしい取り組み

	回答数	割合
運行ルート・バス停の場所がわかる地図や分かりやすい時刻表の提供	293	24.2%
バス停や携帯電話などで、バスが今どこを走っているかをわかるようにする	282	23.3%
運賃支払い方法の選択肢を増やす（ICカード、電子マネーの利用）	274	22.6%
各種割引サービスの導入	264	21.8%
時間帯を広げる	212	17.5%
わかりやすい行き先の表示（各路線に番号をふる、表示の大型化など）	177	14.6%
運行回数を増やす	167	13.8%
バス停を増やす	130	10.7%
新しい運行ルート	125	10.3%
冬季でも時刻表どおりに運行する	88	7.3%
乗り継ぎ時間を短縮する	28	2.3%
わからない	194	16.0%
無回答	82	6.8%
合計	2,316	191.4%

利用者増加のために実施してほしい取り組み

新しい運行ルート（1/4）

No	起点	終点
1	栄地区内	鶴岡駅前
2	鶴岡駅前	こころの医療センター
3	鶴岡駅前	庄内空港
4	スーパー	スーパー
5	鶴岡駅前	櫛引
6	旧庁舎、公民館	荘内病院
7	エスモール	田本小路
8	白山	鶴岡駅酒田行き
9	物産館	エスモール
10	鶴岡駅前	昭和通り

新しい運行ルート (2/4)

No	起点	終点
11	物産館	日本海病院
12	エスモール	日本海病院
13	鶴岡駅前	スイデンテラス
14	各駅	主要施設
15	エスモール	外内島
16	城北町	面の山
17	鶴岡駅前	庄内循環
18	鶴岡駅前	鶴岡駅前
19	和名川	藤島マックスバリュ
20	致道館中学校経由	鶴岡中央高校
21	エスモール	余慶町からちわら
22	鶴岡駅前	各村落
23	市内全循環	市内全循環
24	長沼	鶴岡駅前
25	北京田	荘内病院
26	城北町	面野山
27	谷定	エスモール
28	鶴岡駅前	各高校前
29	観光客用に、駅～観光コース	駅や空港等
30	鶴岡駅前	羽越線より北部
31	エスモール	茅原
32	由良	加茂
33	鶴岡駅前	昭和通り
34	茅原	鶴岡駅前
35	外内島	鶴岡駅前
36	稻生一丁目 皇太神宮	エスモール
37	湯野沢	銀座通り
38	エスモール	三瀬駅前
39	鶴岡駅前	析屋
40	藤島	渡前
41	中山	鶴岡駅前
42	城南町かとのじま	各高校前
43	日出	鶴岡駅前
44	美原町	羽黒

新しい運行ルート (3/4)

No	起点	終点
45	ラーメン屋	ラーメン屋
46	櫛引	鶴岡駅前
47	北茅原町	鶴岡駅前
48	黒川	庄交モール
49	ヤマザワ鶴岡茅原店付近	鶴岡駅前
50	朝日庁舎	エスモール
51	茅原公民館	満天クリニック
52	藤島	鶴岡駅前
53	庄内空港	加茂水族館
54	海側の地域	市街の病院
55	鶴岡駅前	こころの医療センター
56	鶴岡駅前	鶴岡駅前
57	鶴岡駅前	大山
58	櫛引	櫛引
59	こころの医療センター	モスバーガー
60	ミーナ起点で黄金地区周り	市内
61	町内公民館	医療機関
62	西茅原	長寿温泉
63	エスモール	藤島駅前
64	西郷	荘内病院
65	黄金	伊勢原
66	櫛引庁舎	湯田川
67	由良	鶴岡駅前
68	小真木原	鶴岡サイエンスパーク
69	市内中心部から	大山
70	エスモール	鶴岡駅裏全般、特に茅原周辺を循環するルート
71	あつみ	鶴岡駅前
72	大泉あたりから市役所	鶴岡駅前
73	京田	鶴岡市役所
74	清川	鶴岡市役所
75	由良	エスモール
76	羽黒	大山

新しい運行ルート (4/4)

No	起点	終点
77	川代地区	各高校前
78	エスモール	鶴岡駅着裏経由茅原まで(循環型)
79	中山	鶴岡市役所
80	鶴岡駅前	湯殿山
81	温海	鶴岡駅前
82	鶴岡駅前	西郷地区
83	スーパー	田川
84	美咲	エスモール
85	地元	医療機関
86	三瀬	市内
87	庄内空港	大山
88	自宅付近	各高校前
89	高田	市内
90	茅原	鶴岡駅前
91	湯野浜	大山
92	茅原(心の医療センター)	鶴岡公園
93	温海	鶴岡市内
94	集落	市内
95	嵐ヶ関	鶴岡駅前
96	鶴岡駅前	庄内循環
97	藤島	鶴岡駅前
98	八色木	鶴岡駅前
99	添川	鶴岡駅前
100	手向	藤島

※回答原文を記載

※無回答を除く

運行回数を増やす

No	路線名	回答数			
		朝	昼	夕	夜
1	鶴岡市内循環 (A・B・Cコース)	10	6	12	10
2	鶴岡酒田	3	3	3	2
3	湯野浜温泉 (加茂・善宝寺経由)	4	4	4	6
4	あつみ温泉	5	8	8	7
5	湯田川・越沢・坂の下	3	2	5	0
6	羽黒山頂	6	1	1	3
7	朝日庁舎	2	1	2	3
8	ふじつる号	0	1	1	3

※無回答を除く

時間帯を広げる (1/4)

No	路線名	開始時間	終了時間
1	朝日地域	7:00	20:00
2	市内循環バス	18:00	0:00
3	市内循環バス Aコース	16:00	18:00
4	市内循環バス Aコース	12:00	20:00
5	櫛引	7:00	20:00
6	鶴岡駅から美咲まで	18:00	22:00
7	湯田川線	13:00	19:00
8	酒田	7:00	22:00
9	あつみ温泉	13:00	18:00
10	市内循環バス	10:00	18:00
11	市内循環バス	19:00	21:00
12	あつみ温泉	19:00	22:00
13	なんでもいいです！電車、バス	23:00	0:00
14	羽黒線	7:00	22:00
15	市内循環バス	7:30	23:00
16	駅から市内繁華街	21:00	22:45
17	駅や空港への発着の路線	5:00	21:30
18	市内循環バス	6:00	20:00

時間帯を広げる (2/4)

No	路線名	開始時間	終了時間
19	稲生、小真木ルート	7:00	21:00
20	朝日地域	7:00	20:00
21	路線名は分かりませんが 鶴岡駅から大山地区に行くルートです	10:00	22:00
22	市内循環バス A コース	7:00	18:00
23	市内循環バス	7:20	18:45
24	各路線	18:00	22:00
25	全路線	7:00	23:00
26	地域各路線	7:00	22:00
27	学生が登校時に乗れるルート	7:00	19:00
28	駅前～昭和通りからの市内循環	17:00	23:00
29	通勤に資すると思われる区間の時間帯	6:30	18:30
30	湯田川線	17:00	18:00
31	市内循環バス	7:00	17:00
32	朝日庁舎	7:30	17:45
33	ナンバースクールと小真木原、ナンバースクールと駅	18:00	22:00
34	由良	11:00	15:00
35	市内循環バス C コース	20:00	22:00
36	双葉町	9:30	11:00
37	家中新町から双葉町	7:30	19:00
38	市内循環バス C コース	17:30	21:30
39	鶴岡駅前発着の各路線	20:00	21:00
40	鶴岡協立病院前	13:30	17:00
41	市内循環バス	7:00	20:00
42	学生が登校時に乗れるルート	7:00	18:00
43	朝日地域	8:00	10:00
44	櫛引	8:00	18:00
45	市内循環バス	7:30	18:00
46	宝田整形外科前から美原町	14:30	19:00
47	加茂	18:00	20:00
48	落合線	18:30	19:30

時間帯を広げる (3/4)

No	路線名	開始時間	終了時間
49	朝日地域	20:00	0:00
50	市内から旧市内への路線、市内循環	19:00	21:30
51	市内循環バス	8:00	19:00
52	市内循環バス	18:00	21:00
53	酒田	11:00	15:00
54	朝日地域	18:00	21:30
55	市内循環バス	18:00	21:00
56	駅前や銀座通り	19:00	22:00
57	市内循環バス	18:00	19:00
58	加茂	18:30	19:30
59	あつみ温泉	7:00	19:00
60	朝日地域	8:00	18:30
61	あつみ温泉	12:00	18:00
62	全路線	15:00	18:00
63	観光物産館	7:00	21:00
64	鶴岡駅前発着の各路線	5:30	23:10
65	駅方面に向かう路線	17:00	21:00
66	湯田川線	11:00	17:00
67	朝日地域	22:00	0:00
68	エスモール	7:00	22:00
69	朝日庁舎	9:00	18:00
70	朝日庁舎	16:00	16:30
71	市内循環バス	7:00	19:00
72	市内循環バス	18:00	22:00
73	あつみ温泉	6:00	20:00
74	あつみ温泉	7:00	20:00
75	櫛引	7:00	23:00
76	市内循環バス	19:00	21:00
77	市内循環バス	7:30	19:00
78	鶴岡駅やエスモール、飲酒ができる 郊外の飲食店から住宅地区の最寄り	18:00	20:00
79	櫛引	20:00	21:00

時間帯を広げる (4/4)

No	路線名	開始時間	終了時間
80	市内循環バス C コース	18:00	21:00
81	全路線	6:00	23:00
82	あつみ温泉	17:00	19:00
83	あつみ温泉	8:00	21:00
84	学生が登校時に乗れるルート	7:30	18:30
85	昭和通りから駅前	21:00	21:00
86	温泉におかうバス	19:00	21:00
87	市内循環バス	18:00	19:00
88	あつみ温泉	7:00	20:00
89	羽黒線	8:00	17:00
90	藤島	17:00	19:00
91	市内循環バス	18:00	22:30
92	市内循環バス	20:00	0:00
93	由良	7:00	23:00
94	鶴岡駅・湯野浜温泉	16:00	20:00
95	三中前	7:30	18:00
96	落合線	6:00	21:00
97	市内 夜の時間	20:00	22:00
98	湯野浜線	7:30	22:30
99	あつみ温泉	7:00	6:00
100	三川イオン～エスモール	6:00	8:00

※回答原文を記載

※無回答を除く

バス停を増やす

No	バス停名	No	バス停名
1	大泉郵便局	34	由良
2	西郷農業活性化センター	35	新形町カネタ前
3	中田	36	金峰登り口
4	八栄島活動センター前	37	大山町内
5	鬼がらし前	38	西郷地区
6	幹線道路以外にも入り込んで欲しい	39	各教育施設の付近
7	新形町	40	満天クリニック前
8	藤島マックスバリュ前	41	青龍寺
9	余慶町	42	鶴岡サイエンスパーク前
10	エンジェル写真館前	43	出羽庄内国際村前
11	全地域	44	追分石前
12	藤島薬王堂前	45	小真木原
13	ルート112号沿い	46	しゃきっと前
14	高校前	47	各地域のコミセン
15	大宝寺字中野	48	各スーパー前にとまれるようにする
16	北茅原地域	49	三瀬駅前
17	谷口	50	荘内病院など
18	黒川地区	51	馬町下
19	ナンバーズスクール発着	52	茅原八幡神社前
20	青柳さいわい公園前	53	日本国
21	コープ千石店	54	みどり町市営住宅前
22	稲生皇太神宮前	55	鶴岡公園
23	致道かん高校の近く	56	ぽっぽの湯
24	かるむの里前	57	羽黒ストア前
25	城南町出光前	58	道形町内
26	ジェイ・マルエー鶴岡南店	59	道形公民館前
27	下山添	60	城北町
28	高坂通り	61	大山駅前
29	伊勢原町 県卸前	62	スーパー前
30	櫛引ヤマザワ店で	63	主婦の店美原町店
31	工業技術センター庄内試験場前	64	コピー
32	一日、七日町周辺	65	ヤマザワ鶴岡茅原店前
33	ジェイ・マルエー		

※回答原文を記載

※無回答を除く

乗り継ぎ時間を短縮する

No	バス停名	No	バス停名
1	駅や空港への路線バス	7	JRとの乗り継ぎを便利にする
2	庄内空港と市内循環のアクセスを良くしてほしい	8	茅原
3	湯野浜いき	9	市役所
4	鶴岡酒田線	10	エスモール
5	イオンみかわ	11	鶴岡公園
6	庄内観光物産館、		

※回答原文を記載

※無回答を除く

2-2 高校生アンケート

2-2-1 調査概要

高校アンケートの実施概要は以下のとおり。

高校生アンケートの実施概要

項目	概要
調査対象	○市内の高校（下記表を参照）
実施方法	○WEBによる郵送、回収
配布票数	○9票
回収票数	○6票（回収率：66.7%）

調査対象高校

No	回答	学校名	所在地
1	○	山形県立加茂水産高等学校	山形県鶴岡市加茂大崩 595
2		山形県立庄内農業高等学校	山形県鶴岡市藤島古楯跡 221
3		山形県立致道館高等学校	山形県鶴岡市若葉町 16-5
4	○	山形県立鶴岡工業高等学校	山形県鶴岡市家中新町 8-1
5	○	山形県立鶴岡中央高等学校	山形県鶴岡市大宝寺日本国 410
6		学校法人齋藤学園 鶴岡東高等学校	山形県鶴岡市切添町 22-30
7	○	学校法人羽黒学園 羽黒高等学校	山形県鶴岡市羽黒町手向薬師沢 198
8	○	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校	山形県鶴岡市井岡字沢田 104
9	○	山形県立鶴岡高等養護学校	山形県鶴岡市稻生 1-20-33

2-2-2 学校の概要と通学の実態について

(1) 学年別の在校生徒数

特に羽黒高等学校や鶴岡中央高等学校の生徒数が多く、一方で加茂水産高等学校や鶴岡高等養護学校では生徒数が数十人となっている。

学年別の在籍生徒数

高校名	1年生	2年生	3年生	合計
鶴岡中央高等学校	232	193	214	639
鶴岡工業高等専門学校	163	161	168	492
鶴岡工業高等学校	150	148	154	452
加茂水産高等学校	22	20	17	59
鶴岡高等養護学校	16	14	15	45
羽黒高等学校	287	307	261	855

(2) 出身中学校別の在校生徒数

基本的には市内の中学校からの進学が多い。

一方、鶴岡工業高等専門学校や羽黒高等学校などでは市外の中学校からの進学が多く、酒田市や県外からの進学割合が高い。

鶴岡中央高等学校における出身中学校別の在校生徒数

	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	35	30	43	108
	鶴岡第二中学校	30	22	24	76
	鶴岡第三中学校	31	21	24	76
	鶴岡第四中学校	19	22	20	61
	鶴岡第五中学校	22	18	15	55
	豊浦中学校	4	5	3	12
	藤島中学校	20	5	13	38
	羽黒中学校	10	14	11	35
	櫛引中学校	9	8	14	31
	朝日中学校	2	4	3	9
	温海中学校	5	10	6	21
その他	酒田市内の中学校	5	6	7	18
	三川町内の中学校	16	8	10	34
	庄内町内の中学校	22	19	21	62
	遊佐町内の中学校	2	0	0	2
	大蔵	0	1	0	1

鶴岡工業高等専門学校における出身中学校別の在校生徒数

	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	13	17	5	13
	鶴岡第二中学校	12	5	4	12
	鶴岡第三中学校	16	10	12	16
	鶴岡第四中学校	13	7	10	13
	鶴岡第五中学校	1	5	7	1
	豊浦中学校	1	3	0	1
	藤島中学校	8	4	7	8
	羽黒中学校	3	2	2	3
	櫛引中学校	2	5	6	2
	朝日中学校	6	0	4	6
	温海中学校	1	2	6	1
その他	酒田市内の中学校	16	39	32	16
	三川町内の中学校	6	3	5	6
	庄内町内の中学校	8	12	9	8
	遊佐町内の中学校	5	2	2	5
	山形県内内陸の中学校	40	37	45	40
	県外の中学校 (帰国生徒含む)	12	8	9	12
	外国人留学生	0	0	3	0

鶴岡工業高等学校における出身中学校別の在校生徒数

	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	19	24	20	63
	鶴岡第二中学校	19	16	12	47
	鶴岡第三中学校	18	21	32	71
	鶴岡第四中学校	14	14	16	44
	鶴岡第五中学校	19	12	13	44
	豊浦中学校	1	2	4	7
	藤島中学校	8	11	11	30
	羽黒中学校	13	4	11	28
	櫛引中学校	10	17	9	36
	朝日中学校	4	3	7	14
	温海中学校	8	6	5	19
その他	酒田市内の中学校	5	3	5	13
	三川町内の中学校	8	10	3	21
	庄内町内の中学校	4	5	6	15
	遊佐町内の中学校	0	0	0	0

加茂水産高等学校における出身中学校別の在校生徒数

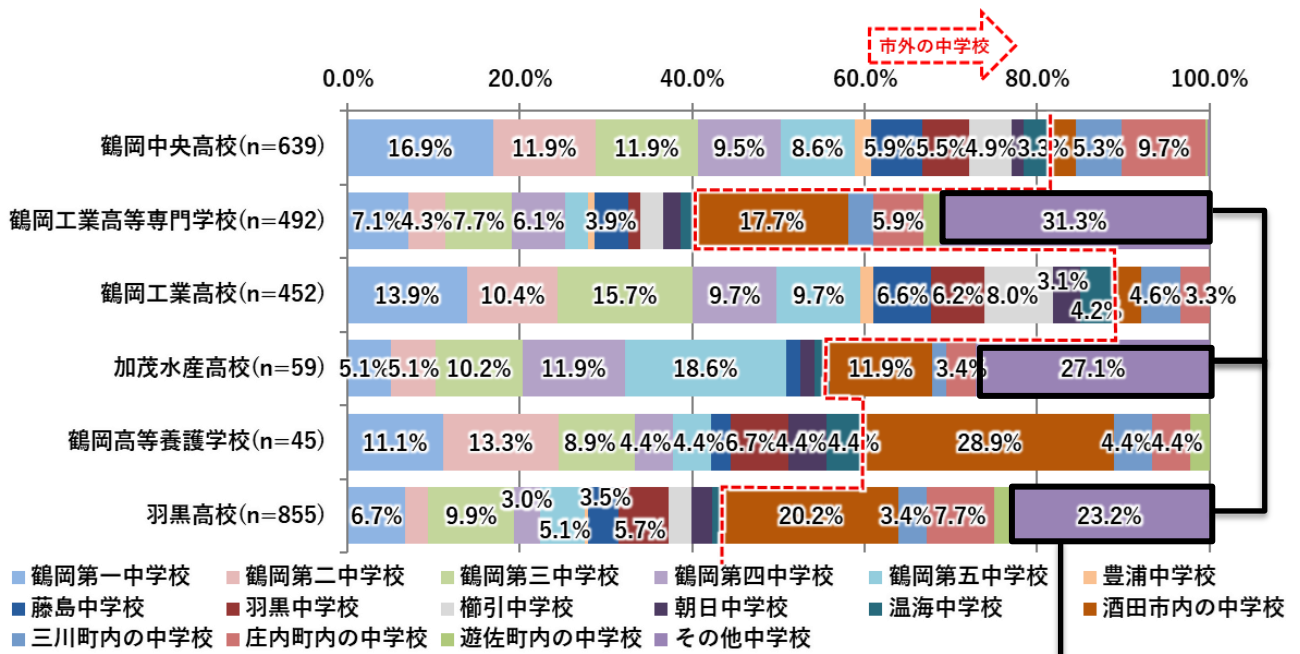
	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	2	1		3
	鶴岡第二中学校	1	2		3
	鶴岡第三中学校	3	2	1	6
	鶴岡第四中学校	3	2	2	7
	鶴岡第五中学校	7		4	11
	豊浦中学校				0
	藤島中学校		1		1
	羽黒中学校				0
	櫛引中学校				0
	朝日中学校		1		1
	温海中学校		1		1
その他	酒田市内の中学校		3	4	7
	三川町内の中学校			1	1
	庄内町内の中学校	1	1		2
	遊佐町内の中学校				0
	内陸の中学校	2	3	3	8
	県外の中学校	3	3	2	8

鶴岡高等養護学校における出身中学校別の在校生徒数

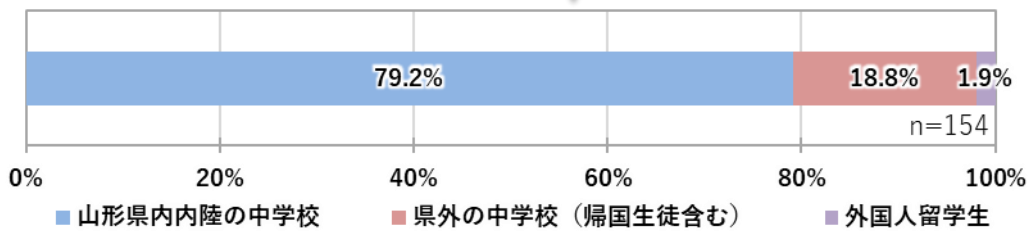
	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	2	2	1	5
	鶴岡第二中学校	2	4	0	6
	鶴岡第三中学校	2	1	1	4
	鶴岡第四中学校	1	0	1	2
	鶴岡第五中学校	1	0	1	2
	豊浦中学校	0	0	0	0
	藤島中学校	1	0	0	1
	羽黒中学校	1	1	1	3
	櫛引中学校	0	0	0	0
	朝日中学校	0	1	1	2
	温海中学校	1	1	0	2
その他	酒田市内の中学校	4	3	6	13
	三川町内の中学校	0	0	2	2
	庄内町内の中学校	0	1	1	2
	遊佐町内の中学校	1	0	0	1

羽黒高等学校における出身中学校別の在校生徒数

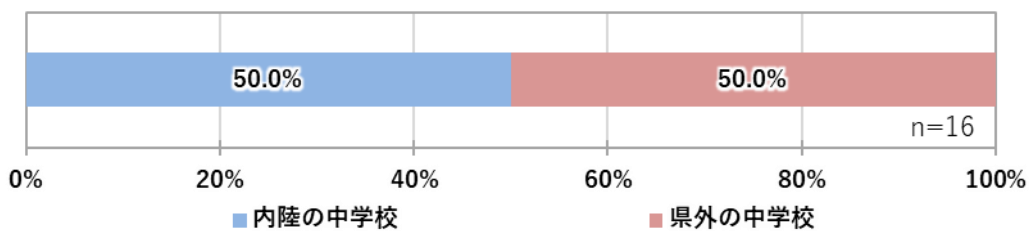
	中学校名/市町村名	1年生	2年生	3年生	合計
市内	鶴岡第一中学校	21	20	16	57
	鶴岡第二中学校	11	5	7	23
	鶴岡第三中学校	23	43	19	85
	鶴岡第四中学校	8	8	10	26
	鶴岡第五中学校	9	21	14	44
	豊浦中学校	2	1	1	4
	藤島中学校	10	10	10	30
	羽黒中学校	14	23	12	49
	櫛引中学校	11	8	4	23
	朝日中学校	9	4	8	21
	温海中学校	3	4	4	11
その他	酒田市内の中学校	68	53	52	173
	三川町内の中学校	9	6	14	29
	庄内町内の中学校	20	25	21	66
	遊佐町内の中学校	9	4	3	16
	村山の中学校	4	6	4	14
	最上の中学校	14	24	21	59
	置賜の中学校	5	0	5	10
	県外の中学校	37	42	36	115



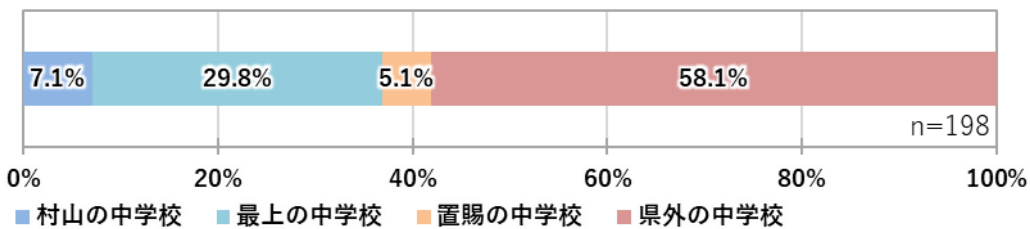
出身中学校別の在校生徒数



その他中学校の内訳 (鶴岡工業高等専門学校)



その他中学校の内訳 (加茂水産高校)



その他中学校の内訳 (羽黒高校)

(3) 部活動の有無、夏季・冬季別の登下校時間

登校時間は、部活動の有無や季節に関わらず、8時前半に集中する。

下校時間についても、季節ごとの変化はほとんどない。部活動がない場合は16時台の帰宅が多いが、鶴岡工業高等専門学校は帰宅時間が14:40と特に早い。

一方で、部活動をする生徒は17-18時台がピークとなっている。

部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（鶴岡中央高校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:25	18:00	8:25	18:00
部活をしていない生徒	8:25	16:00	8:25	16:00

部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（鶴岡工業高等専門学校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:20	17:20	8:20	17:20
部活をしていない生徒	8:20	14:40	8:20	14:40

部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（鶴岡工業高等学校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:10	19:00	8:10	18:30
部活をしていない生徒	8:10	16:00	8:10	16:00

部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（加茂水産高等学校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:10	18:00	8:10	18:00
部活をしていない生徒	8:10	16:00	8:10	16:00

部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（鶴岡高等養護学校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:10	16:45	8:10	16:45
部活をしていない生徒	8:10	15:30	8:10	15:30

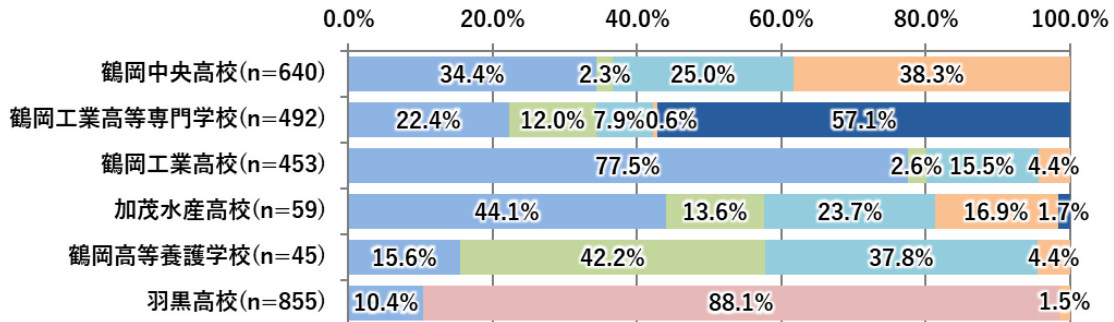
部活動の有無、夏季冬季別の登下校時間（羽黒高等学校）

生徒区分	夏季（4-11月頃）		冬季（12-3月頃）	
	登校	下校	登校	下校
部活をしている生徒	8:20	18:45	8:30	18:30
部活をしていない生徒	8:20	15:30	8:30	15:10

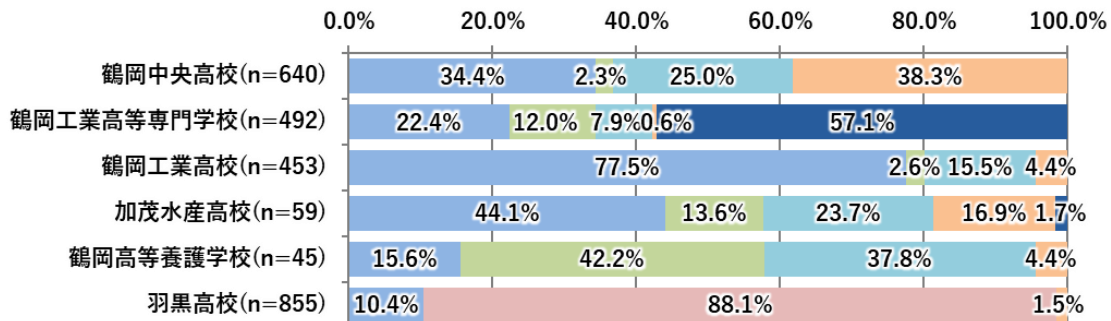
(4) 通学手段別、夏季・冬季別、登下校別の在校生徒数

全体的に徒歩・自転車通学が多く、市内中心部からの移動が多いと推察される。

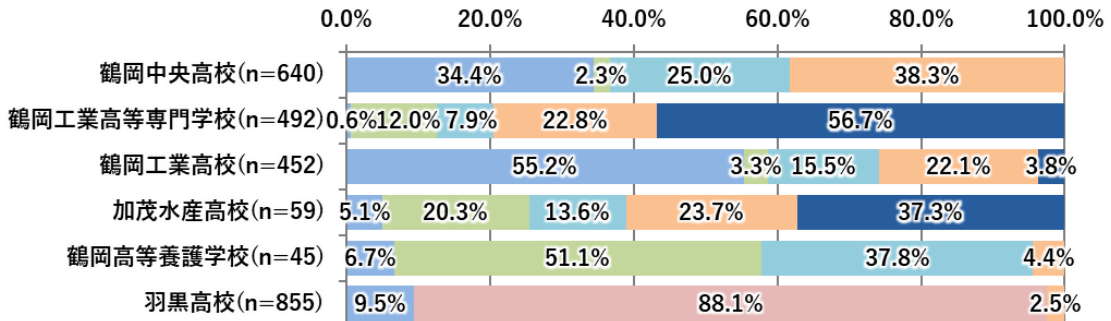
特に鶴岡高等養護学校は公共交通利用が多い。また、鶴岡中央高校などでは保護者の送迎等で移動手段が分散している。羽黒高校はほとんどの生徒がスクールバスで通学している。



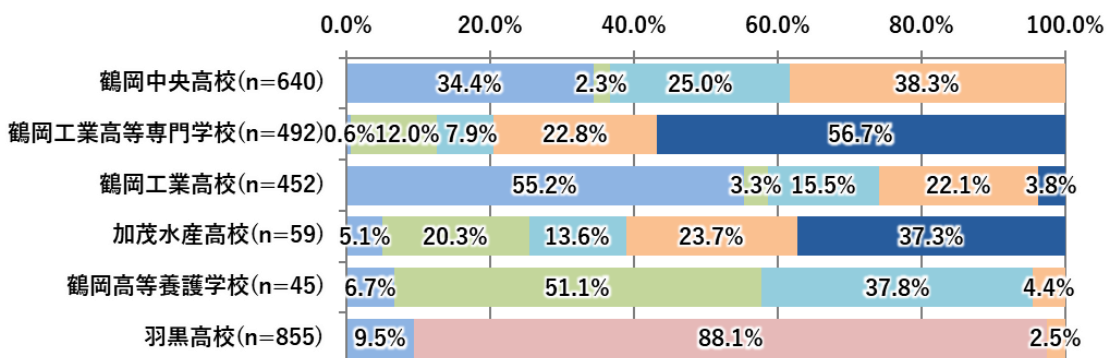
通学手段別の在校生徒数【登校時：夏季】



通学手段別の在校生徒数【下校時：夏季】



通学手段別の在校生徒数【登校時：冬季】



■ 徒歩または自転車 ■ スクールバス ■ 路線バス ■ 市営バス ■ 鉄道 ■ 保護者の送迎 ■ その他・不明

通学手段別の在校生徒数【下校時：冬季】

※鶴岡中央高校は(4)で生徒数 640 ((1)では 639)、鶴岡工業高校は(4)で生徒数 453 ((1)では 452)

(5) 通学に関する規則

バイク通学の制限に関する規則が多く、特に羽黒高等学校では、全面的にスクールバス運行を行っていることから、バイク通学が不可となっている。

通学に関する規則 (1/2)

学校名	内容
鶴岡工業高等専門学校	<p>運転免許：1・2年生は取得禁止。3年生は原則禁止する。ただし、保護者が同意し、通学に必要な者に限り、原付自転車免許を取得することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学者（直線距離で15km以上）の場合は、小型限定普通自動二輪車免許を許可する場合もある。 ・バイク通学のためにバイク運転免許取得を希望する者は、事前に保護者との自署連名で「バイク運転免許受検許可願」を提出し、学校の許可を受けること。 ・取得は2学年末の3月1日以降とする。・取得日は運転免許証の交付日とする。・取得後は「運転免許取得届」を必ず提出すること。 <p>バイク通学：1・2年生は禁止。3年生は</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者が同意し通学に必要な者に限り原付バイク通学許可を許可する。 ②遠距離通学者（直線距離で15km以上）の場合は小型限定普通自動二輪の通学を許可する場合もある。 ③バイク通学希望者は「バイク通学許可願」を提出し学校の許可が必要。 ④通学は通学年度の4月以降とする。 ⑤自賠責保健の他に対人無制限の任意保険に加入すること。 <p>自動車通学：1～3年生は禁止。</p>
加茂水産高等学校	<p>バイク通学の許可条件（抜粋）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①遠距離（10キロ～25キロ） ②部活動等に参加している。 ③過去一年間に、交通違反・事故等のないこと。 ④取得許可免許は小型二輪免許または原付免許とする。 ⑤通学許可バイクは第一種原動機付自転車(50cc以下)、または第二種原動機付自転車の排気量90cc以下とする。

通学に関する規則 (2/2)

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	<p>通学開始前に通学届、自転車通学届の提出と通学練習を行うようにしている。</p> <p><バス、電車通学について規則ではないが乗車の仕方として次のことを教えている></p> <p>(1)電車は緊急時備えて基本的に2両目に乗車する。</p> <p>(2)バスには、寄宿舍生→1年生→2年生→3年生の順に乗車する。</p> <p>(3)スマートフォンは乗車中、緊急の場合以外は操作しない。</p> <p>(4)バスの中や電車の中、駅などでは公共のマナーを守り、静かに過ごす。</p> <p>(5)安全を考えて反射材を身につける。</p> <p><自転車の利用について></p> <p>(1)自転車販売店等で点検を受ける。</p> <p>(2)学校から1.5km以上10km未満を基本とする。</p> <p>(3)12月～3月及び降雪時は自転車を利用しない。</p> <p>(4)実習で自転車を使用する場合は年度始めに自転車通学申請書を提出する。</p>
羽黒高等学校	バイク通学の不可。

(6) 登校時と下校時に異なる交通手段を利用する理由

保護者の送迎の影響により、登下校時に移動手段が異なる高校が一定数存在する。また、生徒が路線バスに乗り切れない場合は、庄内交通で臨時便を運航している。

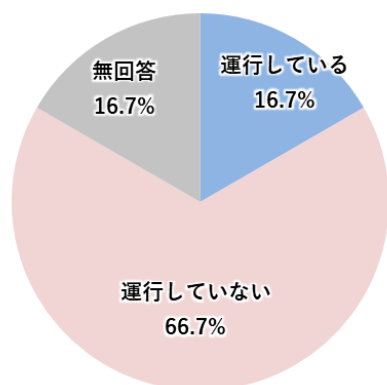
登校時と下校時に異なる交通手段を利用する理由

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	保護者が鶴岡市内勤務の場合、登校時は車に同乗し通学、下校時は保護者の退勤時刻と合わないためバスに乗車するといったケースが一定数みられる。また、下校時も保護者の車に同乗するために、3時間ほど自習をし、保護者の迎えを待つといったケースも一定数みられる。
鶴岡工業高等学校	部活動をする鉄道利用の生徒が、時間が合わない時に保護者の迎えで帰宅することがあるが、人数は把握していない。
鶴岡高等養護学校	下校時、近隣の学校の生徒も同じ路線バスを利用するため、満員となりバスに乗車できない状況になる事がある。その場合庄内交通様の判断で増便を手配していただくことがある。また、天候状況等による乗り継ぎの時間に間に合わない時には、保護者送迎やJRからバスでの下校に変更する生徒もいる。
羽黒高等学校	スクールバス終了後は保護者が送迎している。

2-2-3 スクールバスの運行について

(1) スクールバスの運行の有無

スクールバスは、回答があった高校では、羽黒高等学校のみが運行している。



スクールバスの運行の有無

	回答数	割合
運行している	1	16.7%
運行していない	4	66.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

n=6
スクールバスの運行の有無

(2) 運行における事業主体

運行における事業主体

学校名	内容
羽黒高等学校	学校独自で運行している。

※【問 2-1】で「運行している」と回答した高校のみ

(3) 運転を行っている事業者

運転を行っている事業者

学校名	内容
羽黒高等学校	学校で車両を購入し、運転手を雇用して運行している。

※【問 2-1】で「運行している」と回答した高校のみ

(4) スクールバス利用の対象となる生徒の条件

利用対象に制限はないが、(4)の回答にて1割程度は徒歩等の移動手段であったため、高校付近から徒歩・自転車で通学する方が一定数いると推察できる。

スクールバス利用の対象となる生徒の条件

学校名	内容
羽黒高等学校	全ての生徒が利用できる。

※【問 2-1】で「運行している」と回答した高校のみ

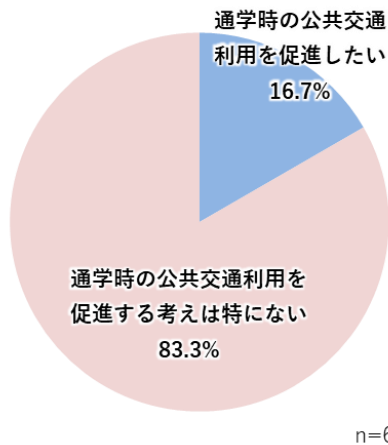
2-2-4 公共交通での通学に対する意向について

(1) 通学での公共交通の利用促進に向けた取り組み

通学での公共交通の利用促進に向けた取り組み

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	入学説明会で自力通学を推奨している。また、将来の進路に関わり、公共交通機関を利用することのメリットの周知を行っている。

(2) 学校としての公共交通利用に関する考え



学校としての公共交通利用に関する考え

	回答数	割合
通学時の公共交通利用を促進したい	1	16.7%
通学時の公共交通利用を促進する考えは特にない	5	83.3%
無回答	0	0.0%
合計	6	100.0%

学校としての公共交通利用に関する考え

(3) 通学時の公共交通利用を促進する理由

通学時の公共交通利用を促進する理由

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	自立を目指して生徒一人で移動できるようになってほしい。卒業後も視野に入れ、進路選択の幅を広げるために、公共の交通機関を利用ができればよい。

※【問3-2】で「通学時の公共交通利用を促進したい」と回答した高校のみ

(4) 公共交通での通学について、配慮していること、生徒や学校内で話題となったこと、問題を感じていること

① 公共交通での通学について【配慮していること】

公共交通での通学について【配慮していること】

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	最寄りのバス停や駅までは保護者送迎を認めている。天候等の緊急的な事案について、保護者送迎の連絡を生徒自ら行うこと。

※【問 3-2】で「通学時の公共交通利用を促進したい」と回答した高校のみ

② 公共交通での通学について【話題となっていること】

公共交通での通学について【話題となっていること】

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	(1) 駅から本校前まで同じ方面にバスを利用する高校生が多く、乗車できないことがある。また、近隣の学校の下校時刻と重なり、バスに乗車できない場合がある。増便の対応を庄内交通様の判断で行っていただいているが、何とかならないか話題になっている。 (2) バス乗車時刻を基本に日課表を組み立てている。

※【問 3-2】で「通学時の公共交通利用を促進したい」と回答した高校のみ

③ 公共交通での通学について【問題を感じていること】

公共交通での通学について【問題を感じていること】

学校名	内容
鶴岡高等養護学校	自宅から最寄りのバス停、駅まで距離があり、自力での移動が難しい。

※【問 3-2】で「通学時の公共交通利用を促進したい」と回答した高校のみ

2-2-5 公共交通に対する意見や要望

(1) 現状の鉄道・バスなどの運行や待ち合い所などの環境整備について

現状の鉄道・バスなどの運行や待合所などの環境整備について

学校名	内容
鶴岡工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・本校最寄りのバス停（国立高専前）を通過するルートが1ルート（湯田川方面行き）しかなく、市内在住の学生でも特定のエリアの学生しか利用メリットがない（例えば、美咲町在住の学生だと、一度市役所方面に出てから乗り換えが必要となりかなり余計な時間を必要とする。） ・鶴岡高等養護学校と同ルート上にあるため、2校の学生が同一バスに乗車し、バス車内が大変混雑した状況である（特に雨天時）。 ・研究活動等で遅くなることは珍しくないが、夜間にそもそもバスの運行がなく不便である。
鶴岡工業高等学校	鉄道の運行本数が増えることを要望する生徒がいるものの、多くはない。
加茂水産高等学校	生徒・保護者からはバス代が高いという声が聞こえてくる。
鶴岡高等養護学校	地域上雨風、雪を防げるような待合所の設置があるとよい。
羽黒高等学校	本数が少なく、接続などの関係で、登下校に利用する場合不便を感じる。

(2) 今後の公共交通に対する要望

今後の公共交通に対する要望

学校名	内容
鶴岡中央高校	16時台の電車に乗り遅れると18時台まで待たないと帰れないため17時台の電車がほしい。
鶴岡工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行時間帯の拡充（主に夜間運行）を希望する。 ・バスの運行本数の増幅を希望する。（主に登下校時帯） ・バスの運賃値下げを希望する。（寮生が休日買い物等でバスを利用したいが、あまりにも運賃が高いため、仕送りから運賃を払うことに強いためらいがある様子。結果としてほとんどの学生が自転車で移動している。） ・路線バスについて、15:50終了の授業があるため、羽越本線16:23に乗れるよう湯田川温泉発15:25を15:53発にしていただけると国立高専前16:00、鶴岡駅前16:16となり学生が利用しやすくなると思われるので、ダイヤの調整を希望する。
鶴岡高等養護学校	JRやバスを乗り継ぐ生徒がいるため、循環バスの路線がもっと増えるとよい。
羽黒高等学校	冬季間の鉄道の遅れや運休の確認がしにくい。

(3) 通学時に公共交通を利用する高校生を増やすための意見・感想

通学時に公共交通を利用する高校生を増やすための意見・感想

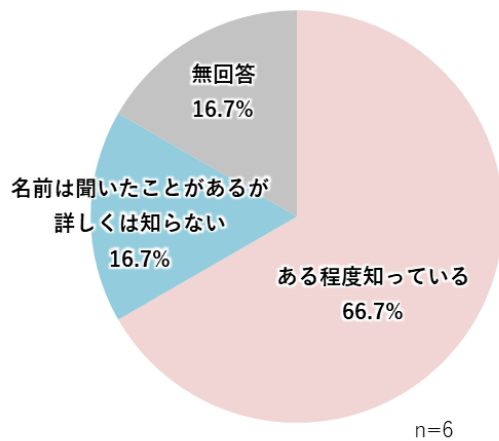
高校名	内容
鶴岡工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時間帯の増便やルート拡充、また、バス同士の接続の改善がされると、利用者の増加は見込めると考える。 ・バス車両の大きさを1回り大きくするだけでも利用者は増加すると考える（特に夏場など）。
加茂水産高等学校	通学に係る費用の減額
鶴岡高等養護学校	通学時間帯による主要地から学校までのバスダイヤの増加があれば増えるのではないかと思います。
羽黒高等学校	学校の登下校を中心とした本数及び路線数を増やせば、増加するのではないかと。

2-2-6 「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金※」について

※鶴岡市で、高等学校等に公共交通機関の通学定期券を利用して通学する市内に居住する高校生等の保護者等に対し通学費の一部を支援する制度。

(1) 「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」の認知度

多くの高校では、当該補助金はある程度認知されている状況にある。



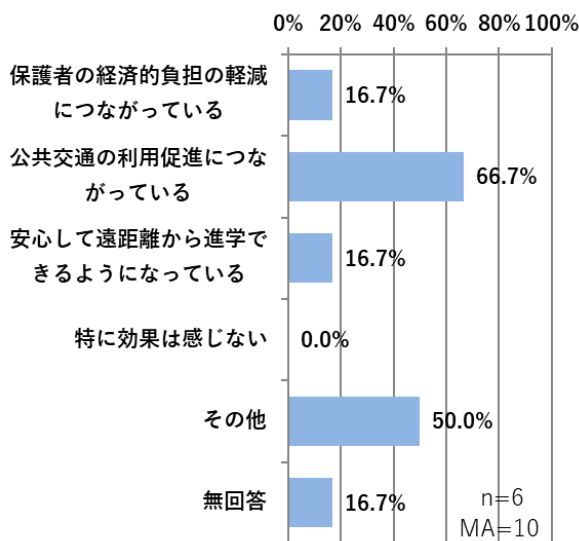
「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」の認知度

「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」の認知度

	回答数	割合
よく知っている	0	0.0%
ある程度知っている	4	66.7%
名前を聞いたことがあるが詳しくは知らない	1	16.7%
全く知らない	0	0.0%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

(2) 「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」の生徒への効果

多くの高校では生徒の公共交通利用促進につながっているとの回答があった。



「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」生徒への効果

「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」生徒への効果

	回答数	割合
保護者の経済的負担の軽減につながっている	1	16.7%
公共交通の利用促進につながっている	4	66.7%
安心して遠距離から進学できるようなっている	1	16.7%
特に効果は感じない	0	0.0%
その他	3	50.0%
無回答	1	16.7%
合計	10	166.7%

(3) 「鶴岡市高等学校等生徒通学費支援事業補助金」に対する生徒・保護者の意見や改善点

制度に対する生徒・保護者の意見や改善点

高校名	内容
鶴岡高等養護学校	経済的負担の軽減ができるように補助対象を広げてほしい。

(4) 通学に関して市として新たに検討すべき事項や支援策

通学に関して市として新たに検討すべき事項や支援策

高校名	内容
鶴岡工業高等学校	鶴岡公園堀沿いの歩道幅があれだけ大きいと、車同士がすれ違いにくく、歩道を歩く人や自転車で走行する人がかえって危険な状況になっているため改善が必要であることが度々話題に上がっている。
鶴岡高等養護学校	通学に使えるバスの本数を増やしてほしい。